

平成23年度
授業改善のための学生アンケート報告書

－ 全体集計 －

第I部

平成24年3月

拓殖大学 自己点検・評価委員会

はじめに

現代社会の大学教育に対する厳しい評価に応じ、斬新で充実した教育実現への要望に応えるために、我が国の多くの大学で学生アンケートを実施し、その授業改善への活用がなされております。

本学では、他大学に先駆けて全学的な「授業改善のための学生アンケート」を実施してきました。アンケート結果にもとづく学生の意見や授業効果を分析し、これらを各種の教育改善につなげ、学生の学修意欲を高め、効果的学修を促進し、国際化、情報化などにも対応した教育方法の工夫・改善等に、積極的に取り組んでまいりました。

また、平成19年度から各学部の「FD委員会」に加えて、全学的な「FD委員会」を設置し、アンケート結果に基づいた意欲的な授業改善の方策を検討しております。

本報告書は、平成23年度に実施した「授業改善のための学生アンケート」について、「全体集計」（第Ⅰ部）と「科目別集計」（第Ⅱ部）の2分冊としました。第Ⅱ部には「科目別集計（個表）」の形で授業評価に参加した全教員のデータとともに、学生の主な意見と、これに対する担当教員の所見を掲載しています。さらに、「分野別集計」を加え、学部・学科目別にきめ細かな評価分析を試みております。

本報告書を活用し、教員各位が今回のデータを過去のデータと比較検討し、他の教員や他学部の状況をも参考にしながら、今後の改善に役立てて下さるようお願いします。

大学・学部の教育目標を目指して、教員組織、教育環境を最大限に機能させた教育指導はもとより、学生の効果的学修のため、教育方法を工夫・改善することが常に求められております。

今後とも全教職員が一致協力してFD活動を推進し、本学の教育改善の活性化につながることを切に希望します。

平成24年3月

拓殖大学学長
自己点検・評価委員長
渡辺利夫

目 次

はじめに

I 学生アンケートの実施について

1. 経緯と実施方針	3
2. 実施状況	3
3. 集計結果の概要	3
4. 今後の課題	4

II 実施状況

1. 実施期間	7
2. 実施教員数	7
3. 実施科目数	8
4. アンケート回答数（延べ人数）	8
5. 学科目別実施科目数	8

III 全体集計

1. 学科目別（講義等科目）平均値・標準偏差	1 1
2. 教員所属別（講義等科目）平均値・標準偏差	
(1) 専任教員所属別	1 2
(2) 講師(非常勤)所属別	1 3
3. 履修登録者数別比較表	1 4
4. 設問項目ごとの集計結果（年度比較）	
(1) 学科目別平均値	
①商学部専門科目	1 5
②政経学部専門科目	1 6
③外国語学部専門科目	1 7
④工学部専門科目（講義等科目、実験・実習科目別）	1 8
⑤国際学部専門科目	2 0
⑥教養教育科目	2 1
⑦外国語科目	2 2
⑧スポーツ・トレーニング科目	2 3
⑨教職・社教・日語科目	2 4
⑩ゼミ・外書講読科目	2 5
⑪全体（講義等科目）	2 6
(2) 学生所属別平均値・標準偏差（講義等科目）	
①学年別	2 7
②学科別	2 8
(3) 満足度平均値	
①学科目別	3 0

②所属別	-----	3 1
③身分別	-----	3 2
④年齢別	-----	3 3
5. 学科目別 回答の分析	-----	3 4
6. 学部設問項目 平均値・標準偏差	-----	3 8

IV コース・分野・学科別集計

1. 商学部専門科目 (コース別)	-----	4 1
2. 政経学部専門科目 (分野別)	-----	4 2
3. 外国語学部専門科目 (学科別)	-----	4 3
4. 工学部専門科目		
(1) 実験・実習科目 (学科別)	-----	4 4
(2) 学科・学科目別 (講義等科目)	-----	4 5
5. 国際学部科目		
(1) 英語群	-----	4 6
(2) 地域言語群	-----	4 7
(3) 基礎科目群	-----	4 8
(4) 専門共通科目	-----	4 9
(5) 専門コース科目	-----	5 0
6. 教養教育等科目		
(1) 講義等科目 (群別)	-----	5 1
(2) 外国語科目 (1 2カ国語)	-----	5 2
(3) スポーツ・トレーニング科目	-----	5 3
(4) 教職課程・社会教育主事講座科目、日本語教員養成基礎講座科目	-----	5 4

V 評価及び課題

1. 商学部	-----	5 7
2. 政経学部	-----	6 2
3. 外国語学部	-----	6 9
4. 工学部	-----	7 6
5. 国際学部	-----	8 5
6. 教養教育	-----	9 1
7. 教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目	-----	1 0 5

参考資料

実施要領	-----	1 0 9
アンケート様式	-----	1 1 3
科目別集計様式	-----	1 1 9

I 学生アンケートの実施について

1. 経緯と実施方針

平成4年4月に拓殖大学自己評価委員会（現「自己点検・評価委員会」）が設置され、平成6年度に初めて全学的な「学生による事業評価」を実施しました。その後、実施方法等の再検討をするために平成11年度の授業評価を中止したほかは、現在まで継続して実施してきました。平成16年度に名称を「学生による授業評価」から「授業改善のための学生アンケート」に、設問項目も全面的に改め、後期のみ実施しました。

翌17年度は、前年の後期実施を受けて、前期のみのアンケートを実施し、分野別の細かい集計分析を行い、これが現在まで引き継がれています。こうしてその都度、各学部並びに全学的FD委員会を通じて、授業の内容・方法の改善が図られてきました。

2. 実施状況

平成23年度の「授業改善のための学生アンケート」は、平成17年度以来5年ぶりに前期の期間、すなわち同年6月27日から同年7月12日（予備日：同年7月13日から同年7月16日）の間に全学部で実施し、専任教員254名並びに講師（非常勤）406名の協力がありました。これは実に99.7パーセントの実施率（専任・講師（非常勤）各1名未回答）です。

アンケート実施科目数は専任教員の551科目（前年度は557科目）、講師（非常勤）の712科目（前年度は727科目）、合計1,263科目（前年度は1,284科目）で、実施科目数の変動はほとんどありませんでした。

学科目別の実施科目数は学部専門科目604（前年度は562科目）、外国語科目428（前年度は471科目）、教養教育・総合教育科目138（前年度は146科目）、その他の科目93（前年度は105科目）でした。

学生からのアンケート回収数は47,535件（前年度は41,925件）で、前年比約13パーセント増加しました。学生一人が平均5.6科目のアンケートに答えていたことになります。三年・四年の回答に限って調べると15,404件（前年度は11,633件）と前年比約32パーセントの増加です。これは、アンケートの実施が前期であり、定期試験直前であったことに遠因がありそうです。

3. 集計結果の概要

後期に実施していたこの調査を前期に変更した平成17年度の結果は、「学生の出席状況」がよくなった以外は全体的に前年より評価が下がった。特に「満足度」が3.89から3.55に低下しましたが、今年（前期実施）は全体としては昨年（後期実施）とほぼ同様の傾向を示していて、「満足度」も3.92（前年度は3.95）を維持しています。しかし、受講者別の満足度はその受講者数に反比例して逡減、ほとんどの調査項目でも同様の傾向を示していて、特に301名以上の大教室（9科目）では満足度が3.40（前年度は3.81）と深刻な状況にある。また、学年別に満足度を前年と比較するとこれも各学年を通じて下降しており、高学年になるほど前年比減が著しい。

受講動機の回答分布に気になる点があります。当該アンケート科目が楽勝科目であるから履修したと回答した学生の比率が商学部コミュニケーションコースの専門3科目平均で22.7パーセント（学部平均13.1パーセント）、国際学部英語群2年配当15科目に26.3パーセント（同群平均13.7）、地域言語群3.4年配当9科目に29.6パーセント（同18.1）に昇っています。時間帯が空いているから受講したとする回答と異なって、アンケート対象科目が楽勝科目と扱われることは反省すべき点です。

学部別、学科目別の分析と提言は、各FD委員が教育現場に照らし合わせて纏めており、必読願います。

4. 今後の課題

特に昨年指摘した予習・復習は徐々にではあるがその励行が根付いてきました。これには初年次教育の努力も見逃せません。他方、大教室での受講状況の改善や楽勝科目をなくす方策は急務です。平成6年以来15年間続けてきた本アンケート調査の膨大なデータが蓄積されているが、学部・教員ともに十分な活用がなされてきたとは言えません。

時系列のデータ蓄積は大切なことですが、教育現場は生き物であることから、新たな視点に立ったアンケート項目を策定すべき時期でもあります。学部教育のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが確定した現在、これらのポリシーに基づく教育とその評価が求められていることに留意すべきです。

なお、成績評価制度（GPA）が完成したことから、このアンケートデータと各科目の成績分布を結びつけて授業改善策を図ることも必要と思われます。

平成24年3月

拓殖大学 自己点検・評価委員会
副委員長 三代川 正秀

Ⅱ 実施状況

1. 実施期間

平成23年6月27日(月)～7月12日(火)

※予備 7月13日(水)～7月16日(土)

2. 実施教員数

1) 専任教員

所 属	実施対象教員数	実 施 者 数	未 実 施 者 数	実施率 (%)
商 学 部	51	51	0	100.0%
政 経 学 部	54	54	0	100.0%
外国語学部	39	38	1	97.4%
工 学 部	59	59	0	100.0%
国 際 学 部	34	34	0	100.0%
兼 担	18	18	0	100.0%
合 計	255	254	1	99.6%

(注) 専任教員：教授、准教授、助教、特別非常勤講師

2) 講師(非常勤)

所 属	実施対象教員数	実 施 者 数	未 実 施 者 数	実施率 (%)
商 学 部	123	123	0	100.0%
政 経 学 部	123	123	0	100.0%
外国語学部	47	46	1	97.9%
工 学 部	47	47	0	100.0%
国 際 学 部	55	55	0	100.0%
兼 担	12	12	0	100.0%
合 計	407	406	1	99.8%

(注) 講師(非常勤)：客員教授を含む

3) 全体

所 属	実施対象教員数	実 施 者 数	未 実 施 者 数	実施率 (%)
専 任 教 員	255	254	1	99.6%
非常勤講師	407	406	1	99.8%
合 計	662	660	2	99.7%

3. 実施科目数

所 属	専任教員	講師(非常勤)	合 計
商 学 部	110	220	330
政 経 学 部	119	190	309
外 国 語 学 部	88	85	173
工 学 部	108	53	161
国 際 学 部	99	143	242
兼 担	27	21	48
合 計	551	712	1,263

4. アンケート回答数(延べ人数)

回答者の所属	1年	2年	3年	4年	無回答	合 計
商 学 部	4,026	3,035	3,189	1,313	22	11,585
政 経 学 部	4,194	4,114	3,656	1,745	62	13,771
外 国 語 学 部	1,289	1,079	746	209	35	3,358
工 学 部	1,966	2,437	1,953	204	111	6,671
国 際 学 部	3,741	2,994	1,665	554	194	9,148
無 回 答	115	126	120	50	2,591	3,002
合 計	15,331	13,785	11,329	4,075	3,015	47,535

(注) 「無回答」は、「所属学科」「学年」についての未記入を示す

5. 学科目別実施科目数

所 属	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼 担	合 計
商学部 専門科目	136	1				3	140
政経学部 専門科目	3	135		1		7	146
外国語学部 専門科目	3		112				115
工学部 講義			1	88			89
工学部 実験実習				35			35
国際学部 専門科目					71	8	79
教養科目・総合教育科目	46	29	20	8	30	5	138
外国語科目	114	98	33	24	138	21	428
スポーツ・トレーニング科目	8	16		2			26
教職・社教・日本語科目	6	16	3	3	3	1	32
ゼミ・外書講読	14	14	4			3	35
合 計	330	309	173	161	242	48	1,263

(注) 教養科目・総合教育科目：国際学部基礎科目を含む

外国語科目：英語、第2外国語、選択外国語、地域言語、留学生用の日本語

Ⅲ 全 体 集 計

1. 学科目別（講義等科目） 平均値・標準偏差

設問項目	区分	商学部 専門科目	政経学 部専門 科目	外国語 学部 専門科 目	工学部 専門科 目（講 義）	国際学 部専門 科目	教養科 目・総 合教育 科目	外国語 科目	教職・ 社教・ 日語科 目	ゼミ・ 外書講 読	全体
		科目 数：(140)	科目 数：(146)	科目 数：(115)	科目 数：(89)	科目 数：(79)	科目 数：(138)	科目 数：(428)	科目 数：(32)	科目 数：(35)	科目 数：(1202)
I-1	平均値	4.50	4.44	4.54	4.63	4.37	4.53	4.55	4.47	4.65	4.52
	標準偏差	0.22	0.24	0.27	0.20	0.25	0.25	0.28	0.26	0.35	0.27
I-2	平均値	4.00	3.77	4.10	3.67	3.92	3.71	4.16	4.16	3.98	3.98
	標準偏差	0.52	0.72	0.50	0.57	0.52	0.65	0.41	0.44	0.62	0.56
I-3	平均値	2.86	2.69	3.39	2.80	3.04	2.71	3.38	2.86	3.64	3.09
	標準偏差	0.45	0.34	0.66	0.45	0.40	0.45	0.51	0.42	0.72	0.58
II-1	平均値	3.95	3.87	4.21	3.69	4.00	4.00	4.12	4.04	4.26	4.03
	標準偏差	0.39	0.39	0.50	0.50	0.44	0.43	0.43	0.33	0.47	0.46
II-4	平均値	3.71	3.63	4.00	3.38	3.72	3.78	3.93	3.94	4.21	3.81
	標準偏差	0.46	0.44	0.58	0.58	0.50	0.49	0.50	0.37	0.39	0.53
II-5	平均値	3.98	3.84	4.26	3.61	3.95	3.98	4.14	4.13	4.37	4.03
	標準偏差	0.46	0.51	0.50	0.61	0.51	0.53	0.48	0.40	0.39	0.53
II-6	平均値	3.89	3.87	4.09	3.71	3.98	3.96	4.00	3.98	4.19	3.96
	標準偏差	0.42	0.40	0.47	0.46	0.39	0.41	0.43	0.36	0.49	0.44
II-7	平均値	3.82	3.76	4.12	3.64	3.93	3.92	4.01	3.92	4.19	3.93
	標準偏差	0.49	0.50	0.48	0.53	0.44	0.44	0.43	0.38	0.51	0.48
II-8	平均値	4.03	4.05	4.23	3.62	4.09	4.04	4.17	4.14	4.44	4.09
	標準偏差	0.48	0.41	0.47	0.58	0.42	0.46	0.44	0.40	0.40	0.48
II-9	平均値	3.63	3.55	4.00	3.28	3.72	3.76	3.94	3.82	4.21	3.78
	標準偏差	0.44	0.38	0.49	0.59	0.49	0.48	0.46	0.33	0.40	0.51
II-10	平均値	3.68	3.60	4.05	3.37	3.77	3.81	3.92	3.89	4.20	3.81
	標準偏差	0.38	0.36	0.48	0.55	0.45	0.44	0.44	0.29	0.39	0.47
II-11	平均値	3.63	3.56	3.90	3.33	3.79	3.73	3.79	3.89	4.24	3.73
	標準偏差	0.40	0.34	0.52	0.56	0.44	0.43	0.49	0.29	0.42	0.48
III	平均値	3.80	3.74	4.09	3.47	3.86	3.92	4.05	3.99	4.37	3.92
	標準偏差	0.43	0.40	0.57	0.60	0.48	0.48	0.50	0.40	0.39	0.52

○3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.56	3.54	3.42	3.70	3.53	3.45	3.41	3.37	3.49	3.48
	標準偏差	0.27	0.24	0.37	0.32	0.32	0.29	0.32	0.23	0.36	0.32
II-3	平均値	3.28	3.29	3.18	3.39	3.28	3.26	3.21	3.19	3.15	3.25
	標準偏差	0.20	0.23	0.25	0.23	0.21	0.25	0.24	0.19	0.35	0.24

(注) I-4は、複数回答項目のため、「5. 回答の分布」を参照

2. 教員所属別（講義等科目）

（1）専任教員所属別

設問項目	区分	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼任教員	専任教員全体	講師全体	全体
		科目数：(109)	科目数：(115)	科目数：(87)	科目数：(73)	科目数：(99)	科目数：(27)	科目数：(510)	科目数：(692)	科目数：(1202)
I-1	平均値	4.52	4.49	4.52	4.64	4.52	4.46	4.53	4.52	4.52
	標準偏差	0.23	0.28	0.29	0.18	0.22	0.29	0.25	0.28	0.27
I-2	平均値	4.04	4.05	4.06	3.74	4.08	3.85	4.00	3.96	3.98
	標準偏差	0.53	0.49	0.46	0.60	0.42	0.67	0.52	0.59	0.56
I-3	平均値	2.94	2.95	3.43	2.78	3.31	3.00	3.08	3.10	3.09
	標準偏差	0.53	0.54	0.62	0.46	0.51	0.63	0.59	0.57	0.58
II-1	平均値	3.97	3.97	4.28	3.75	4.12	3.96	4.02	4.03	4.03
	標準偏差	0.41	0.46	0.39	0.48	0.39	0.54	0.46	0.45	0.46
II-4	平均値	3.75	3.75	4.09	3.45	3.87	3.67	3.78	3.83	3.81
	標準偏差	0.48	0.52	0.47	0.55	0.45	0.61	0.53	0.52	0.53
II-5	平均値	4.01	3.97	4.34	3.74	4.06	3.95	4.03	4.04	4.03
	標準偏差	0.46	0.56	0.44	0.55	0.46	0.67	0.53	0.52	0.53
II-6	平均値	3.89	3.92	4.16	3.79	4.06	3.89	3.96	3.95	3.96
	標準偏差	0.41	0.44	0.38	0.45	0.36	0.52	0.43	0.44	0.44
II-7	平均値	3.83	3.84	4.16	3.70	4.04	3.78	3.91	3.94	3.93
	標準偏差	0.49	0.54	0.44	0.52	0.38	0.58	0.50	0.46	0.48
II-8	平均値	4.06	4.14	4.27	3.72	4.19	4.12	4.09	4.09	4.09
	標準偏差	0.43	0.48	0.45	0.56	0.38	0.54	0.49	0.47	0.48
II-9	平均値	3.70	3.67	4.09	3.36	3.90	3.62	3.75	3.81	3.78
	標準偏差	0.48	0.51	0.40	0.56	0.42	0.56	0.53	0.49	0.51
II-10	平均値	3.73	3.70	4.12	3.40	3.92	3.73	3.78	3.83	3.81
	標準偏差	0.44	0.46	0.39	0.48	0.40	0.53	0.49	0.46	0.47
II-11	平均値	3.68	3.66	4.00	3.35	3.90	3.72	3.73	3.73	3.73
	標準偏差	0.43	0.48	0.43	0.53	0.39	0.53	0.50	0.48	0.48
III	平均値	3.85	3.87	4.20	3.54	3.98	3.87	3.90	3.94	3.92
	標準偏差	0.46	0.52	0.43	0.57	0.41	0.59	0.52	0.52	0.52

○3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.56	3.50	3.42	3.65	3.46	3.64	3.52	3.45	3.48
	標準偏差	0.27	0.30	0.34	0.31	0.29	0.26	0.31	0.32	0.32
II-3	平均値	3.27	3.23	3.18	3.36	3.28	3.24	3.26	3.24	3.25
	標準偏差	0.26	0.27	0.22	0.23	0.19	0.31	0.25	0.24	0.24

（注）専任教員：教授、准教授、助教、特別非常勤講師

I-4は、複数回答項目のため、「5. 学科目別 回答の分布」を参照

(2) 講師（非常勤）所属別

設問項目	区分	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼任教員	講師全体	専任教員全体	全体
		科目数：(213)	科目数：(178)	科目数：(86)	科目数：(51)	科目数：(143)	科目数：(21)	科目数：(692)	科目数：(510)	科目数：(1202)
I-1	平均値	4.53	4.49	4.58	4.55	4.46	4.62	4.52	4.53	4.52
	標準偏差	0.26	0.27	0.26	0.28	0.30	0.31	0.28	0.25	0.27
I-2	平均値	4.01	3.88	4.06	3.66	4.01	4.19	3.96	4.00	3.98
	標準偏差	0.57	0.70	0.57	0.57	0.48	0.36	0.59	0.52	0.56
I-3	平均値	3.12	2.89	3.13	2.85	3.31	3.65	3.10	3.08	3.09
	標準偏差	0.58	0.52	0.65	0.51	0.46	0.52	0.57	0.59	0.58
II-1	平均値	4.09	3.98	4.07	3.73	4.05	4.27	4.03	4.02	4.03
	標準偏差	0.44	0.41	0.55	0.55	0.39	0.37	0.45	0.46	0.46
II-4	平均値	3.89	3.79	3.86	3.52	3.84	4.16	3.83	3.78	3.81
	標準偏差	0.51	0.43	0.66	0.65	0.46	0.42	0.52	0.53	0.53
II-5	平均値	4.12	3.99	4.12	3.62	4.04	4.30	4.04	4.03	4.03
	標準偏差	0.50	0.48	0.54	0.71	0.45	0.35	0.52	0.53	0.53
II-6	平均値	3.99	3.91	3.97	3.76	3.98	4.13	3.95	3.96	3.96
	標準偏差	0.44	0.40	0.46	0.49	0.42	0.52	0.44	0.43	0.44
II-7	平均値	3.98	3.87	4.03	3.74	3.96	4.09	3.94	3.91	3.93
	標準偏差	0.48	0.41	0.48	0.50	0.42	0.55	0.46	0.50	0.48
II-8	平均値	4.16	4.10	4.10	3.76	4.08	4.17	4.09	4.09	4.09
	標準偏差	0.48	0.42	0.52	0.58	0.41	0.43	0.47	0.49	0.48
II-9	平均値	3.85	3.73	3.86	3.43	3.88	4.25	3.81	3.75	3.78
	標準偏差	0.48	0.41	0.55	0.64	0.44	0.36	0.49	0.53	0.51
II-10	平均値	3.88	3.76	3.87	3.51	3.88	4.13	3.83	3.78	3.81
	標準偏差	0.45	0.38	0.52	0.61	0.42	0.38	0.46	0.49	0.47
II-11	平均値	3.77	3.66	3.78	3.47	3.79	4.12	3.73	3.73	3.73
	標準偏差	0.49	0.37	0.55	0.56	0.45	0.42	0.48	0.50	0.48
III	平均値	3.98	3.89	3.97	3.63	4.02	4.18	3.94	3.90	3.92
	標準偏差	0.51	0.44	0.66	0.62	0.46	0.36	0.52	0.52	0.52

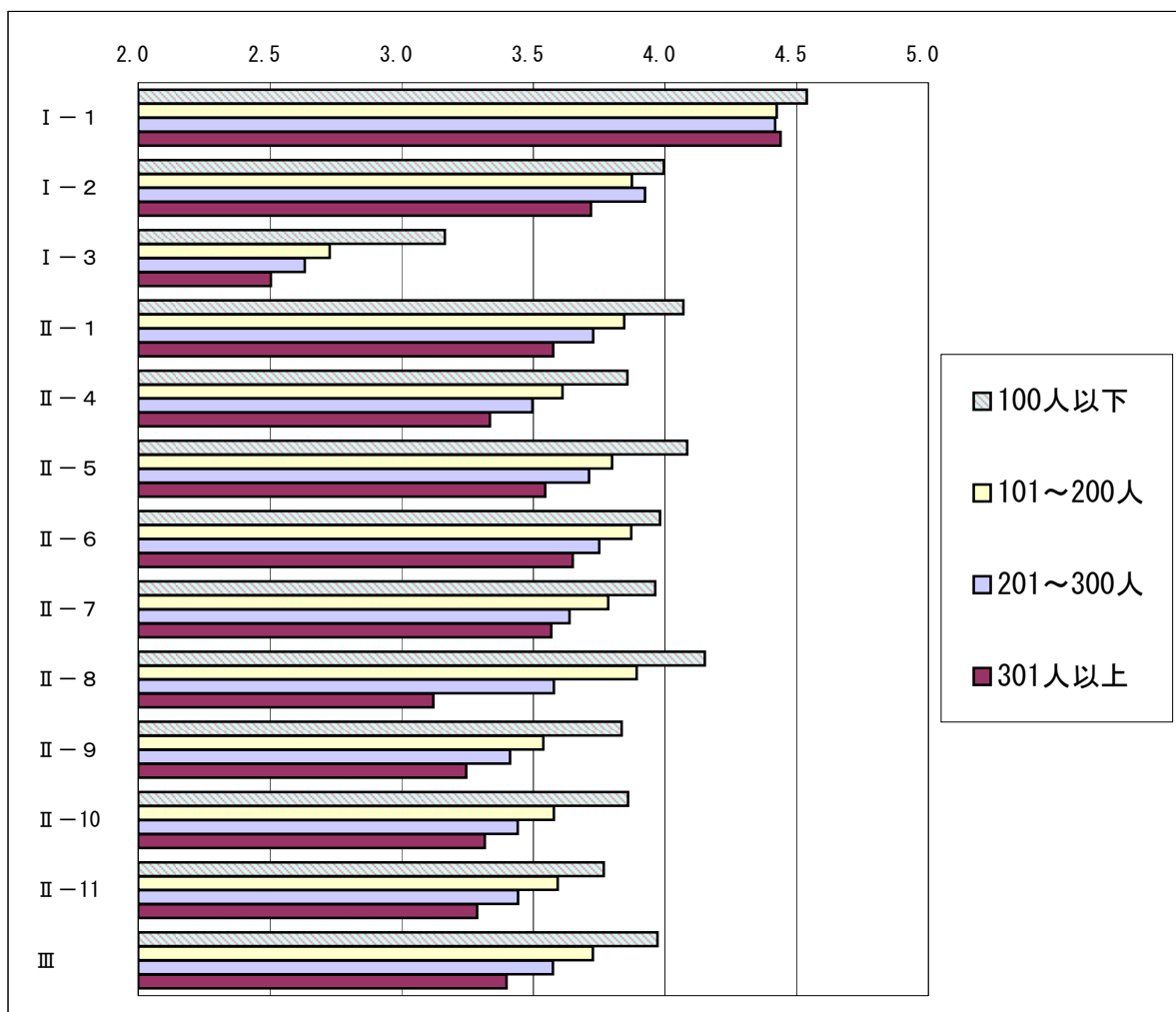
○3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.44	3.45	3.45	3.55	3.46	3.28	3.45	3.52	3.48
	標準偏差	0.32	0.29	0.36	0.42	0.30	0.23	0.32	0.31	0.32
II-3	平均値	3.23	3.23	3.22	3.29	3.25	3.19	3.24	3.26	3.25
	標準偏差	0.24	0.21	0.27	0.28	0.25	0.24	0.24	0.25	0.24

(注) 講師（非常勤）：客員教授を含む

I-4は、複数回答項目のため、「5. 学科目別 回答の分布」を参照

3. 履修登録者数別比較表（講義科目）



(注) I-4受講動機(複数回答)、II-2難易度、II-3進度(3の回答が適切)は回答の基準が異なるため、掲載していない。

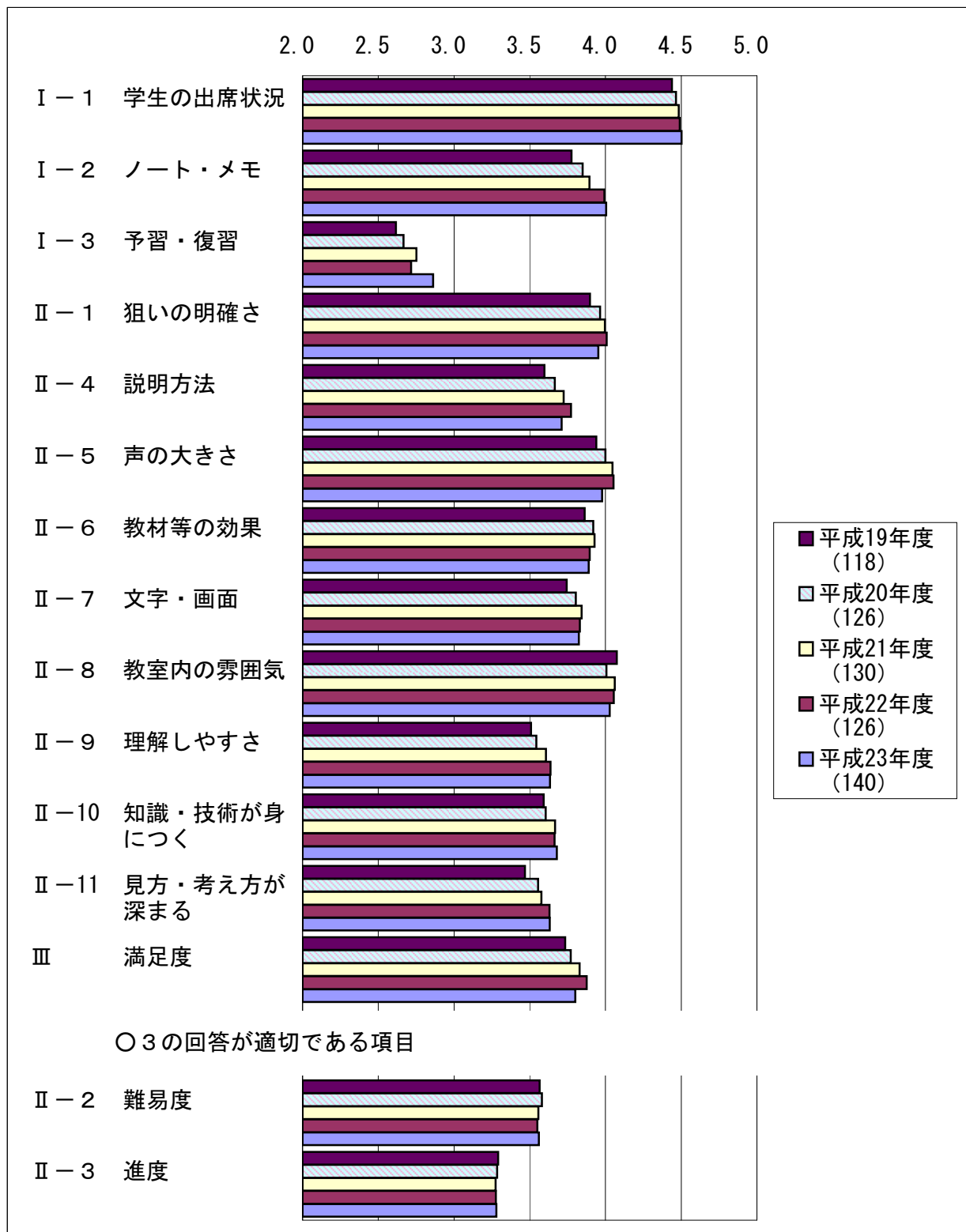
○ 平均値

区分		100人以下	101~200人	201~300人	301人以上
科目数		1,013	124	56	9
I-1	学生の出席状況	4.54	4.43	4.42	4.44
I-2	ノート・メモ	4.00	3.87	3.92	3.72
I-3	予習・復習	3.16	2.73	2.63	2.50
II-1	狙いの明確さ	4.07	3.85	3.73	3.58
II-4	説明方法	3.86	3.61	3.50	3.34
II-5	声の大きさ	4.08	3.80	3.71	3.55
II-6	教材等の効果	3.98	3.87	3.75	3.65
II-7	文字・画面	3.96	3.78	3.64	3.57
II-8	教室内の雰囲気	4.15	3.89	3.58	3.12
II-9	理解しやすさ	3.84	3.54	3.41	3.25
II-10	知識・技術が身につく	3.86	3.58	3.44	3.32
II-11	見方・考え方が深まる	3.77	3.59	3.44	3.29
III	満足度	3.97	3.73	3.57	3.40

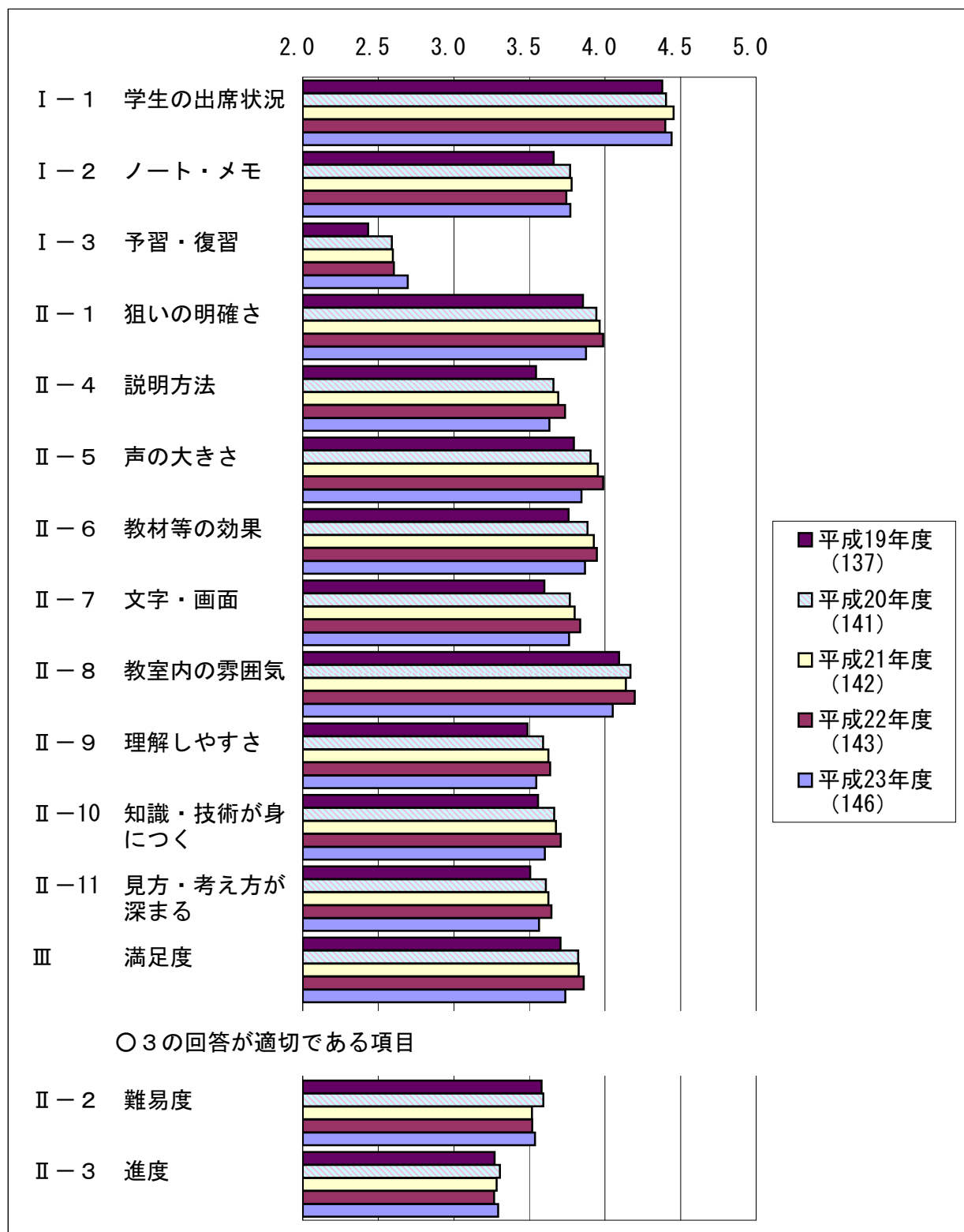
4. 設問項目ごとの集計結果（年度比較）

(1) 学科目別平均値

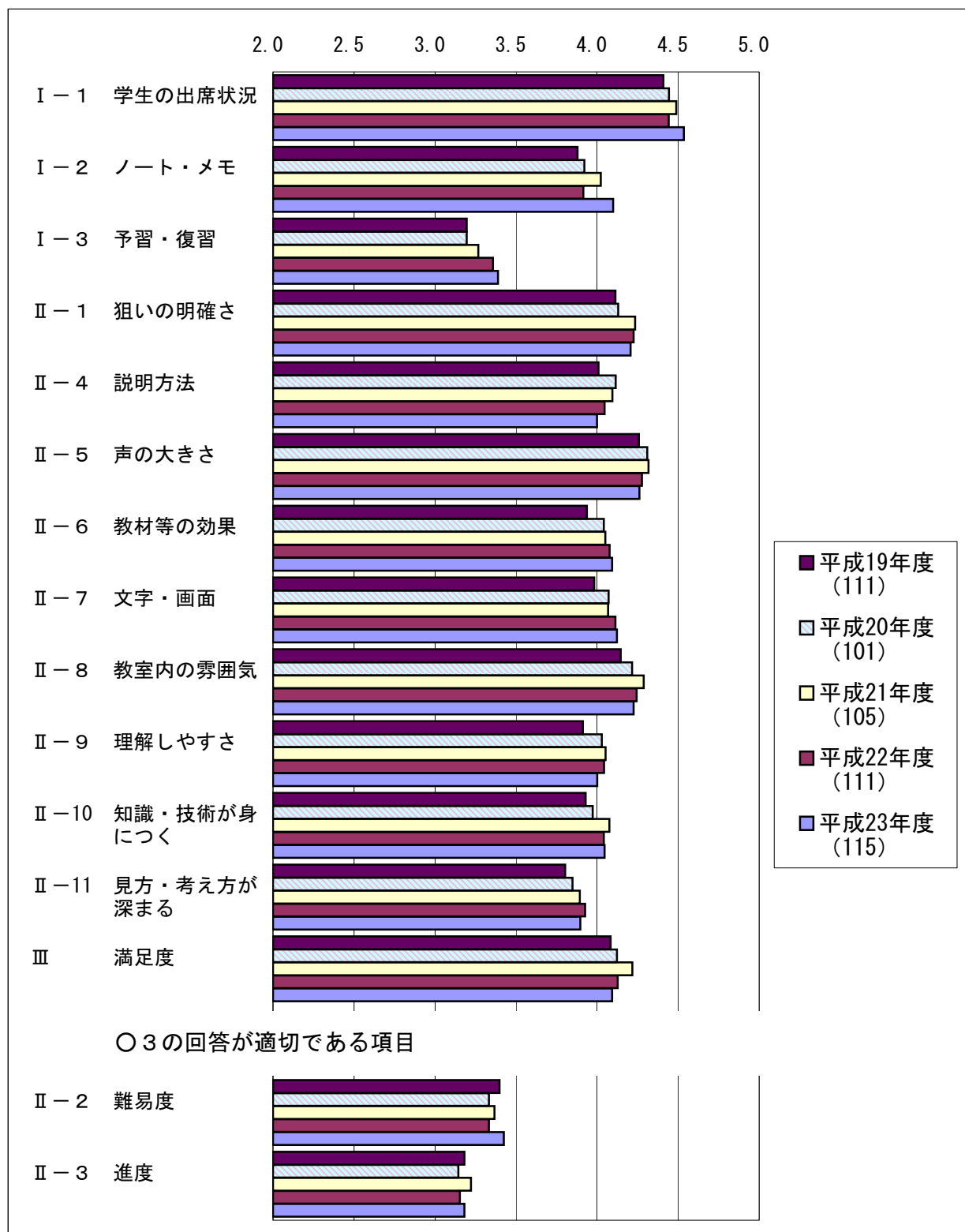
① 商学部専門科目



② 政経学部専門科目

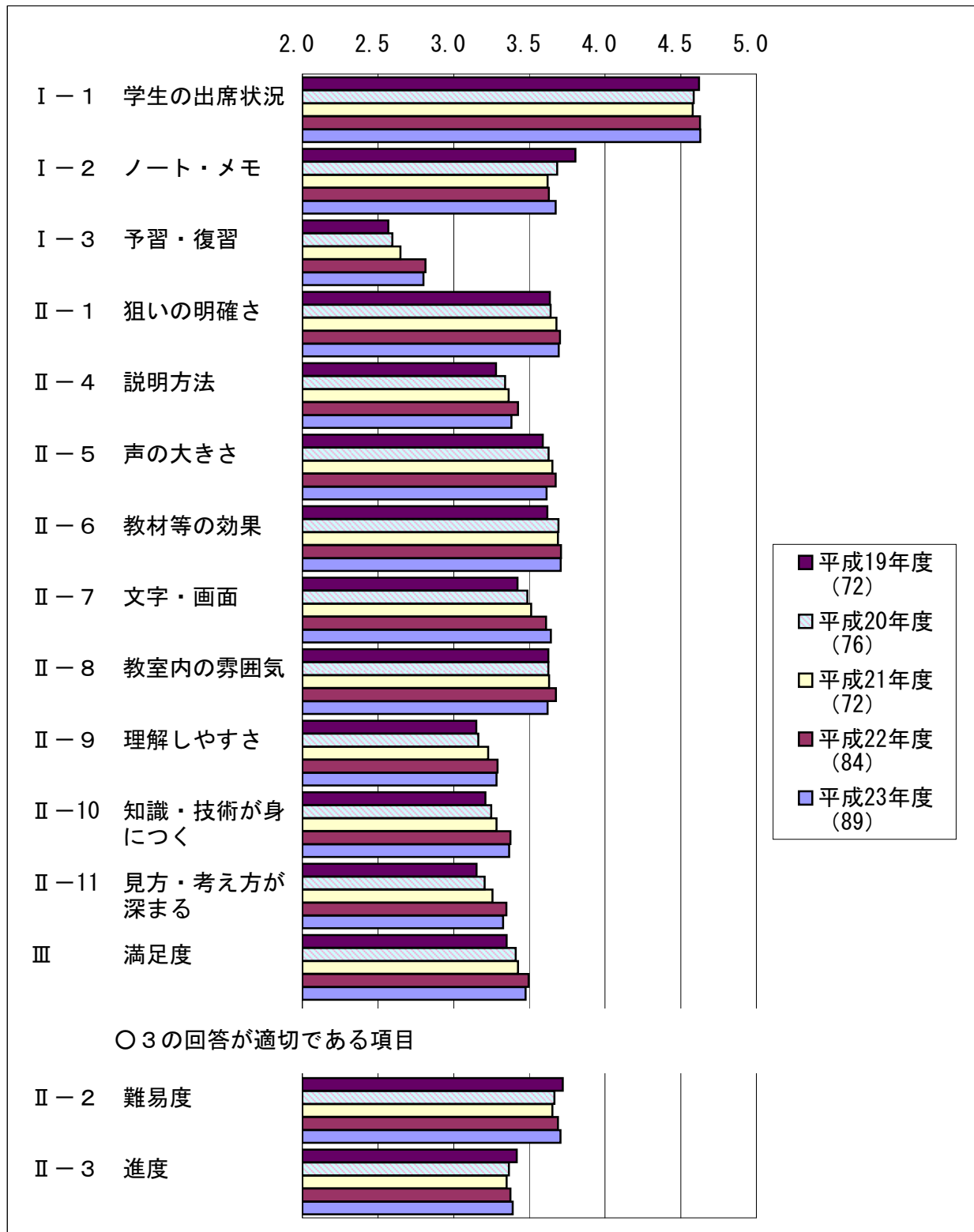


③ 外国語学部専門科目

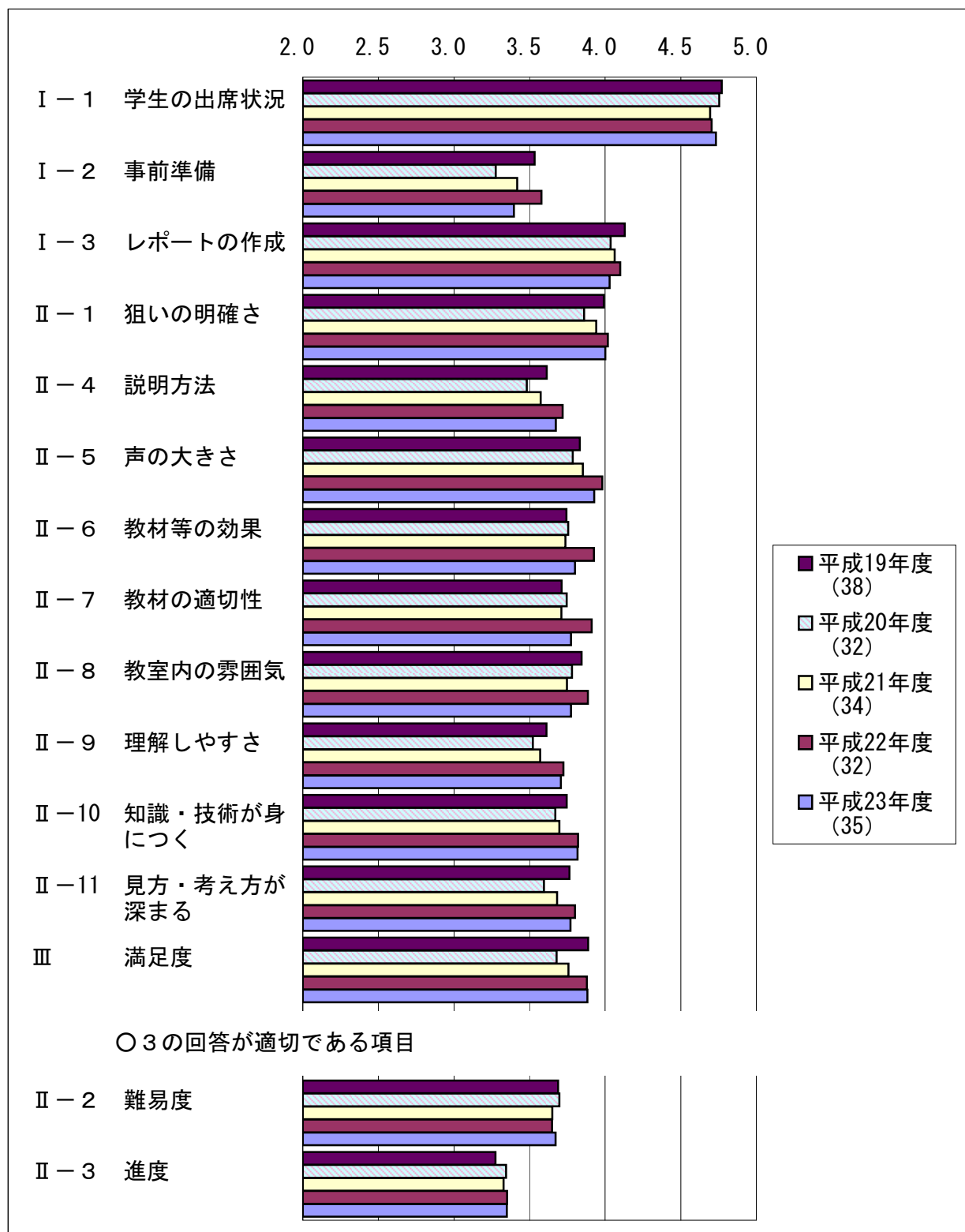


④ 工学部専門科目

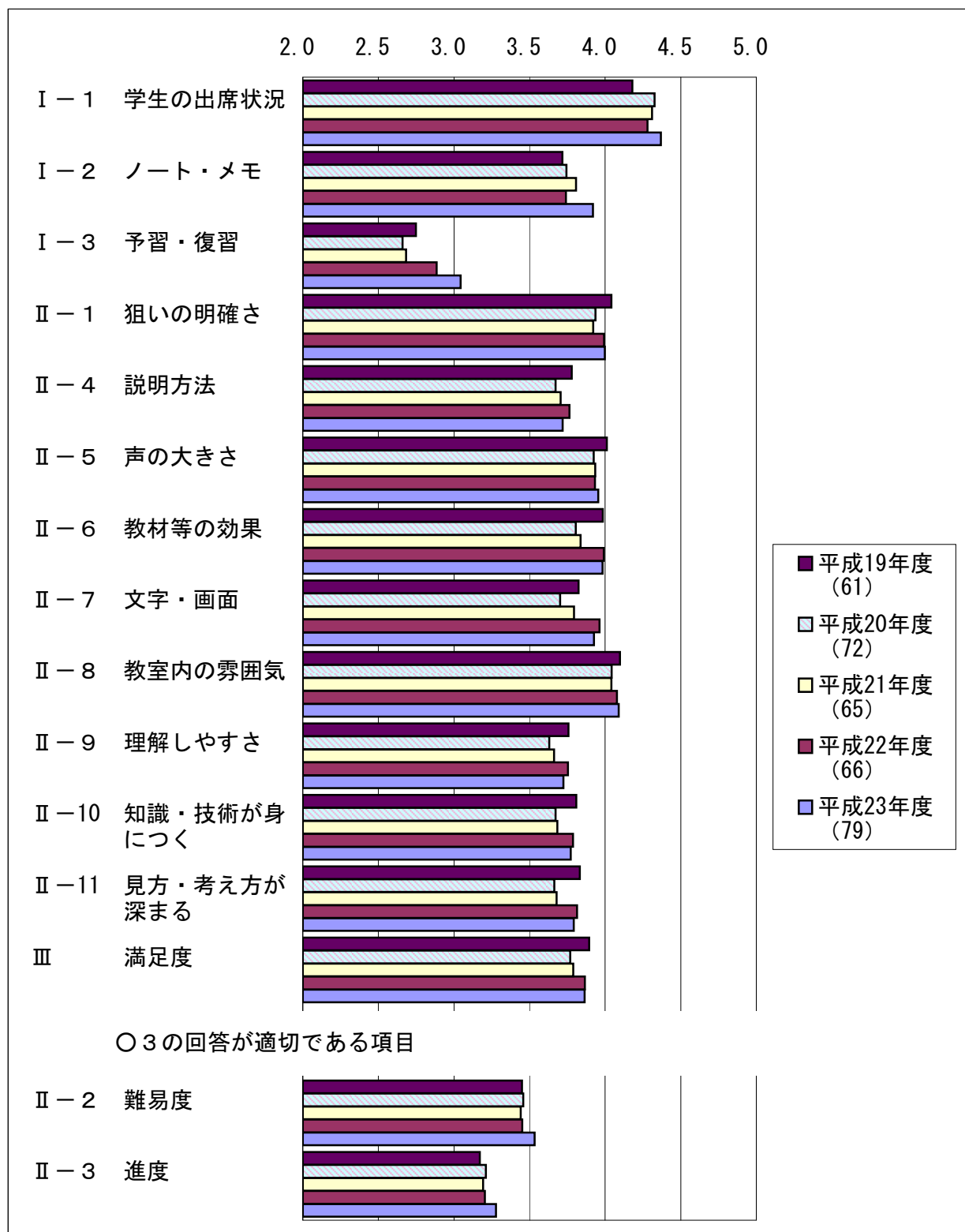
・講義等科目



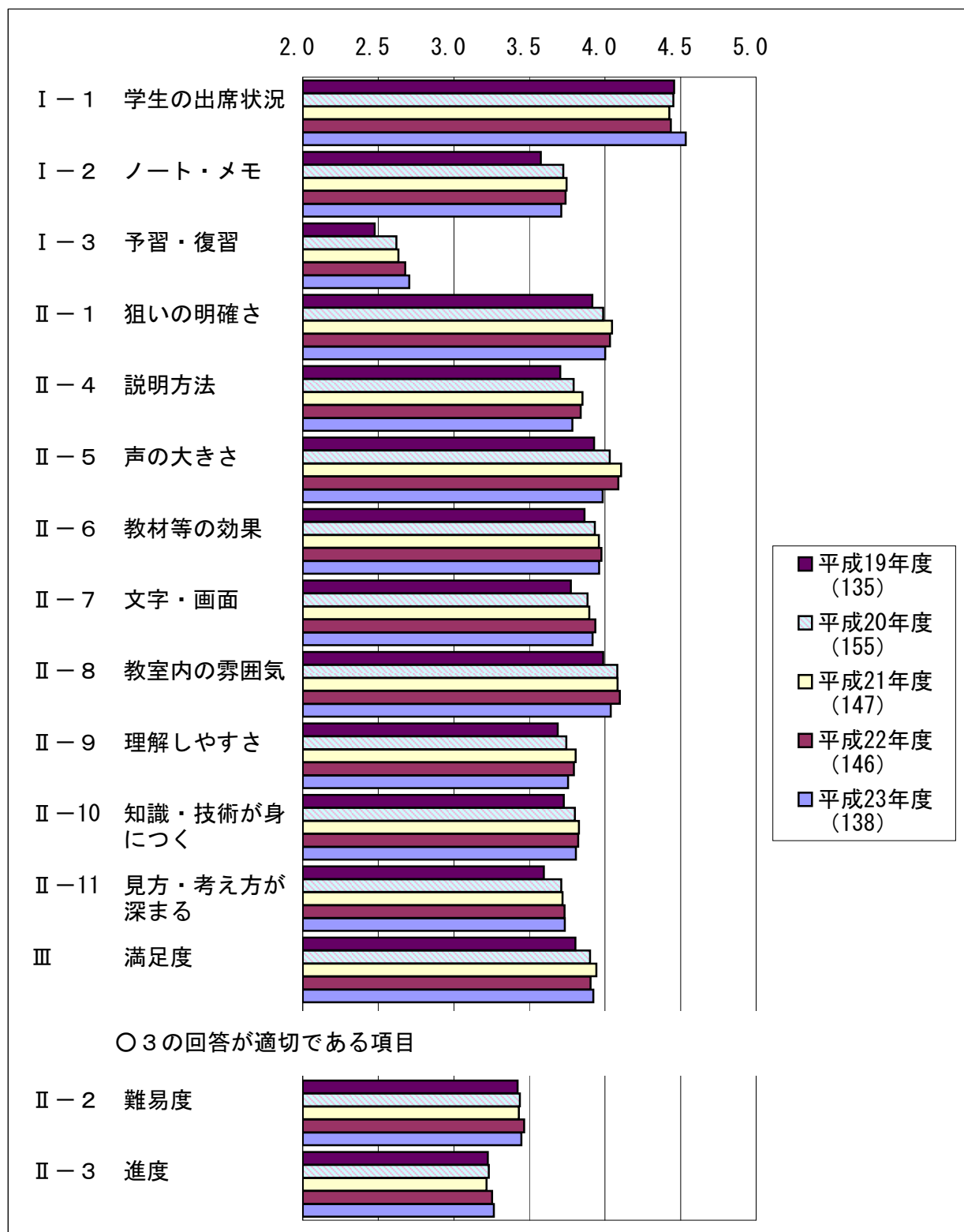
・工学部 実験・実習科目



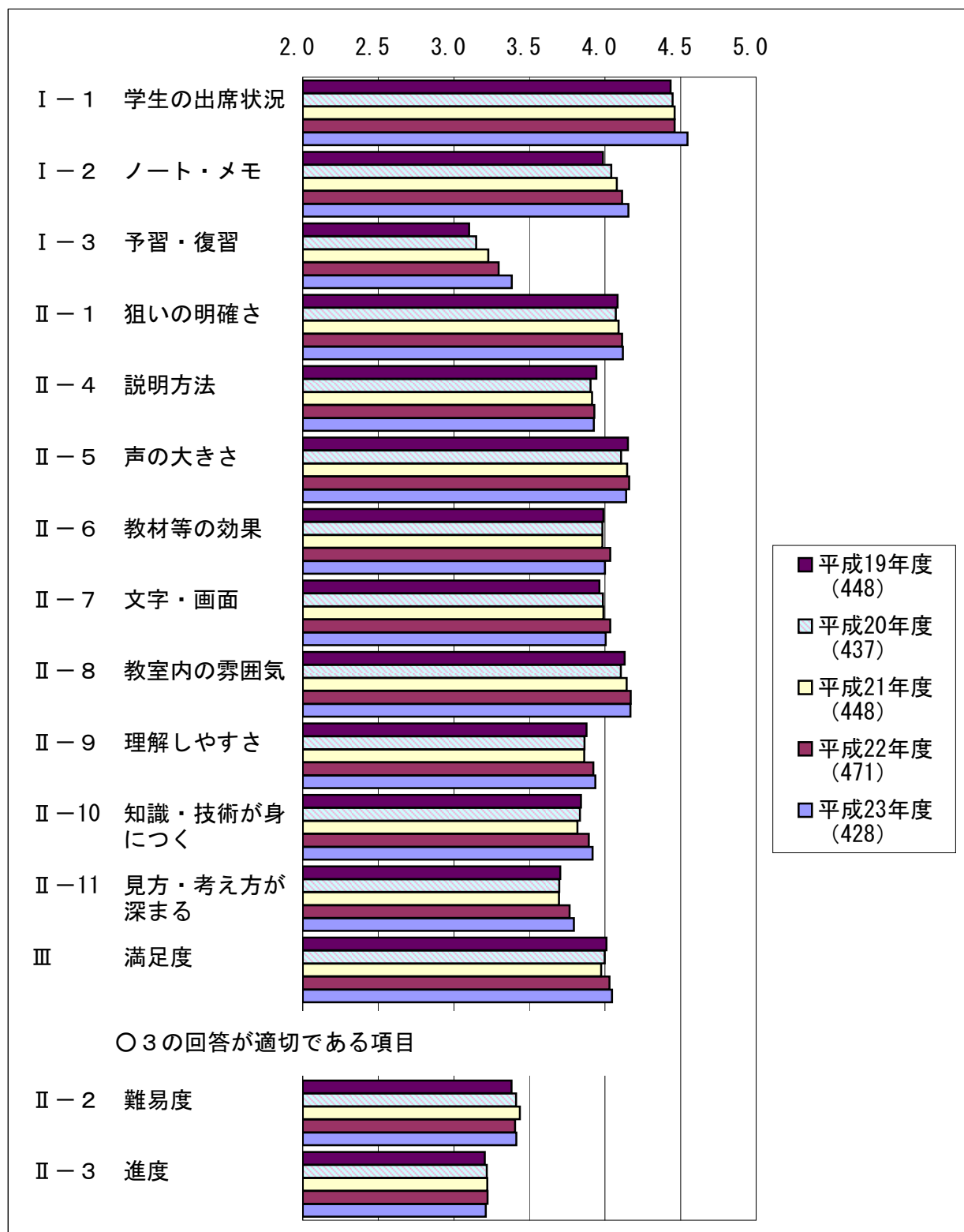
⑤ 国際学部専門科目



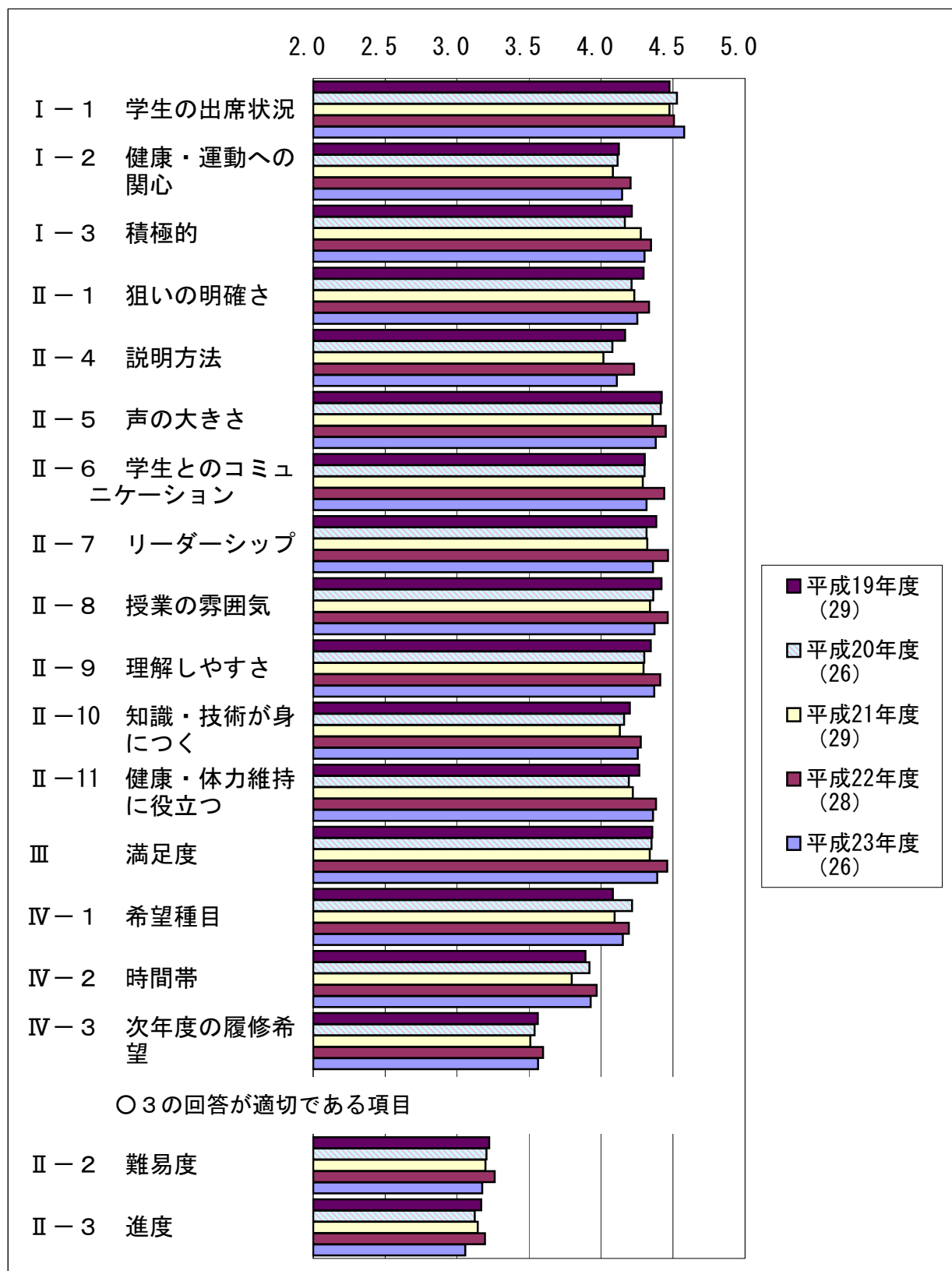
⑥ 教養教育科目



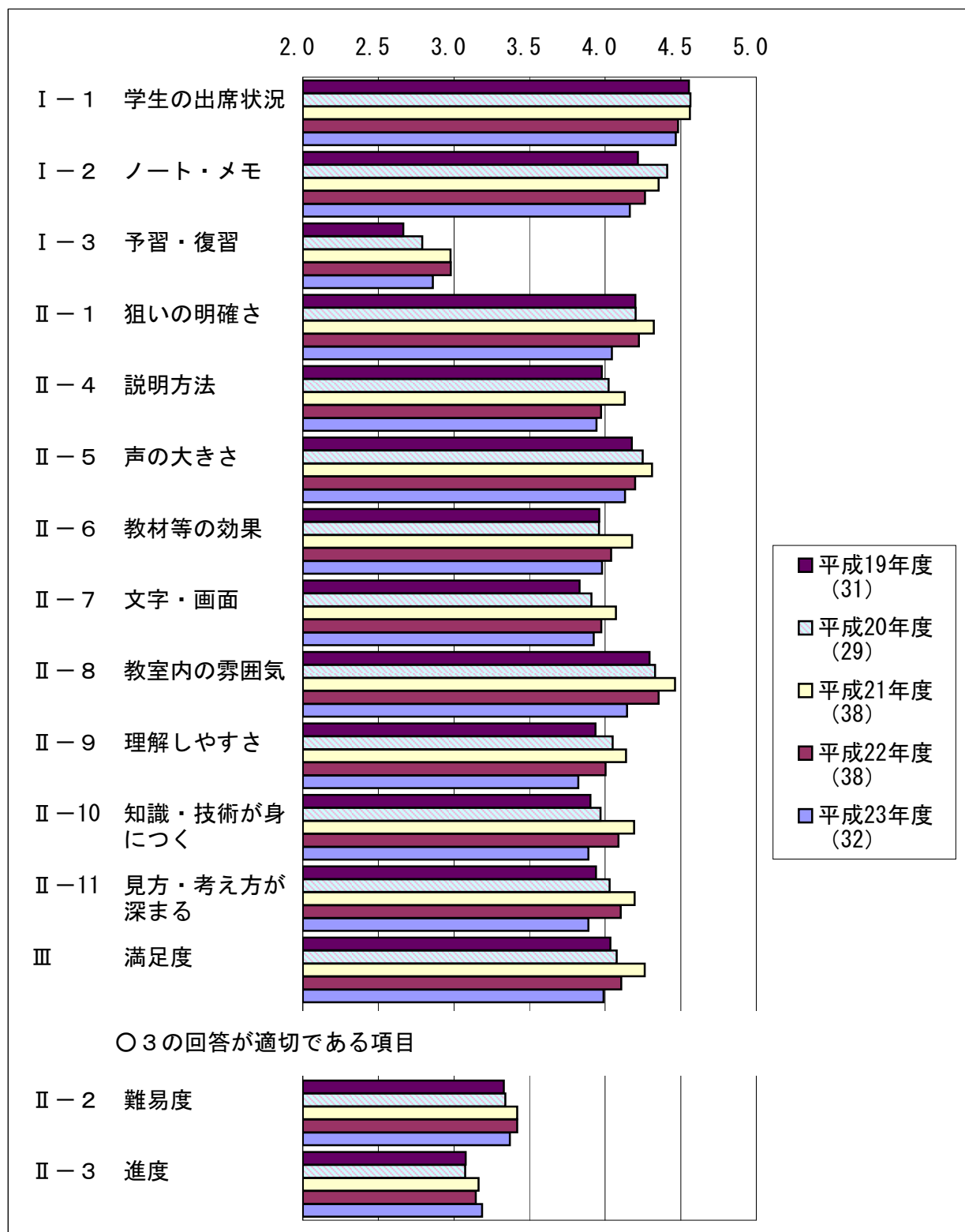
⑦ 外国語科目



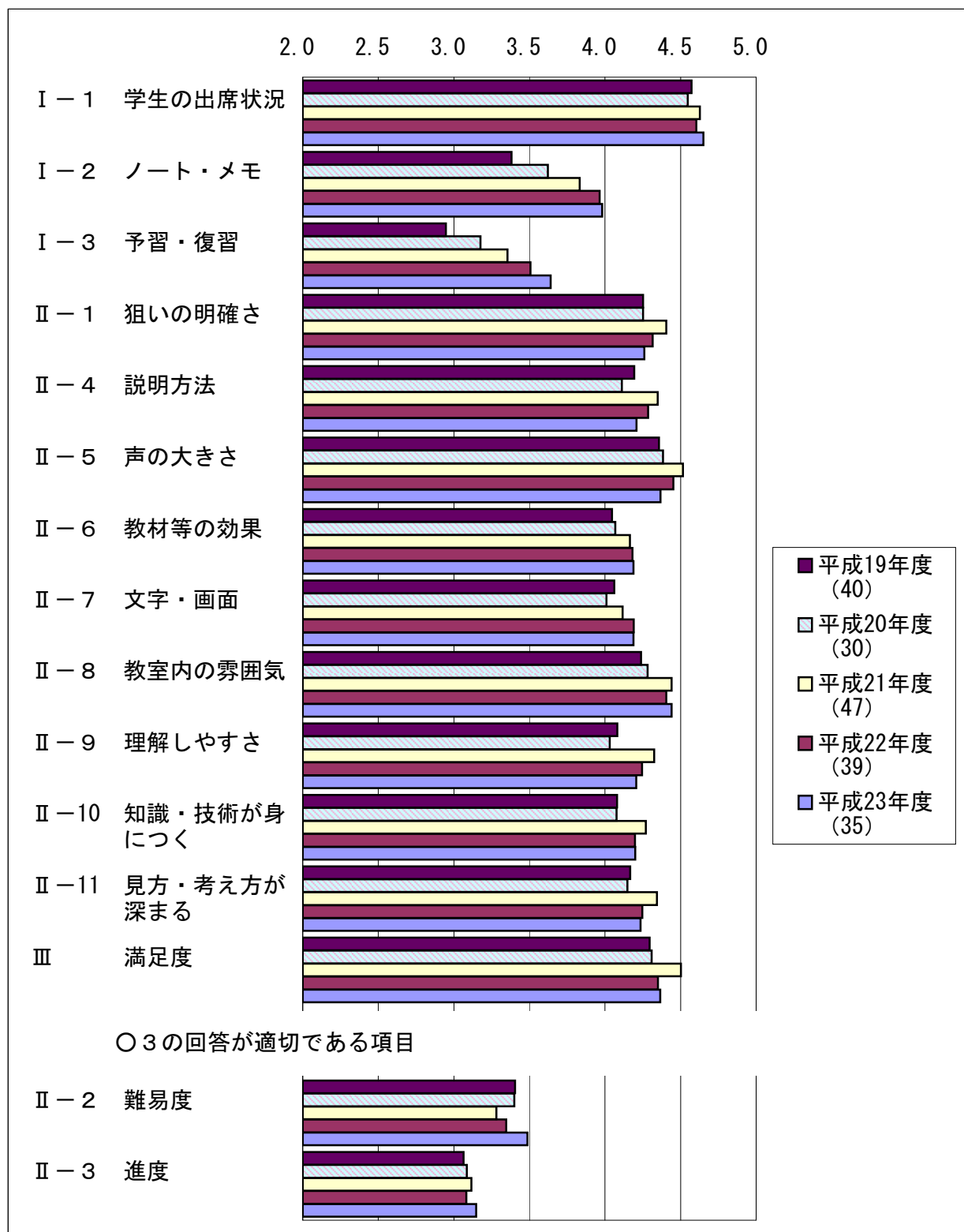
⑧ スポーツ・トレーニング科目



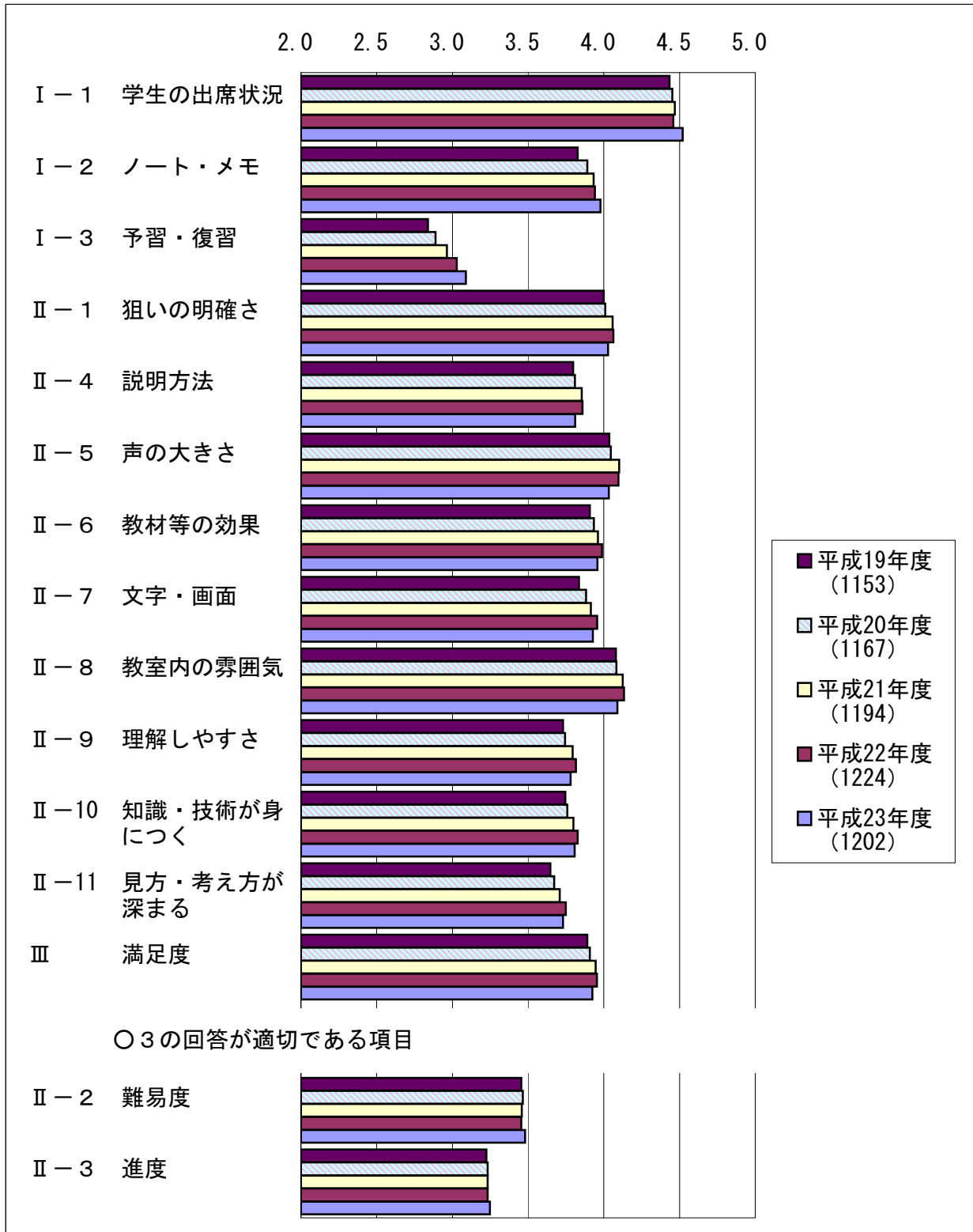
⑨ 教職・社教・日語科目



⑩ ゼミ・外書講読科目



⑪ 全体（講義等科目）



(2) 学生所属別平均値・標準偏差 (講義科目)

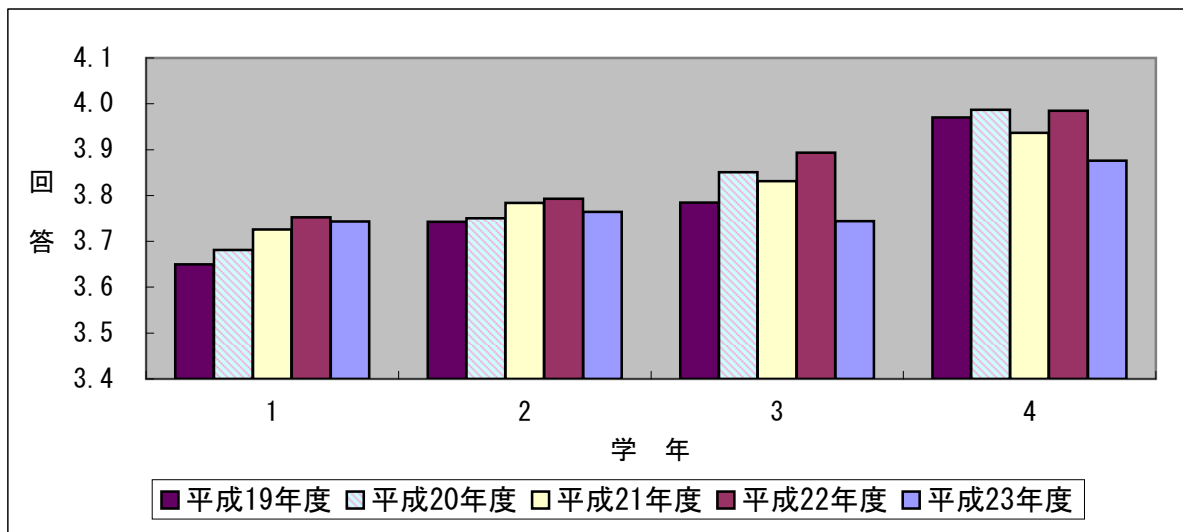
① 学年別

設問項目	区分	1年	2年	3年	4年
		回答件数:(14363)	回答件数:(13086)	回答件数:(10913)	回答件数:(4047)
I-1 学生の出席状況	平均値	4.64	4.50	4.48	4.11
	標準偏差	0.72	0.80	0.78	0.94
I-2 ノート・メモ	平均値	3.89	3.91	3.95	3.90
	標準偏差	1.17	1.12	1.08	1.10
I-3 予習・復習	平均値	2.84	2.93	2.86	2.79
	標準偏差	1.22	1.21	1.17	1.19
II-1 狙いの明確さ	平均値	3.88	3.89	3.91	3.97
	標準偏差	1.02	0.99	0.96	0.98
II-4 説明方法	平均値	3.63	3.66	3.67	3.80
	標準偏差	1.08	1.04	1.03	1.02
II-5 声の大きさ	平均値	3.85	3.87	3.92	4.01
	標準偏差	1.11	1.08	1.04	1.02
II-6 教材等の効果	平均値	3.82	3.85	3.92	3.99
	標準偏差	1.07	1.07	1.03	1.03
II-7 文字・画面	平均値	3.77	3.77	3.85	3.93
	標準偏差	1.06	1.07	1.05	1.02
II-8 教室内の雰囲気	平均値	3.84	3.89	3.91	3.98
	標準偏差	1.04	1.03	1.03	1.04
II-9 理解しやすさ	平均値	3.61	3.62	3.57	3.70
	標準偏差	1.05	1.04	1.02	0.99
II-10 知識・技術が身につく	平均値	3.65	3.65	3.61	3.71
	標準偏差	1.02	1.02	1.00	0.98
II-11 見方・考え方が深まる	平均値	3.57	3.60	3.58	3.71
	標準偏差	1.04	1.05	1.03	1.02
III 満足度	平均値	3.74	3.76	3.74	3.88
	標準偏差	1.08	1.08	1.06	1.04

○3の回答が適切である項目

II-2 難易度	平均値	3.50	3.52	3.53	3.47
	標準偏差	0.82	0.79	0.77	0.76
II-3 進度	平均値	3.30	3.28	3.28	3.24
	標準偏差	0.73	0.69	0.66	0.66

○学年別満足度 (平均値)



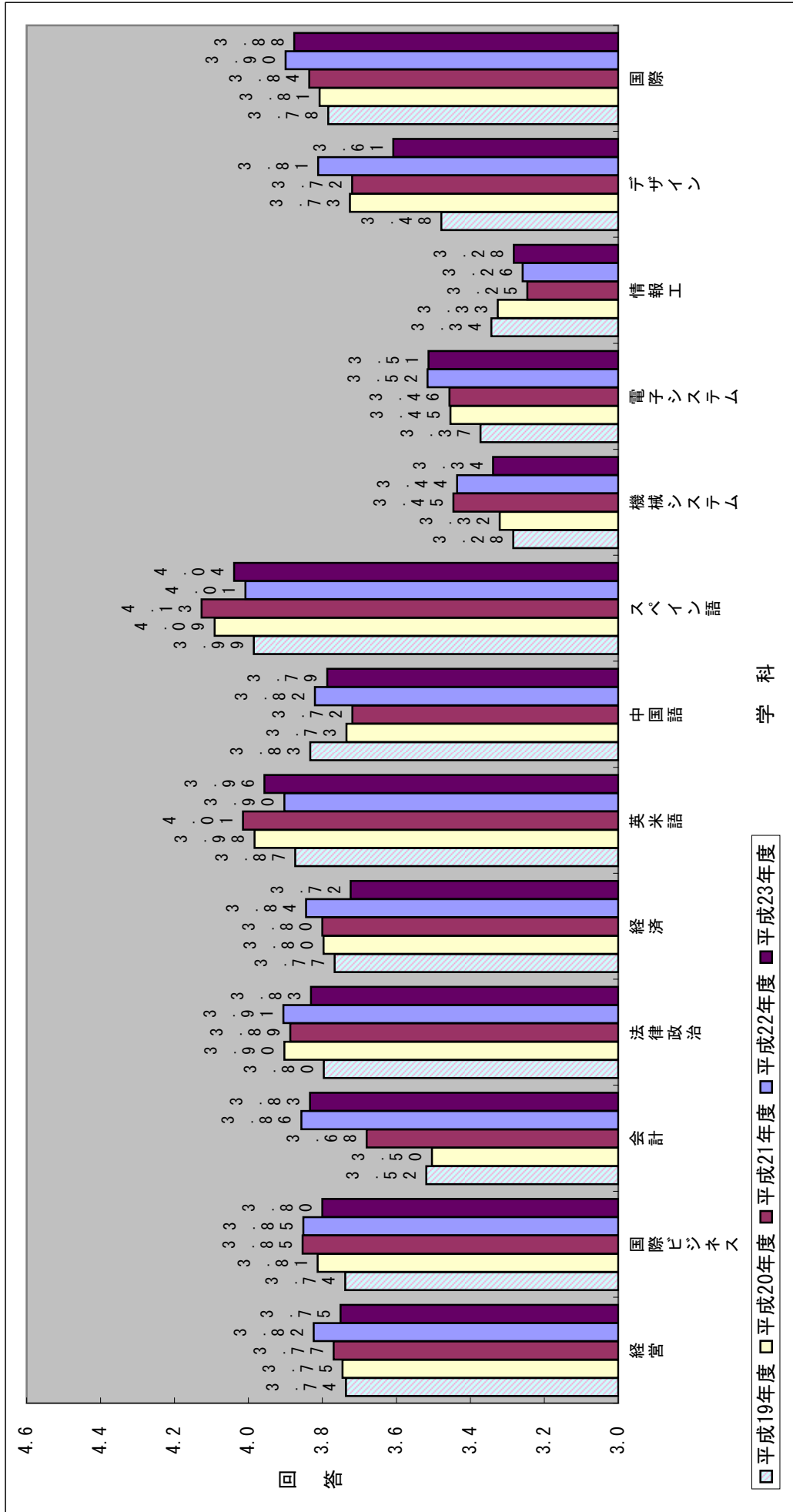
② 学科別

設問項目	区分	経営	国際ビジネス	会計	法律政治	経済	英米語	中国語	スペイン語	機械システム	電子システム	情報工	デザイン	国際
		回答件数:(7267)	回答件数:(2766)	回答件数:(1374)	回答件数:(4859)	回答件数:(8686)	回答件数:(1742)	回答件数:(769)	回答件数:(829)	回答件数:(1406)	回答件数:(1310)	回答件数:(1319)	回答件数:(962)	回答件数:(9127)
I-1 学生の出席状況	平均値	4.53	4.51	4.67	4.47	4.45	4.55	4.63	4.47	4.71	4.71	4.54	4.45	4.46
	標準偏差	0.79	0.83	0.69	0.83	0.84	0.79	0.69	0.73	0.68	0.64	0.80	0.85	0.78
I-2 ノート・メモ	平均値	4.05	4.05	4.10	3.99	3.87	3.99	4.09	4.08	3.55	3.66	3.50	3.72	3.88
	標準偏差	1.08	1.05	1.13	1.12	1.16	1.11	1.13	0.99	1.37	1.20	1.18	1.15	1.06
I-3 予習・復習	平均値	2.81	2.90	2.72	2.80	2.77	2.98	3.01	3.28	2.55	2.89	2.56	2.68	3.12
	標準偏差	1.21	1.25	1.23	1.18	1.17	1.25	1.25	1.22	1.21	1.18	1.08	1.21	1.17
II-1 狙いの明確さ	平均値	3.90	3.95	3.99	3.95	3.87	4.07	3.96	4.11	3.52	3.73	3.55	3.69	3.98
	標準偏差	0.99	0.99	0.96	0.96	0.99	0.96	1.05	0.98	1.10	1.00	0.97	1.04	0.96
II-4 説明方法	平均値	3.65	3.73	3.74	3.72	3.66	3.85	3.65	3.92	3.26	3.46	3.24	3.45	3.74
	標準偏差	1.05	1.06	1.03	1.02	1.04	1.02	1.15	1.06	1.14	1.05	1.04	1.09	1.04
II-5 声の大きさ	平均値	3.91	3.94	3.97	3.94	3.86	4.10	3.99	4.13	3.46	3.72	3.52	3.48	3.95
	標準偏差	1.06	1.06	1.04	1.04	1.08	1.03	1.10	1.03	1.21	1.08	1.08	1.25	1.03
II-6 教材等の効果	平均値	3.81	3.87	3.92	3.92	3.87	4.01	3.82	4.03	3.57	3.71	3.64	3.83	3.96
	標準偏差	1.09	1.12	1.06	1.06	1.03	1.06	1.20	1.00	1.11	0.99	1.04	1.07	1.01
II-7 文字・画面	平均値	3.74	3.85	3.80	3.83	3.79	3.98	3.83	4.05	3.52	3.62	3.52	3.69	3.92
	標準偏差	1.09	1.05	1.09	1.06	1.06	1.03	1.10	0.99	1.12	0.96	1.07	1.13	1.00
II-8 教室内の雰囲気	平均値	3.83	3.94	3.97	4.05	3.89	4.02	3.85	4.05	3.45	3.64	3.43	3.57	3.98
	標準偏差	1.05	1.03	1.03	1.00	1.03	1.01	1.07	1.06	1.13	1.02	1.03	1.14	0.97
II-9 理解しやすさ	平均値	3.59	3.67	3.62	3.65	3.56	3.85	3.63	3.95	3.18	3.35	3.09	3.42	3.76
	標準偏差	1.03	1.04	1.02	0.98	1.01	1.01	1.09	0.98	1.10	1.03	1.04	1.08	1.02
II-10 知識・技術が身につく	平均値	3.62	3.71	3.67	3.70	3.57	3.91	3.71	3.97	3.23	3.41	3.15	3.48	3.78
	標準偏差	1.01	1.03	0.99	0.96	0.99	0.97	1.02	0.95	1.07	0.96	1.02	1.07	1.00
II-11 見方・考え方が深まる	平均値	3.56	3.68	3.57	3.67	3.52	3.78	3.62	3.86	3.16	3.39	3.07	3.50	3.75
	標準偏差	1.04	1.06	1.04	0.97	1.03	1.03	1.08	1.00	1.06	0.97	1.02	1.07	1.02
III 満足度	平均値	3.75	3.80	3.83	3.83	3.72	3.96	3.79	4.04	3.34	3.51	3.28	3.61	3.88
	標準偏差	1.06	1.08	1.03	1.02	1.07	1.05	1.15	1.01	1.09	1.00	1.03	1.11	1.07

○3の回答が適切である項目

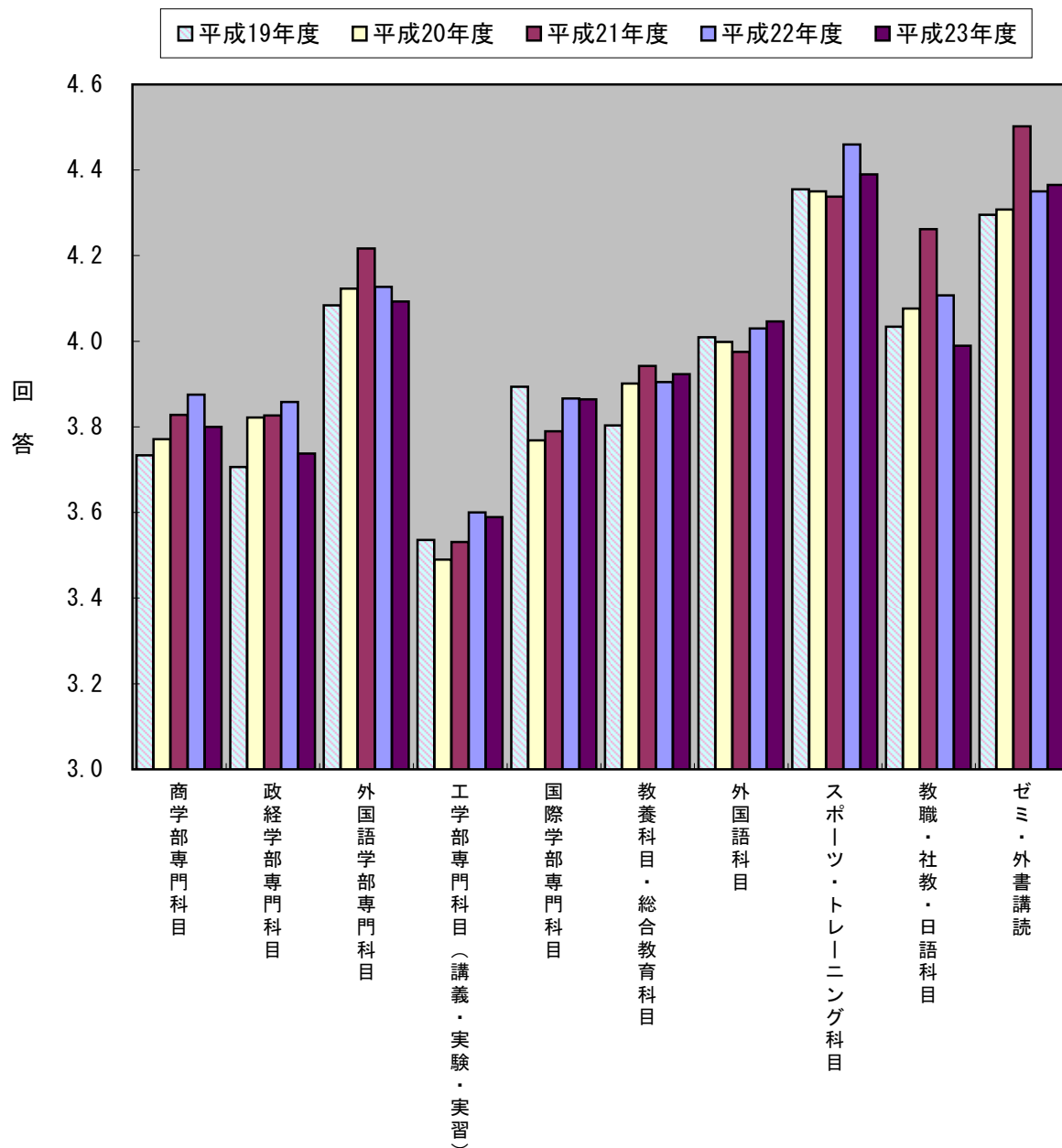
II-2 難易度	平均値	3.50	3.51	3.49	3.46	3.53	3.38	3.57	3.51	3.59	3.65	3.66	3.52	3.48
	標準偏差	0.82	0.81	0.77	0.76	0.79	0.74	0.79	0.78	0.90	0.83	0.84	0.81	0.76
II-3 進度	平均値	3.30	3.27	3.26	3.23	3.26	3.18	3.30	3.23	3.39	3.37	3.39	3.34	3.28
	標準偏差	0.71	0.71	0.67	0.68	0.70	0.60	0.72	0.68	0.77	0.74	0.72	0.68	0.66

○学科別満足度（平均値）



(3) 満足度 平均値

① 学科目別

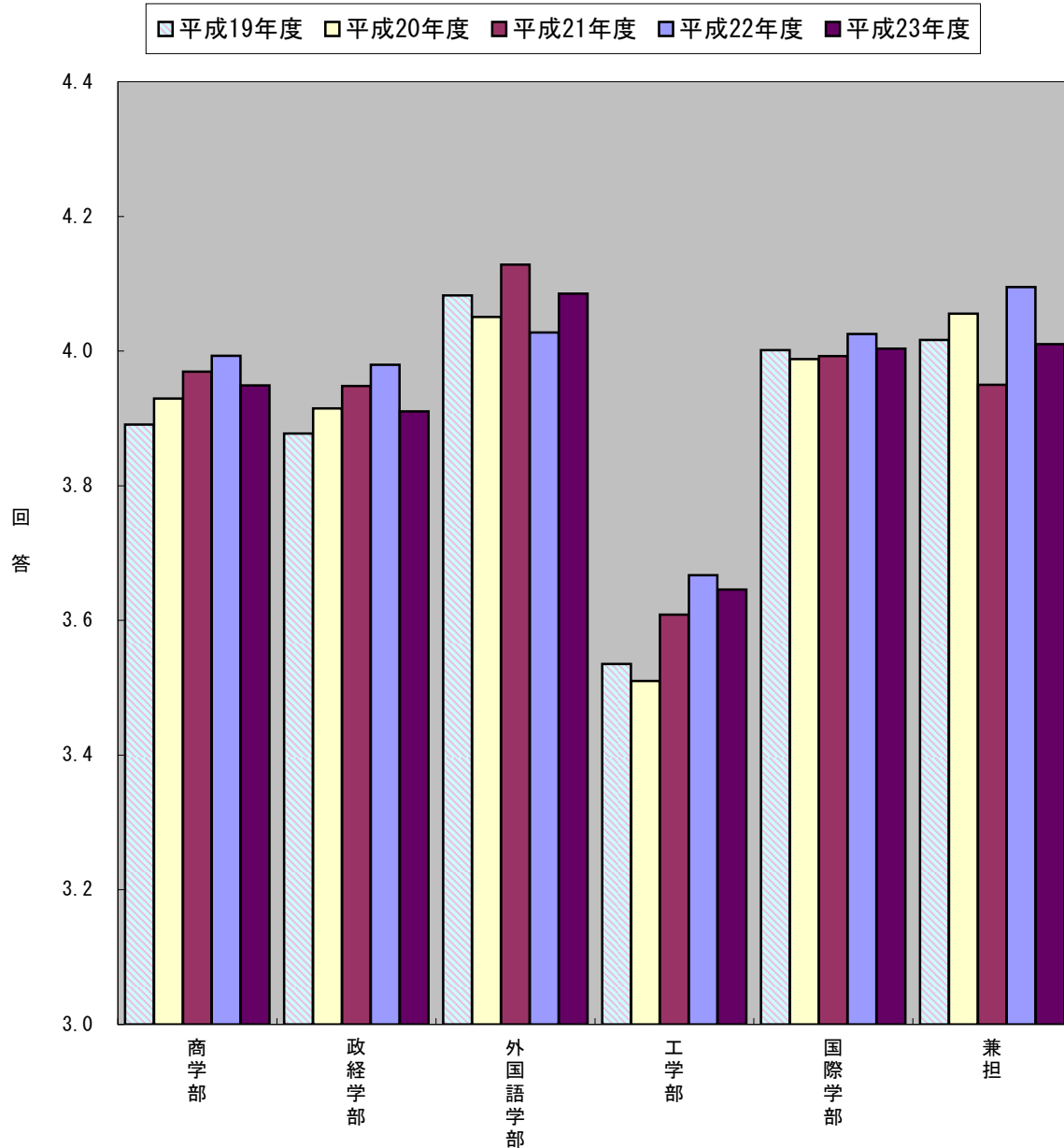


○科目数

平成19年度	118	137	111	110	61	135	448	29	31	40
平成20年度	126	141	101	108	72	155	437	26	29	30
平成21年度	130	142	105	106	65	147	448	29	38	47
平成22年度	126	143	111	116	66	146	471	28	38	39
平成23年度	140	146	115	124	79	138	428	26	32	35

学科目

② 所属別



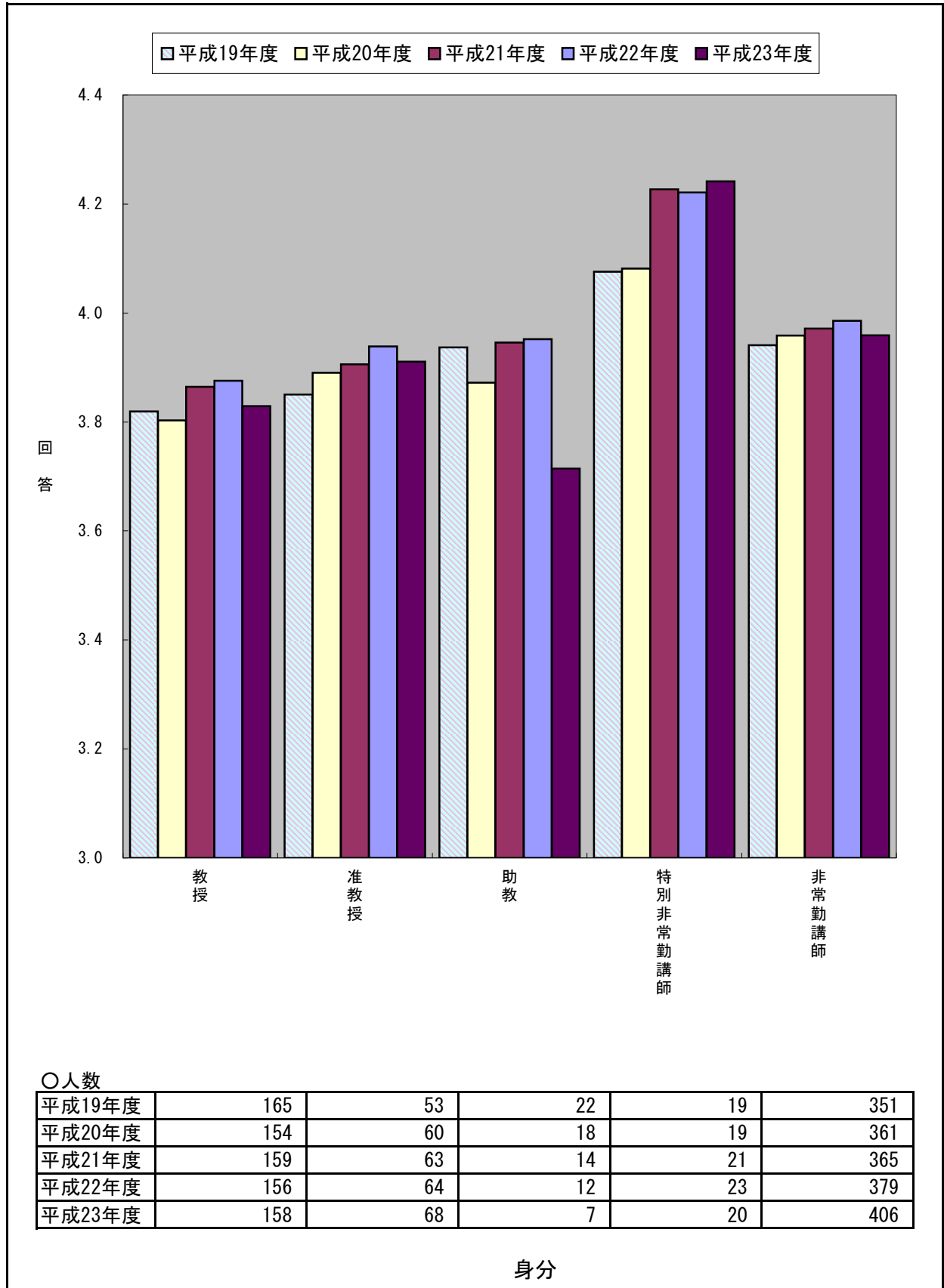
○人数

平成19年度	159	167	93	92	80	19
平成20年度	164	167	88	91	84	19
平成21年度	166	170	88	90	80	28
平成22年度	164	176	88	100	80	26
平成23年度	174	177	84	106	89	30

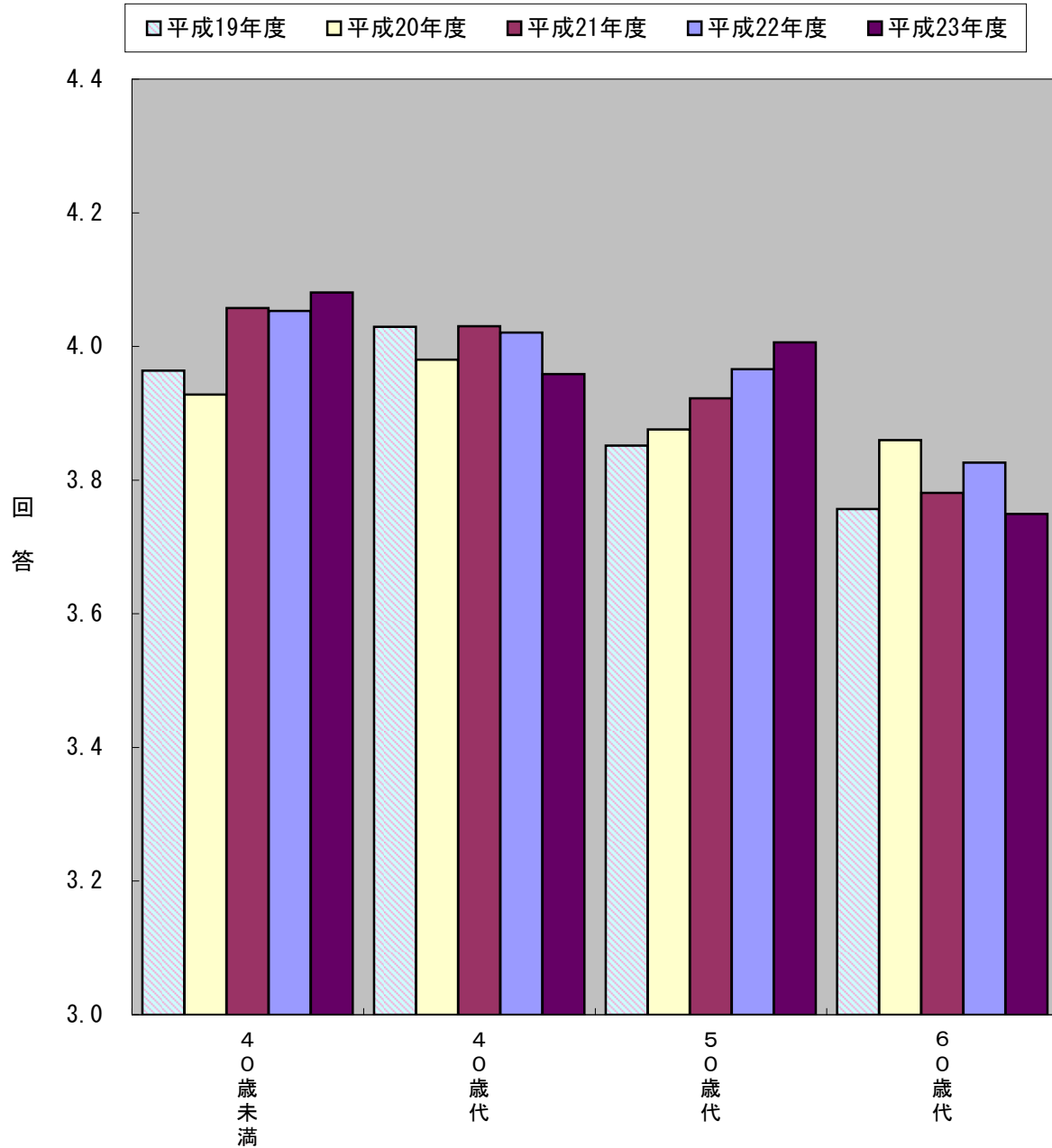
※講師（非常勤）を含む

学部

③ 身分別



④ 年齢別



○人数

平成19年度	103	162	195	150
平成20年度	99	174	183	146
平成21年度	106	176	195	143
平成22年度	106	177	191	160
平成23年度	91	168	211	190

年齢

5. 学科目別 回答の分析

(1) 商学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.88%	0.99%	8.83%	22.91%	66.40%
I-2	2.92%	3.88%	16.06%	30.70%	46.44%
I-3	18.80%	16.83%	37.89%	17.58%	8.90%
I-4	12.92%	2.01%	41.90%	13.31%	29.86%
II-1	2.27%	5.10%	23.97%	38.09%	30.57%
II-2	1.03%	2.78%	48.42%	35.43%	12.35%
II-3	0.81%	2.96%	65.99%	22.65%	7.59%
II-4	4.00%	8.03%	30.43%	34.91%	22.63%
II-5	2.67%	5.79%	23.80%	33.75%	33.99%
II-6	2.55%	4.82%	26.32%	35.23%	31.09%
II-7	3.28%	8.31%	26.82%	33.13%	28.46%
II-8	3.05%	7.17%	26.27%	33.57%	29.94%
II-9	3.84%	8.61%	32.99%	35.97%	18.60%
II-10	3.14%	7.13%	33.53%	37.38%	18.82%
II-11	3.87%	7.49%	34.33%	34.87%	19.44%
III	3.38%	6.12%	28.21%	36.94%	25.35%

(2) 政経学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	1.01%	1.35%	11.39%	25.43%	60.82%
I-2	6.09%	5.95%	20.66%	29.27%	38.03%
I-3	19.62%	18.51%	39.03%	15.89%	6.96%
I-4	16.85%	2.17%	36.59%	11.21%	33.17%
II-1	2.48%	4.86%	24.36%	39.42%	28.88%
II-2	0.73%	2.81%	46.92%	37.83%	11.70%
II-3	0.85%	3.90%	66.81%	21.06%	7.38%
II-4	3.98%	7.44%	32.25%	34.80%	21.53%
II-5	3.64%	6.21%	24.88%	33.23%	32.04%
II-6	2.44%	4.60%	24.93%	35.00%	33.03%
II-7	3.44%	7.20%	26.26%	32.88%	30.23%
II-8	2.29%	5.38%	23.48%	33.49%	35.36%
II-9	3.69%	8.72%	35.77%	35.89%	15.93%
II-10	3.28%	7.21%	35.29%	37.60%	16.61%
II-11	3.69%	7.19%	36.67%	34.76%	17.68%
III	3.56%	5.65%	29.92%	35.85%	25.03%

(3) 外国語学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.18%	0.49%	8.88%	23.53%	66.92%
I-2	2.80%	3.77%	16.77%	32.56%	44.10%
I-3	9.59%	13.72%	33.02%	26.81%	16.87%
I-4	8.67%	1.39%	44.07%	14.45%	31.42%
II-1	1.42%	3.41%	16.97%	36.46%	41.74%
II-2	0.80%	4.47%	51.40%	34.96%	8.37%
II-3	0.58%	4.30%	72.13%	17.99%	5.01%
II-4	2.48%	5.76%	23.48%	34.51%	33.76%
II-5	1.24%	4.39%	15.88%	30.08%	48.40%
II-6	1.57%	2.74%	21.31%	33.50%	40.87%
II-7	1.73%	3.07%	21.93%	33.23%	40.04%
II-8	1.77%	4.75%	19.20%	31.84%	42.44%
II-9	1.64%	4.97%	22.95%	39.46%	30.98%
II-10	1.29%	4.22%	22.55%	40.12%	31.82%
II-11	2.18%	6.04%	28.08%	34.70%	29.01%
III	1.96%	4.82%	19.36%	34.52%	39.34%

(4) 工学部専門科目 (講義科目)

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.24%	0.48%	6.62%	20.33%	72.32%
I-2	8.90%	7.91%	25.43%	30.44%	27.32%
I-3	19.57%	19.91%	37.71%	16.32%	6.50%
I-4	10.40%	2.30%	62.19%	10.26%	14.85%
II-1	3.90%	8.32%	30.95%	38.32%	18.51%
II-2	0.73%	2.98%	38.05%	39.77%	18.47%
II-3	0.53%	2.40%	59.23%	28.39%	9.45%
II-4	7.49%	13.04%	36.64%	30.43%	12.41%
II-5	7.47%	9.20%	29.99%	32.88%	20.46%
II-6	4.18%	5.98%	32.26%	36.11%	21.47%
II-7	5.08%	8.96%	32.86%	33.39%	19.71%
II-8	5.18%	10.46%	35.99%	31.12%	17.24%
II-9	8.19%	13.55%	41.38%	26.81%	10.06%
II-10	6.20%	12.18%	42.04%	28.84%	10.75%
II-11	7.16%	11.77%	44.85%	26.09%	10.12%
III	6.36%	10.46%	39.29%	30.28%	13.61%

(5) 工学部専門科目 (実験・実習科目)

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.24%	0.24%	5.47%	12.10%	81.95%
I-2	11.91%	8.81%	31.04%	29.77%	18.47%
I-3	2.57%	2.69%	21.77%	32.23%	40.73%
I-4	0.80%	3.00%	30.23%	39.85%	26.12%
II-1	1.70%	4.19%	22.05%	40.58%	31.47%
II-2	0.85%	3.41%	40.66%	41.21%	13.88%
II-3	0.93%	2.92%	56.30%	32.03%	7.82%
II-4	3.77%	7.60%	29.97%	38.91%	19.76%
II-5	2.76%	4.66%	22.87%	39.06%	30.66%
II-6	2.44%	5.06%	29.94%	36.16%	26.40%
II-7	2.44%	4.27%	32.30%	36.14%	24.85%
II-8	3.77%	6.93%	27.74%	39.78%	21.78%
II-9	3.04%	6.02%	29.81%	42.58%	18.55%
II-10	1.83%	4.33%	28.54%	44.09%	21.22%
II-11	2.37%	4.69%	31.59%	39.32%	22.03%
III	2.07%	4.87%	26.16%	39.78%	27.13%

(6) 国際学部専門科目

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.57%	0.84%	12.58%	31.01%	55.00%
I-2	4.85%	6.40%	26.55%	32.36%	29.84%
I-3	14.51%	15.52%	39.48%	20.32%	10.17%
I-4	11.48%	2.17%	36.52%	17.05%	32.78%
II-1	2.56%	5.20%	23.57%	35.86%	32.81%
II-2	0.55%	2.31%	54.77%	31.65%	10.71%
II-3	0.59%	2.31%	71.90%	19.56%	5.63%
II-4	4.40%	7.15%	30.01%	33.52%	24.91%
II-5	3.56%	5.39%	24.35%	31.93%	34.77%
II-6	2.39%	3.89%	24.01%	34.10%	35.62%
II-7	2.77%	5.24%	25.38%	33.31%	33.31%
II-8	2.13%	4.41%	25.37%	33.91%	34.18%
II-9	4.38%	6.55%	30.03%	34.64%	24.40%
II-10	3.81%	5.92%	29.51%	36.26%	24.49%
II-11	4.12%	5.87%	28.01%	35.30%	26.70%
III	4.04%	5.69%	24.91%	34.07%	31.28%

(7) 教養科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	1.06%	0.94%	8.41%	21.69%	67.90%
I-2	7.58%	6.95%	23.35%	29.20%	32.91%
I-3	24.10%	20.02%	35.87%	12.99%	7.02%
I-4	18.38%	3.75%	34.66%	7.64%	35.57%
II-1	2.77%	5.61%	25.42%	35.38%	30.81%
II-2	0.85%	3.32%	54.08%	31.30%	10.45%
II-3	0.87%	2.71%	71.09%	18.63%	6.70%
II-4	4.29%	8.26%	30.42%	32.25%	24.78%
II-5	4.35%	7.04%	23.43%	29.94%	35.24%
II-6	2.65%	3.95%	26.94%	33.82%	32.64%
II-7	3.31%	7.05%	27.11%	32.48%	30.04%
II-8	2.74%	6.34%	27.46%	31.40%	32.05%
II-9	3.75%	7.86%	32.11%	35.03%	21.25%
II-10	3.18%	6.39%	32.27%	36.09%	22.07%
II-11	3.58%	6.88%	34.05%	32.94%	22.54%
III	3.18%	5.48%	27.48%	35.23%	28.64%

(8) 外国語科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.16%	0.77%	9.67%	22.03%	67.37%
I-2	2.03%	3.59%	17.29%	35.20%	41.89%
I-3	7.33%	11.99%	34.95%	30.64%	15.09%
I-4	3.01%	1.99%	54.71%	12.12%	28.17%
II-1	1.28%	2.83%	19.74%	40.69%	35.46%
II-2	1.11%	5.01%	51.35%	33.68%	8.85%
II-3	1.04%	4.11%	70.00%	19.60%	5.25%
II-4	1.92%	5.70%	26.30%	37.32%	28.76%
II-5	1.50%	4.25%	19.46%	34.42%	40.37%
II-6	1.44%	3.12%	23.76%	38.29%	33.39%
II-7	1.41%	3.39%	24.67%	38.33%	32.21%
II-8	1.01%	2.86%	19.79%	37.36%	38.98%
II-9	1.66%	5.21%	25.63%	40.15%	27.34%
II-10	1.59%	4.53%	27.04%	41.39%	25.46%
II-11	2.39%	6.01%	32.90%	35.58%	23.12%
III	2.05%	4.09%	22.60%	37.56%	33.70%

(9) スポーツ・トレーニング科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.34%	0.50%	9.40%	17.79%	71.98%
I-2	1.51%	2.52%	17.48%	33.28%	45.21%
I-3	0.34%	1.19%	11.41%	33.22%	53.83%
I-4	5.14%	2.34%	54.91%	6.78%	30.84%
II-1	0.84%	0.34%	14.74%	39.53%	44.56%
II-2	1.34%	5.38%	71.76%	15.29%	6.22%
II-3	1.01%	2.52%	86.91%	5.87%	3.69%
II-4	0.34%	0.67%	28.02%	30.37%	40.60%
II-5	0.17%	0.85%	12.78%	27.43%	58.77%
II-6	0.50%	1.34%	16.22%	33.61%	48.33%
II-7	0.34%	0.67%	14.43%	32.38%	52.18%
II-8	0.50%	0.67%	13.23%	33.84%	51.76%
II-9	0.50%	0.50%	14.55%	33.44%	51.00%
II-10	0.17%	1.00%	16.56%	40.13%	42.14%
II-11	0.33%	0.84%	14.21%	33.61%	51.00%
III	0.34%	0.34%	13.66%	30.19%	55.48%

(10) 教職・社教・日語科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.17%	0.95%	8.86%	28.55%	61.48%
I-2	1.72%	3.26%	15.98%	35.14%	43.90%
I-3	16.67%	15.72%	38.77%	20.47%	8.38%
I-4	4.15%	0.85%	68.27%	11.42%	15.31%
II-1	1.20%	3.61%	21.17%	40.28%	33.73%
II-2	0.52%	2.41%	61.05%	28.98%	7.05%
II-3	1.03%	3.36%	72.63%	18.07%	4.91%
II-4	1.72%	4.55%	25.77%	40.46%	27.49%
II-5	1.38%	3.96%	20.55%	35.08%	39.04%
II-6	1.82%	3.46%	22.75%	37.46%	34.52%
II-7	2.07%	6.37%	23.51%	35.40%	32.64%
II-8	1.38%	3.10%	20.98%	38.26%	36.29%
II-9	2.15%	4.64%	27.52%	41.62%	24.08%
II-10	1.55%	3.70%	27.00%	43.94%	23.82%
II-11	2.15%	3.18%	27.02%	42.08%	25.56%
III	2.08%	3.46%	21.21%	42.25%	31.00%

(11) ゼミ・外書講読

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.22%		6.07%	23.82%	69.89%
I-2	5.84%	6.97%	17.30%	35.06%	34.83%
I-3	9.19%	9.64%	30.27%	26.68%	24.22%
I-4	5.66%	2.83%	20.81%	26.46%	44.24%
II-1	0.68%	2.71%	11.96%	40.86%	43.79%
II-2	0.45%	3.82%	50.56%	33.48%	11.69%
II-3	0.68%	2.25%	76.13%	13.06%	7.88%
II-4	0.90%	2.47%	18.20%	37.98%	40.45%
II-5	0.22%	1.12%	16.40%	29.44%	52.81%
II-6	1.35%	1.35%	19.19%	35.44%	42.66%
II-7	0.90%	1.57%	20.18%	34.98%	42.38%
II-8	0.67%	1.57%	14.32%	31.77%	51.68%
II-9	0.90%	1.79%	18.83%	40.36%	38.12%
II-10	0.45%	2.47%	18.39%	43.05%	35.65%
II-11	0.45%	2.24%	19.28%	38.79%	39.24%
III	0.90%	1.80%	11.46%	36.85%	48.99%

(12) 全体（講義科目）

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.65%	0.92%	9.63%	23.90%	64.90%
I-2	4.85%	5.36%	20.38%	31.45%	37.96%
I-3	16.56%	16.61%	37.11%	19.86%	9.86%
I-4	12.71%	2.33%	42.81%	11.97%	30.17%
II-1	2.29%	4.85%	23.51%	38.24%	31.11%
II-2	0.85%	3.35%	49.76%	34.74%	11.30%
II-3	0.82%	3.29%	68.30%	20.88%	6.73%
II-4	3.84%	7.60%	29.94%	34.54%	24.08%
II-5	3.30%	5.87%	23.21%	32.73%	34.89%
II-6	2.38%	4.15%	25.52%	35.49%	32.46%
II-7	2.94%	6.29%	26.34%	34.10%	30.33%
II-8	2.42%	5.57%	24.81%	33.79%	33.41%
II-9	3.65%	7.75%	31.68%	36.00%	20.93%
II-10	3.07%	6.58%	31.93%	37.46%	20.96%
II-11	3.67%	7.03%	34.12%	34.15%	21.02%
III	3.35%	5.71%	27.24%	35.67%	28.03%

6. 学部設問項目 平均値・標準偏差

(1) 政経学部

設問項目		教員別	科目数	平均値	標準偏差
IV-1	この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切ですか	専任教員	115	4.02	0.40
		非常勤講師	178	3.98	0.44
IV-2	授業に支障をきたすような私語は無い	専任教員	115	3.98	0.65
		非常勤講師	178	3.94	0.51

(2) 外国語学部

設問項目		教員別	科目数	平均値	標準偏差
IV-1	この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切ですか	専任教員	87	4.35	0.35
		非常勤講師	86	4.15	0.48
IV-2	このクラスの学生数は適切ですか	専任教員	87	4.31	0.41
		非常勤講師	86	4.18	0.44

(3) 国際学部

設問項目		教員別	科目数	平均値	標準偏差
IV-1	授業の開始時間、終了時間は守られている	専任教員	99	4.44	0.31
		非常勤講師	143	4.42	0.31
IV-2	出欠はきちんととられている	専任教員	99	4.46	0.42
		非常勤講師	143	4.47	0.31
IV-3	授業中、学生同士の私語はない	専任教員	99	4.03	0.50
		非常勤講師	143	3.73	0.54
IV-4	1年生は今後進むコースを、2年生以降は所属するコースを選んでください。①国際協力、②国際政治、③国際文化、④国際観光、⑤農業総合	専任教員	99	2.76	0.83
		非常勤講師	143	2.91	0.81

IV コース・分野・学科別集計

1. 商学部専門科目（コース別）

区 分 項 目	学 科 コ ー ス 科 目 数	経 営			国際ビジネス		会 計	全 体
		経 営	経営情報	流 通	国際ビジネス	コミュニケーション		
		23	36	18	46	3	46	172
I-1	平均値	4.51	4.52	4.56	4.50	4.52	4.56	4.53
	標準偏差	0.18	0.26	0.19	0.25	0.03	0.22	0.23
I-2	平均値	4.13	3.04	4.25	3.99	3.94	4.06	3.86
	標準偏差	0.46	0.78	0.31	0.52	0.53	0.51	0.70
I-3	平均値	2.91	2.59	2.83	3.06	3.94	2.89	2.89
	標準偏差	0.52	0.42	0.37	0.56	0.42	0.50	0.53
II-1	平均値	3.86	3.97	4.02	4.05	4.27	3.94	3.98
	標準偏差	0.42	0.42	0.26	0.38	0.35	0.43	0.40
II-4	平均値	3.67	3.71	3.81	3.87	4.11	3.64	3.75
	標準偏差	0.41	0.51	0.29	0.47	0.58	0.52	0.48
II-5	平均値	3.91	3.98	3.99	4.10	4.62	3.92	4.00
	標準偏差	0.41	0.51	0.32	0.45	0.46	0.52	0.47
II-6	平均値	3.75	4.01	3.95	4.02	4.24	3.81	3.92
	標準偏差	0.42	0.38	0.32	0.42	0.80	0.45	0.43
II-7	平均値	3.70	4.01	3.86	3.99	4.42	3.71	3.88
	標準偏差	0.53	0.41	0.39	0.44	0.38	0.54	0.49
II-8	平均値	3.86	4.12	3.87	4.08	4.64	4.15	4.06
	標準偏差	0.50	0.39	0.43	0.53	0.13	0.42	0.47
II-9	平均値	3.62	3.72	3.72	3.78	4.56	3.56	3.69
	標準偏差	0.47	0.41	0.28	0.45	0.10	0.45	0.45
II-10	平均値	3.59	3.79	3.74	3.83	4.31	3.66	3.74
	標準偏差	0.37	0.39	0.25	0.44	0.28	0.39	0.40
II-11	平均値	3.58	3.59	3.73	3.84	3.90	3.57	3.67
	標準偏差	0.40	0.36	0.29	0.43	0.78	0.42	0.42
III	平均値	3.75	3.86	3.87	3.97	4.15	3.76	3.85
	標準偏差	0.45	0.42	0.30	0.44	0.56	0.48	0.44

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.42	3.54	3.47	3.57	3.59	3.59	3.54
	標準偏差	0.31	0.25	0.17	0.32	0.16	0.27	0.28
II-3	平均値	3.24	3.35	3.30	3.25	3.12	3.31	3.29
	標準偏差	0.19	0.21	0.22	0.28	0.13	0.20	0.23

※1-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回 答 / コース	経 営	経営情報	流 通	国際ビジネス	コミュニケーション	会 計	全 体
1. 講義への興味	14.8	9.7	12.1	11.4	0.0	14.1	12.5
2. 教員にひかれて	2.0	2.1	2.6	1.9	0.0	1.4	2.0
3. 単位が必要	43.0	53.2	37.3	37.2	45.5	47.8	42.2
4. 単位取得が楽	13.5	8.9	16.0	13.5	22.7	10.5	13.1
5. 時間帯が空いている	26.7	26.1	32.0	35.9	31.8	26.3	30.2
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

2. 政経学部専門科目（分野別）

区分	分野	法律	政治	行政	経済	全体
設問	科目数	21	30	10	67	128
I-1	平均値	4.37	4.49	4.42	4.41	4.43
	標準偏差	0.17	0.28	0.30	0.26	0.26
I-2	平均値	4.00	4.21	3.65	3.87	3.95
	標準偏差	0.51	0.59	0.45	0.50	0.54
I-3	平均値	2.71	2.85	2.96	2.77	2.79
	標準偏差	0.20	0.58	0.67	0.48	0.49
II-1	平均値	3.94	4.01	3.86	3.80	3.88
	標準偏差	0.37	0.41	0.28	0.47	0.43
II-4	平均値	3.70	3.78	3.69	3.59	3.66
	標準偏差	0.44	0.42	0.33	0.50	0.46
II-5	平均値	3.97	3.98	3.92	3.77	3.87
	標準偏差	0.38	0.44	0.45	0.61	0.53
II-6	平均値	3.90	3.91	3.78	3.86	3.87
	標準偏差	0.37	0.48	0.38	0.44	0.43
II-7	平均値	3.79	3.79	3.67	3.74	3.75
	標準偏差	0.45	0.62	0.49	0.53	0.54
II-8	平均値	4.14	4.37	3.97	3.96	4.08
	標準偏差	0.36	0.26	0.49	0.49	0.46
II-9	平均値	3.55	3.70	3.53	3.47	3.54
	標準偏差	0.36	0.40	0.31	0.46	0.43
II-10	平均値	3.61	3.77	3.67	3.51	3.60
	標準偏差	0.29	0.40	0.32	0.42	0.40
II-11	平均値	3.64	3.77	3.69	3.51	3.61
	標準偏差	0.30	0.45	0.28	0.42	0.41
III	平均値	3.77	3.93	3.74	3.68	3.76
	標準偏差	0.39	0.48	0.33	0.47	0.46

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.55	3.52	3.65	3.57	3.56
	標準偏差	0.22	0.25	0.25	0.27	0.26
II-3	平均値	3.24	3.30	3.18	3.26	3.26
	標準偏差	0.22	0.21	0.40	0.26	0.26

※1-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回答 / 分野	法律	政治	行政	経済	全体
1. 講義への興味	14.6	16.8	15.9	18.1	17.2
2. 教員にひかれて	1.0	0.9	1.2	2.9	2.1
3. 単位が必要	35.1	31.1	43.2	36.5	35.7
4. 単位取得が楽	12.4	13.0	10.3	11.6	11.9
5. 時間帯が空いている	36.9	38.2	29.5	30.8	33.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

3. 外国語学部専門科目（学科別）

区 分	学 科	英米語	中国語	スペイン語	全 体
設 問	科目数	60	24	31	115
I-1	平均値	4.51	4.62	4.52	4.54
	標準偏差	0.27	0.29	0.26	0.27
I-2	平均値	3.96	4.26	4.25	4.10
	標準偏差	0.51	0.43	0.46	0.50
I-3	平均値	3.25	3.45	3.61	3.39
	標準偏差	0.64	0.64	0.65	0.66
II-1	平均値	4.25	4.06	4.24	4.21
	標準偏差	0.44	0.55	0.55	0.50
II-4	平均値	4.04	3.75	4.11	4.00
	標準偏差	0.51	0.69	0.57	0.58
II-5	平均値	4.31	4.06	4.32	4.26
	標準偏差	0.47	0.57	0.49	0.50
II-6	平均値	4.14	3.95	4.12	4.09
	標準偏差	0.41	0.51	0.54	0.47
II-7	平均値	4.15	3.97	4.18	4.12
	標準偏差	0.45	0.57	0.44	0.48
II-8	平均値	4.25	4.09	4.29	4.23
	標準偏差	0.43	0.47	0.54	0.47
II-9	平均値	4.03	3.81	4.09	4.00
	標準偏差	0.42	0.59	0.50	0.49
II-10	平均値	4.10	3.86	4.09	4.05
	標準偏差	0.42	0.50	0.54	0.48
II-11	平均値	3.94	3.68	3.98	3.90
	標準偏差	0.46	0.58	0.56	0.52
III	平均値	4.17	3.83	4.14	4.09
	標準偏差	0.51	0.69	0.53	0.57

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.34	3.47	3.55	3.42
	標準偏差	0.38	0.37	0.34	0.37
II-3	平均値	3.13	3.23	3.24	3.18
	標準偏差	0.23	0.29	0.22	0.25

※1-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回 答 / 学 科	英米語	中国語	スペイン語	全 体
1. 講義への興味	9.2	6.0	9.5	8.7
2. 教員にひかれて	1.7	0.8	1.0	1.4
3. 単位が必要	39.4	55.2	47.0	44.1
4. 単位取得が楽	13.6	15.3	15.9	14.4
5. 時間帯が空いている	36.0	22.7	26.6	31.4
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0

4. 工学部専門科目

(1) 実験・実習科目 (学科別)

区分	学科	機械	電子	情報	デザイン	基礎教育	全体
設問	科目数	6	8	7	14		35
I-1	平均値	4.86	4.76	4.74	4.66		4.73
	標準偏差	0.10	0.12	0.19	0.21		0.18
I-2	平均値	3.20	3.31	3.02	3.72		3.40
	標準偏差	0.53	0.34	0.57	0.40		0.51
I-3	平均値	4.15	4.01	4.02	3.99		4.03
	標準偏差	0.21	0.35	0.43	0.29		0.32
I-4	平均値	3.95	3.86	3.84	3.84		3.86
	標準偏差	0.22	0.24	0.25	0.23		0.23
II-1	平均値	4.13	3.95	3.89	4.03		4.00
	標準偏差	0.28	0.41	0.29	0.27		0.31
II-4	平均値	3.88	3.69	3.49	3.67		3.67
	標準偏差	0.18	0.57	0.50	0.37		0.43
II-5	平均値	4.02	3.81	3.86	3.99		3.93
	標準偏差	0.24	0.62	0.38	0.41		0.43
II-6	平均値	3.99	3.75	3.65	3.82		3.80
	標準偏差	0.24	0.34	0.25	0.32		0.31
II-7	平均値	3.93	3.71	3.69	3.79		3.77
	標準偏差	0.19	0.37	0.29	0.31		0.30
II-8	平均値	3.93	3.70	3.82	3.72		3.77
	標準偏差	0.26	0.69	0.39	0.49		0.49
II-9	平均値	3.74	3.71	3.59	3.75		3.71
	標準偏差	0.20	0.57	0.60	0.32		0.42
II-10	平均値	3.76	3.66	3.76	3.96		3.82
	標準偏差	0.19	0.47	0.36	0.20		0.33
II-11	平均値	3.69	3.61	3.58	3.99		3.77
	標準偏差	0.22	0.47	0.39	0.27		0.38
III	平均値	3.90	3.79	3.72	4.01		3.88
	標準偏差	0.24	0.56	0.42	0.33		0.40

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.53	3.58	3.75	3.74		3.67
	標準偏差	0.22	0.24	0.38	0.40		0.34
II-3	平均値	3.31	3.24	3.24	3.49		3.35
	標準偏差	0.16	0.21	0.24	0.22		0.23

(注) : 「実験・実習用アンケート」で実施した演習等科目を含む。

(2) 学科・学科目別(講義科目)

区分	学 科	機 械		電子システム		情 報			デザイン	基礎教育系列		全 体
	科 目	1・2年次選択	3・4年次選択	コア	応用	講義	コア	選択	講義	必修	選択	
設 問	科目数	11	6	9	8	7	4	7	9	11	15	87
I-1	平均値	4.63	4.70	4.71	4.74	4.57	4.50	4.32	4.44	4.64	4.79	4.63
	標準偏差	0.10	0.14	0.11	0.09	0.11	0.22	0.23	0.19	0.11	0.20	0.20
I-2	平均値	3.31	3.64	3.71	3.50	3.36	3.61	3.41	3.64	4.06	4.11	3.68
	標準偏差	0.61	0.41	0.41	0.51	0.64	0.47	0.35	0.45	0.28	0.63	0.56
I-3	平均値	2.42	2.78	3.05	2.69	2.54	2.89	2.69	2.73	3.01	3.10	2.81
	標準偏差	0.19	0.26	0.25	0.24	0.23	0.25	0.23	0.46	0.31	0.69	0.44
II-1	平均値	3.40	3.60	3.80	3.84	3.45	3.60	3.53	3.73	3.51	4.17	3.70
	標準偏差	0.41	0.49	0.44	0.29	0.43	0.26	0.24	0.35	0.40	0.71	0.51
II-4	平均値	3.17	3.29	3.39	3.63	3.04	3.22	3.20	3.52	3.12	3.87	3.39
	標準偏差	0.50	0.65	0.48	0.25	0.51	0.48	0.27	0.40	0.59	0.77	0.58
II-5	平均値	3.40	3.56	3.75	3.96	3.45	3.57	3.47	3.46	3.46	3.92	3.62
	標準偏差	0.68	0.49	0.45	0.20	0.52	0.61	0.16	0.76	0.60	0.86	0.62
II-6	平均値	3.49	3.55	3.70	3.91	3.57	3.66	3.60	3.93	3.39	4.08	3.71
	標準偏差	0.37	0.48	0.29	0.23	0.33	0.27	0.20	0.34	0.39	0.65	0.46
II-7	平均値	3.40	3.64	3.64	3.77	3.40	3.45	3.64	3.87	3.33	4.06	3.65
	標準偏差	0.51	0.42	0.35	0.16	0.57	0.40	0.28	0.33	0.35	0.81	0.53
II-8	平均値	3.40	3.39	3.63	3.84	3.46	3.39	3.47	3.69	3.43	4.06	3.62
	標準偏差	0.51	0.40	0.45	0.17	0.52	0.46	0.29	0.57	0.56	0.87	0.59
II-9	平均値	3.10	3.11	3.34	3.26	2.89	3.09	3.05	3.47	3.16	3.80	3.28
	標準偏差	0.50	0.63	0.44	0.32	0.37	0.37	0.30	0.47	0.58	0.84	0.59
II-10	平均値	3.19	3.13	3.38	3.37	2.96	3.13	3.12	3.53	3.29	3.93	3.37
	標準偏差	0.43	0.53	0.37	0.23	0.39	0.32	0.32	0.39	0.50	0.77	0.55
II-11	平均値	3.05	3.11	3.36	3.40	2.93	3.12	3.05	3.56	3.21	3.87	3.33
	標準偏差	0.33	0.57	0.33	0.26	0.39	0.34	0.32	0.35	0.48	0.83	0.56
III	平均値	3.25	3.31	3.47	3.58	3.08	3.25	3.27	3.67	3.25	4.04	3.48
	標準偏差	0.46	0.67	0.44	0.29	0.49	0.32	0.30	0.43	0.52	0.87	0.61

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.59	3.73	3.85	3.75	3.92	3.97	3.70	3.51	3.73	3.60	3.71
	標準偏差	0.31	0.36	0.34	0.30	0.21	0.22	0.21	0.21	0.36	0.32	0.31
II-3	平均値	3.35	3.43	3.49	3.31	3.50	3.52	3.29	3.30	3.55	3.29	3.39
	標準偏差	0.25	0.21	0.20	0.23	0.16	0.20	0.15	0.13	0.26	0.27	0.23

※1-4「受講動機」回答の分布(複数回答可)

単位：%

学 科	機 械		情エレ(電子システム)		情 報			デザイン	基礎教育系列		全 体
回答/科目	1・2年次選択	3・4年次選択	コア	応用	講義	コア	選択	講義	必修	選択	
1. 講義への興味	13.7	15.7	4.0	5.9	11.0	10.1	13.4	11.0	7.1	10.7	10.4
2. 教員にひかれて	3.3	2.6	2.4	0.8	1.2	1.4	1.7	2.7	2.5	2.4	2.2
3. 単位が必要	62.2	53.9	63.5	58.2	70.7	73.0	62.3	53.3	68.2	65.2	62.1
4. 単位取得が楽	8.8	15.4	14.9	15.4	6.3	8.1	8.9	11.0	7.4	7.8	10.4
5. 時間帯が空いている	12.0	12.5	15.2	19.7	10.8	7.4	13.7	22.1	14.8	13.9	14.9
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

5. 国際学部科目

(1) 英語群 (配当学年、回答者の学年で分類)

区 分	回答者学年	1年配当 (1年)	1年配当 (2～4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
設 問	科 目 数	42	20	36	15	1	79
I-1	平 均 値	4.65	4.26	4.46	4.18	4.50	4.55
	標 準 偏 差	0.14	0.71	0.23	0.83		0.21
I-2	平 均 値	3.96	3.92	3.92	3.89	3.71	3.95
	標 準 偏 差	0.38	0.81	0.35	0.86		0.36
I-3	平 均 値	3.34	3.43	3.62	4.05	3.43	3.48
	標 準 偏 差	0.38	0.90	0.38	0.76		0.39
II-1	平 均 値	4.03	4.08	3.96	4.27	4.00	4.01
	標 準 偏 差	0.30	0.81	0.40	0.86		0.34
II-4	平 均 値	3.73	4.02	3.80	3.80	3.93	3.78
	標 準 偏 差	0.39	0.87	0.41	0.72		0.38
II-5	平 均 値	3.98	4.22	4.05	4.26	4.29	4.03
	標 準 偏 差	0.36	0.84	0.39	0.63		0.37
II-6	平 均 値	3.92	4.04	3.98	3.98	4.07	3.96
	標 準 偏 差	0.35	0.97	0.31	0.73		0.33
II-7	平 均 値	3.88	3.92	4.01	3.99	4.00	3.95
	標 準 偏 差	0.32	0.94	0.33	0.88		0.32
II-8	平 均 値	4.10	3.96	4.11	4.25	4.14	4.11
	標 準 偏 差	0.35	1.04	0.35	0.69		0.35
II-9	平 均 値	3.82	4.04	3.91	4.11	3.79	3.88
	標 準 偏 差	0.33	0.84	0.37	0.60		0.34
II-10	平 均 値	3.83	3.96	3.88	4.18	3.93	3.86
	標 準 偏 差	0.29	0.76	0.32	0.62		0.30
II-11	平 均 値	3.71	3.81	3.78	4.07	3.71	3.76
	標 準 偏 差	0.29	0.80	0.37	0.69		0.32
III	平 均 値	3.90	4.11	3.97	4.16	4.14	3.94
	標 準 偏 差	0.33	0.87	0.37	0.69		0.34

※3の回答が適切である項目

II-2	平 均 値	3.47	3.08	3.45	3.22	3.36	3.46
	標 準 偏 差	0.27	0.60	0.30	1.00		0.27
II-3	平 均 値	3.28	2.97	3.32	3.11	3.00	3.29
	標 準 偏 差	0.21	0.55	0.22	0.50		0.21

※1-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回 答 / 学 科	1年配当 (1年)	1年配当 (2～4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
1. 講義への興味	3.1	2.9	0.7	0.0	14.3	2.2
2. 教員にひかれて	1.6	0.0	1.1	0.0	0.0	1.3
3. 単位が必要	54.4	38.2	67.8	63.2	7.1	59.0
4. 単位取得が楽	10.8	11.8	17.5	26.3	0.0	13.7
5. 時間帯が空いている	30.1	47.1	12.9	10.5	78.6	23.8
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 地域言語群 (配当学年、回答者の学年で分類)

区 分	回答者の学年	1年配当 (1年)	1年配当 (2~4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
設 問	科目数	26	11	24	7	9	59
I-1	平均値	4.66	3.79	4.30	3.71	4.47	4.46
	標準偏差	0.22	0.89	0.36	0.95	0.42	0.36
I-2	平均値	4.43	4.24	4.27	3.64	4.57	4.38
	標準偏差	0.25	0.99	0.42	0.63	0.34	0.35
I-3	平均値	3.45	3.48	3.46	3.50	3.76	3.50
	標準偏差	0.50	1.03	0.51	0.50	0.66	0.52
II-1	平均値	4.21	4.44	4.21	3.21	4.54	4.26
	標準偏差	0.21	0.67	0.39	0.70	0.28	0.32
II-4	平均値	3.99	4.13	4.06	3.50	4.27	4.06
	標準偏差	0.39	0.60	0.44	0.96	0.44	0.41
II-5	平均値	4.10	4.20	4.20	3.50	4.40	4.19
	標準偏差	0.44	0.73	0.46	0.87	0.48	0.45
II-6	平均値	4.13	4.31	4.05	3.86	4.37	4.13
	標準偏差	0.42	0.71	0.51	0.69	0.43	0.46
II-7	平均値	4.05	4.16	4.05	4.14	4.43	4.11
	標準偏差	0.47	0.81	0.45	0.38	0.39	0.46
II-8	平均値	4.16	4.21	4.13	3.71	4.56	4.20
	標準偏差	0.47	0.78	0.46	0.95	0.42	0.46
II-9	平均値	4.00	4.12	4.03	3.86	4.35	4.06
	標準偏差	0.37	0.68	0.42	0.69	0.47	0.41
II-10	平均値	3.93	4.28	4.04	3.57	4.48	4.06
	標準偏差	0.42	0.75	0.44	0.61	0.40	0.45
II-11	平均値	3.85	3.51	4.00	3.86	4.43	3.99
	標準偏差	0.40	1.47	0.52	0.38	0.52	0.50
III	平均値	4.16	4.12	4.17	3.71	4.70	4.24
	標準偏差	0.32	0.74	0.47	0.70	0.31	0.42

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.48	3.09	3.39	3.50	3.29	3.41
	標準偏差	0.28	0.49	0.31	0.87	0.24	0.29
II-3	平均値	3.25	3.13	3.18	3.43	3.03	3.19
	標準偏差	0.20	0.70	0.18	0.53	0.07	0.20

※1-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回 答 / 学 科	1年配当 (1年)	1年配当 (2~4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
1. 講義への興味	1.1	0.0	1.1	0.0	1.9	1.1
2. 教員にひかれて	1.5	0.0	1.7	0.0	0.0	1.3
3. 単位が必要	38.4	26.3	55.9	57.1	9.3	41.1
4. 単位取得が楽	17.5	15.8	15.8	14.3	29.6	18.1
5. 時間帯が空いている	41.4	57.9	25.4	28.6	59.3	38.3
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(3) 基礎科目群 (回答者の学年で分類)

区 分	回答者の学年	1年	2年	3・4年	全 体
設 問	科目数	29	14	12	30
I-1	平均値	4.70	4.13	4.41	4.66
	標準偏差	0.18	0.67	0.34	0.18
I-2	平均値	3.93	4.07	4.09	3.92
	標準偏差	0.53	0.82	0.71	0.56
I-3	平均値	3.08	3.59	3.05	3.10
	標準偏差	0.46	1.01	0.59	0.43
II-1	平均値	4.13	4.03	4.14	4.12
	標準偏差	0.36	1.01	0.56	0.36
II-4	平均値	3.83	3.99	4.01	3.84
	標準偏差	0.50	0.89	0.62	0.49
II-5	平均値	4.01	4.08	4.29	4.04
	標準偏差	0.49	0.83	0.58	0.47
II-6	平均値	4.04	4.08	4.28	4.04
	標準偏差	0.46	0.94	0.54	0.45
II-7	平均値	4.04	4.11	4.30	4.05
	標準偏差	0.47	0.83	0.44	0.45
II-8	平均値	4.06	3.90	3.89	4.04
	標準偏差	0.45	0.92	0.76	0.42
II-9	平均値	3.83	4.05	3.90	3.84
	標準偏差	0.48	0.86	0.47	0.47
II-10	平均値	3.91	3.92	3.96	3.92
	標準偏差	0.42	1.35	0.45	0.42
II-11	平均値	3.79	3.85	3.84	3.79
	標準偏差	0.45	1.06	0.51	0.44
III	平均値	3.95	4.08	4.01	3.96
	標準偏差	0.51	0.91	0.56	0.51

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.50	3.55	3.53	3.51
	標準偏差	0.37	0.72	0.45	0.33
II-3	平均値	3.38	3.60	3.31	3.39
	標準偏差	0.34	0.60	0.30	0.33

※1-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回 答 / 学 科	1年	2年	3・4年	全 体
1. 講義への興味	6.1	11.8	9.0	6.8
2. 教員にひかれて	3.0	5.9	3.4	3.2
3. 単位が必要	52.5	26.5	39.3	49.2
4. 単位取得が楽	10.1	11.8	9.0	10.1
5. 時間帯が空いている	28.2	44.1	39.3	30.7
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0

(4) 専門共通科目 (回答者の所属で分類)

区分	科目区分	専門(1年)	専門(2年)	専門(3・4年)	全体
設問	科目数	14	22	21	24
I-1	平均値	4.65	4.29	4.24	4.44
	標準偏差	0.17	0.57	0.45	0.36
I-2	平均値	3.79	3.82	4.02	3.90
	標準偏差	0.50	0.70	0.72	0.54
I-3	平均値	2.77	2.90	3.12	2.90
	標準偏差	0.36	0.67	0.77	0.41
II-1	平均値	3.65	3.77	4.04	3.85
	標準偏差	0.51	0.72	0.61	0.49
II-4	平均値	3.35	3.50	3.69	3.50
	標準偏差	0.60	0.66	0.69	0.53
II-5	平均値	3.53	3.77	3.96	3.75
	標準偏差	0.63	0.64	0.63	0.54
II-6	平均値	3.67	3.70	3.83	3.78
	標準偏差	0.45	0.67	0.46	0.40
II-7	平均値	3.58	3.69	3.75	3.72
	標準偏差	0.47	0.63	0.63	0.47
II-8	平均値	3.76	3.93	4.13	4.00
	標準偏差	0.36	0.57	0.54	0.41
II-9	平均値	3.39	3.60	3.64	3.53
	標準偏差	0.62	0.73	0.59	0.53
II-10	平均値	3.46	3.61	3.65	3.57
	標準偏差	0.56	0.56	0.53	0.47
II-11	平均値	3.52	3.61	3.64	3.59
	標準偏差	0.57	0.54	0.50	0.46
III	平均値	3.50	3.74	3.56	3.67
	標準偏差	0.64	0.63	0.98	0.53

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.67	3.59	3.74	3.65
	標準偏差	0.34	0.40	0.47	0.34
II-3	平均値	3.40	3.39	3.42	3.36
	標準偏差	0.28	0.35	0.43	0.25

※1-4「受講動機」回答の分布(複数回答可)

単位：%

回答 / 科目区分	専門(1年)	専門(2年)	専門(3・4年)	全体
1. 講義への興味	15.0	15.4	11.6	14.0
2. 教員にひかれて	1.6	3.5	3.1	2.4
3. 単位が必要	46.5	34.4	47.2	44.8
4. 単位取得が楽	10.1	12.3	15.1	12.0
5. 時間帯が空いている	26.8	34.4	22.9	26.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

(5) 専門コース科目（回答者の所属で分類）

区 分	科目区分	国際協力		国際経済		国際政治		国際文化		国際観光		農業総合		専門コース科目	
	科目数	6		9		10		15		5		2		47	
設 問	学生所属	全体	主専攻	全体	主専攻	全体	主専攻	全体	主専攻	全体	主専攻	全体	主専攻	全体	主専攻
I-1	平均値	4.38	4.39	4.39	4.43	4.32	4.33	4.27	4.15	4.41	4.66	4.51	4.75	4.34	4.28
	標準偏差	0.19	0.25	0.23	0.23	0.16	0.22	0.13	0.47	0.16	0.01	0.05	0.00	0.17	0.38
I-2	平均値	3.87	4.20	3.95	3.89	3.79	3.98	3.74	3.57	4.71	4.88	4.47	5.00	3.94	3.86
	標準偏差	0.24	0.48	0.42	0.41	0.32	0.36	0.37	0.56	0.24	0.17	0.49	0.00	0.45	0.48
I-3	平均値	3.27	3.87	3.10	2.85	3.07	3.21	3.07	2.95	3.30	4.04	3.25	4.25	3.13	3.24
	標準偏差	0.51	0.70	0.46	0.49	0.30	0.41	0.31	0.55	0.51	1.36	0.17	0.35	0.38	0.48
II-1	平均値	3.97	4.30	3.97	3.70	4.08	4.22	3.99	3.88	4.44	4.60	4.73	4.75	4.08	4.02
	標準偏差	0.25	0.46	0.50	0.45	0.38	0.35	0.36	0.48	0.35	0.57	0.01	0.00	0.41	0.49
II-4	平均値	3.64	3.86	3.71	3.44	3.94	4.08	3.78	3.66	4.23	4.28	4.73	4.88	3.87	3.85
	標準偏差	0.13	0.10	0.48	0.35	0.40	0.55	0.46	0.51	0.36	0.54	0.12	0.18	0.46	0.46
II-5	平均値	3.99	4.28	3.94	3.70	4.04	4.15	4.01	4.02	4.32	4.36	4.83	4.88	4.07	4.02
	標準偏差	0.18	0.44	0.59	0.66	0.54	0.63	0.44	0.65	0.43	0.44	0.11	0.18	0.48	0.50
II-6	平均値	4.03	4.30	4.05	3.76	4.07	4.15	4.10	4.08	4.10	4.06	4.72	4.75	4.10	4.04
	標準偏差	0.19	0.44	0.37	0.36	0.41	0.51	0.36	0.60	0.37	0.39	0.00	0.35	0.36	0.45
II-7	平均値	3.94	4.28	3.95	3.62	4.05	4.04	4.07	4.11	4.22	4.03	4.57	4.88	4.06	3.98
	標準偏差	0.20	0.48	0.49	0.44	0.45	0.62	0.39	0.63	0.27	0.43	0.16	0.18	0.39	0.47
II-8	平均値	3.98	4.20	4.13	4.04	4.07	4.22	4.08	4.06	4.54	4.57	4.75	4.63	4.15	4.07
	標準偏差	0.31	0.57	0.35	0.20	0.32	0.32	0.43	0.61	0.34	0.60	0.22	0.53	0.40	0.46
II-9	平均値	3.60	3.86	3.67	3.45	3.86	4.01	3.88	3.86	4.22	4.48	4.61	4.88	3.87	3.85
	標準偏差	0.17	0.12	0.48	0.39	0.33	0.43	0.46	0.60	0.44	0.74	0.03	0.18	0.45	0.47
II-10	平均値	3.79	4.18	3.73	3.45	3.85	4.11	3.87	3.79	4.16	4.51	4.72	4.88	3.90	3.82
	標準偏差	0.19	0.49	0.51	0.40	0.30	0.31	0.41	0.45	0.39	0.69	0.00	0.18	0.42	0.48
II-11	平均値	3.82	4.16	3.75	3.49	3.90	4.15	3.90	3.82	4.10	4.40	4.80	4.88	3.92	3.90
	標準偏差	0.17	0.49	0.47	0.36	0.34	0.35	0.39	0.52	0.40	0.85	0.16	0.18	0.41	0.44
III	平均値	3.81	4.15	3.81	3.52	4.03	4.32	3.95	3.87	4.28	4.52	4.42	5.00	3.98	3.95
	標準偏差	0.20	0.53	0.50	0.34	0.39	0.39	0.40	0.50	0.45	0.67	0.59	0.00	0.42	0.46

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.72	3.85	3.56	3.60	3.38	3.30	3.37	3.28	3.33	3.27	3.10	3.00	3.44	3.44
	標準偏差	0.42	0.56	0.24	0.26	0.17	0.21	0.23	0.24	0.20	0.38	0.01	0.35	0.28	0.35
II-3	平均値	3.27	3.40	3.21	3.19	3.23	3.14	3.21	3.13	3.19	3.16	3.07	3.00	3.21	3.27
	標準偏差	0.12	0.41	0.17	0.25	0.11	0.11	0.13	0.15	0.14	0.22	0.10	0.00	0.13	0.28

単位：%

回 答 / 科目区分	国際協力	国際経済	国際政治	国際文化	国際観光	農業総合	専門コース科目							
1. 講義への興味	6.9	0.0	10.3	11.9	10.4	4.4	11.6	13.8	8.5	3.6	8.5	3.6	10.2	9.2
2. 教員にひかれて	1.9	3.1	2.2	2.8	1.8	0.0	2.5	2.5	0.6	0.0	0.6	0.0	2.0	1.9
3. 単位が必要	36.5	29.7	39.3	49.5	28.9	27.2	33.0	38.9	28.5	46.4	28.5	46.4	32.6	37.5
4. 単位取得が楽	20.6	20.3	15.5	6.4	24.9	30.7	18.3	13.0	19.4	17.9	19.4	17.9	20.1	16.6
5. 時間帯が空いている	34.1	46.9	32.6	29.4	34.0	37.7	34.6	31.8	43.0	32.1	43.0	32.1	35.1	34.7
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

6. 教養教育科目

(1) 講義科目 (群別)

項目	群	第1群	第2群	第3群	第4群	第5群	第6群	第7群	第8群	第9群	第10群	第12群	全体
	科目数	10	6	7	13	6	5	12	5	1	17	22	104
I-1	平均値	4.36	4.38	4.50	4.42	4.34	4.52	4.41	4.52	4.66	4.65	4.64	4.51
	標準偏差	0.26	0.24	0.17	0.19	0.39	0.10	0.22	0.23	0.69	0.16	0.31	0.26
I-2	平均値	3.96	3.56	3.31	4.18	3.95	3.58	4.02	3.20	3.15	3.51	3.14	3.62
	標準偏差	0.66	0.69	0.33	0.51	0.28	0.50	0.46	0.72	1.20	0.66	0.71	0.68
I-3	平均値	2.61	2.48	2.21	2.65	2.68	2.44	2.50	2.56	2.34	2.59	2.63	2.56
	標準偏差	0.39	0.27	0.22	0.35	0.14	0.16	0.22	0.40	1.15	0.35	0.39	0.33
II-1	平均値	4.06	3.76	3.72	3.95	3.76	3.74	3.60	3.93	3.39	4.28	4.15	3.96
	標準偏差	0.32	0.19	0.20	0.63	0.33	0.29	0.24	0.66	1.09	0.46	0.29	0.44
II-4	平均値	3.91	3.65	3.60	3.76	3.53	3.56	3.31	3.71	4.02	4.25	3.84	3.77
	標準偏差	0.29	0.21	0.29	0.68	0.44	0.48	0.28	0.72	0.78	0.38	0.35	0.49
II-5	平均値	4.13	3.86	3.61	3.92	3.76	3.69	3.59	3.85	3.44	4.43	4.06	3.96
	標準偏差	0.25	0.37	0.46	0.80	0.56	0.85	0.39	0.63	0.63	0.48	0.33	0.56
II-6	平均値	3.93	3.65	4.02	3.86	3.62	3.89	3.87	4.02	3.24	4.03	4.07	3.93
	標準偏差	0.39	0.69	0.32	0.58	0.35	0.34	0.24	0.56	1.07	0.26	0.23	0.39
II-7	平均値	3.96	3.54	3.85	3.77	3.52	3.67	3.64	3.95	3.20	4.04	4.14	3.87
	標準偏差	0.36	0.70	0.22	0.55	0.40	0.51	0.33	0.59	0.98	0.30	0.26	0.44
II-8	平均値	4.15	3.85	3.55	4.23	3.78	3.73	3.85	3.94	3.63	4.28	4.15	4.03
	標準偏差	0.40	0.35	0.65	0.49	0.30	0.21	0.47	0.75	1.24	0.40	0.37	0.48
II-9	平均値	3.76	3.62	3.47	3.62	3.47	3.50	3.19	3.44	3.51	4.21	4.00	3.72
	標準偏差	0.33	0.21	0.17	0.56	0.23	0.35	0.32	0.71	1.21	0.30	0.26	0.48
II-10	平均値	3.78	3.70	3.58	3.70	3.51	3.53	3.26	3.61	3.83	4.15	4.08	3.77
	標準偏差	0.34	0.27	0.23	0.53	0.24	0.33	0.27	0.58	1.02	0.33	0.24	0.44
II-11	平均値	3.86	3.73	3.49	3.71	3.50	3.64	3.31	3.61	2.95	4.16	3.68	3.71
	標準偏差	0.28	0.31	0.17	0.50	0.21	0.35	0.31	0.68	0.95	0.32	0.29	0.42
III	平均値	4.01	3.86	3.66	3.94	3.65	3.73	3.42	3.79	3.17	4.36	4.01	3.91
	標準偏差	0.34	0.29	0.24	0.66	0.25	0.46	0.24	0.72	0.89	0.32	0.31	0.47

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.46	3.45	3.27	3.41	3.48	3.43	3.78	3.64	3.32	3.26	3.32	3.43
	標準偏差	0.29	0.25	0.14	0.21	0.13	0.22	0.15	0.27	0.99	0.21	0.24	0.27
II-3	平均値	3.19	3.21	3.20	3.22	3.27	3.14	3.38	3.22	3.32	3.10	3.29	3.23
	標準偏差	0.17	0.05	0.13	0.27	0.13	0.06	0.22	0.17	0.96	0.11	0.30	0.22

※1-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回答 / 群	第1群	第2群	第3群	第4群	第5群	第6群	第7群	第8群	第9群	第10群	第12群	全体
1. 講義への興味	18.2	18.5	24.1	23.9	17.6	23.5	21.8	19.6	28.8	14.3	1.2	19.8
2. 教員にひかれて	3.0	3.5	6.0	2.0	2.7	5.5	3.1	4.4	5.8	4.5	1.6	3.9
3. 単位が必要	29.0	29.7	29.5	30.4	29.9	29.0	38.9	39.9	28.8	28.9	71.7	32.9
4. 単位取得が楽	6.2	8.5	5.5	7.3	7.8	7.1	5.2	7.1	1.9	12.1	8.5	7.4
5. 時間帯が空いている	43.6	39.8	34.9	36.4	42.0	34.9	31.0	29.0	34.6	40.1	17.0	36.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 外国語科目 (商・政経・外国語学部、12カ国語)

項目	外国語	英語	A語	B・P語	C語	F語	G語	K語	I・M語	I・P語	R語	S語	日本語	全体
	科目数	140	2	3	24	13	19	15	11		4	16	29	276
I-1	平均値	4.55	3.98	4.50	4.57	4.68	4.49	4.48	4.73		4.81	4.49	4.65	4.56
	標準偏差	0.27	0.16	0.05	0.26	0.19	0.37	0.24	0.37		0.07	0.31	0.28	0.28
I-2	平均値	3.98	4.10	4.20	4.27	4.40	4.20	4.35	4.36		4.58	4.15	4.35	4.14
	標準偏差	0.44	0.01	0.13	0.41	0.30	0.35	0.31	0.51		0.30	0.29	0.32	0.43
I-3	平均値	3.16	2.47	3.06	3.37	3.29	3.36	3.50	3.54		3.12	3.20	3.72	3.29
	標準偏差	0.51	0.40	0.33	0.43	0.50	0.44	0.43	0.73		0.23	0.48	0.46	0.52
II-1	平均値	4.00	3.83	3.84	4.14	4.22	3.99	4.38	4.29		4.36	3.92	4.33	4.09
	標準偏差	0.50	0.21	0.59	0.35	0.45	0.44	0.33	0.61		0.37	0.37	0.34	0.47
II-4	平均値	3.83	3.72	3.71	3.90	3.96	3.77	4.26	4.09		3.87	3.64	4.31	3.91
	標準偏差	0.54	0.05	1.08	0.39	0.45	0.50	0.34	0.66		0.86	0.54	0.42	0.54
II-5	平均値	4.11	3.94	4.01	4.08	4.15	3.99	4.45	4.28		4.14	3.82	4.41	4.14
	標準偏差	0.50	0.56	0.65	0.41	0.43	0.58	0.24	0.48		0.77	0.61	0.43	0.51
II-6	平均値	3.93	3.39	3.39	3.93	4.07	3.88	4.23	4.11		3.89	3.81	4.19	3.97
	標準偏差	0.45	0.03	0.69	0.31	0.35	0.34	0.33	0.42		0.42	0.37	0.44	0.43
II-7	平均値	3.97	3.54	3.50	3.92	3.96	3.88	4.22	3.88		3.87	3.82	4.24	3.98
	標準偏差	0.45	0.18	0.87	0.37	0.28	0.34	0.30	0.54		0.59	0.44	0.49	0.45
II-8	平均値	4.13	3.74	3.93	4.13	4.19	4.06	4.27	4.39		4.59	4.06	4.33	4.17
	標準偏差	0.50	0.28	0.56	0.35	0.40	0.37	0.39	0.53		0.42	0.33	0.45	0.46
II-9	平均値	3.88	3.64	3.33	3.86	3.91	3.62	4.07	4.13		4.01	3.58	4.33	3.91
	標準偏差	0.50	0.20	0.78	0.35	0.45	0.42	0.33	0.59		0.31	0.47	0.40	0.50
II-10	平均値	3.80	3.62	3.51	3.88	4.01	3.69	4.18	4.22		4.08	3.54	4.22	3.88
	標準偏差	0.48	0.30	0.70	0.31	0.35	0.39	0.33	0.57		0.23	0.38	0.39	0.47
II-11	平均値	3.66	3.65	3.49	3.78	3.81	3.56	4.03	3.73		3.91	3.34	4.15	3.73
	標準偏差	0.52	0.22	0.85	0.40	0.45	0.42	0.38	0.47		0.11	0.44	0.40	0.51
III	平均値	3.93	3.98	3.49	3.99	4.13	3.81	4.30	4.39		4.34	3.61	4.33	4.00
	標準偏差	0.57	0.03	1.17	0.36	0.44	0.50	0.35	0.42		0.20	0.55	0.43	0.54

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.29	3.58	3.71	3.55	3.47	3.65	3.41	3.31		3.65	3.63	3.27	3.39
	標準偏差	0.33	0.39	0.78	0.28	0.25	0.26	0.25	0.26		0.53	0.30	0.30	0.34
II-3	平均値	3.14	3.16	3.03	3.24	3.17	3.32	3.20	3.16		3.17	3.35	3.14	3.18
	標準偏差	0.23	0.10	0.21	0.29	0.16	0.21	0.25	0.12		0.26	0.26	0.30	0.25

※1-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回答 / 外国語	英語	A語	B・P語	C語	F語	G語	K語	I・M語	I・P語	R語	S語	日本語	全体
1. 講義への興味	4.4	0.0	0.0	2.2	5.4	3.1	1.0	0.0		3.7	5.6	3.7	3.7
2. 教員にひかれて	1.7	16.3	0.0	2.5	2.7	0.9	1.0	7.8		3.7	0.6	6.4	2.5
3. 単位が必要	64.8	55.1	56.3	58.5	44.9	58.8	50.3	27.5		37.0	55.6	40.6	57.3
4. 単位取得が楽	10.1	10.2	0.0	11.1	3.2	5.0	5.5	11.8		3.7	12.2	18.6	10.2
5. 時間帯が空いている	19.0	18.4	43.8	25.7	43.8	32.1	42.2	52.9		51.9	26.1	30.8	26.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0

注1. A語：アラビア語、B・P語：ブラジル・ポルトガル語、C語：中国語、F語：フランス語、
G語：ドイツ語、K語：韓国語、I・M語：インドネシア・マレーシア語、
I・P語：インド・パキスタン語 (実施科目なし)、R語：ロシア語、S語：スペイン語

注2. 国際学部の地域言語は、47ページを参照

(3) スポーツ・トレーニング科目

設 問	科 目 数	26
I-1	平均値	4.58
	標準偏差	0.32
I-2	平均値	4.15
	標準偏差	0.29
I-3	平均値	4.30
	標準偏差	0.28
II-1	平均値	4.25
	標準偏差	0.25
II-4	平均値	4.11
	標準偏差	0.32
II-5	平均値	4.38
	標準偏差	0.32
II-6	平均値	4.32
	標準偏差	0.32
II-7	平均値	4.36
	標準偏差	0.27
II-8	平均値	4.37
	標準偏差	0.27
II-9	平均値	4.37
	標準偏差	0.26
II-10	平均値	4.26
	標準偏差	0.24
II-11	平均値	4.36
	標準偏差	0.27
III	平均値	4.39
	標準偏差	0.27
IV-1	平均値	4.15
	標準偏差	0.38
IV-2	平均値	3.93
	標準偏差	0.60
IV-3	平均値	3.56
	標準偏差	0.45

※3の回答が適切である項目

設 問	科 目 数	26
II-2	平均値	3.17
	標準偏差	0.21
II-3	平均値	3.06
	標準偏差	0.16

※1-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

回 答	全 体
1. 講義への興味	5.1
2. 教員にひかれて	2.3
3. 単位が必要	54.9
4. 単位取得が楽	6.8
5. 時間帯が空いている	30.8
合 計	100.0

(4) 教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目

区分	課程・講座	教 職	社 教	日 語	全 体
設 問	科目数	30		3	33
I-1	平均値	4.47		4.48	4.47
	標準偏差	0.27		0.09	0.26
I-2	平均値	4.20		3.78	4.16
	標準偏差	0.43		0.36	0.44
I-3	平均値	2.92		2.29	2.86
	標準偏差	0.39		0.19	0.42
II-1	平均値	4.04		4.11	4.04
	標準偏差	0.34		0.34	0.33
II-4	平均値	3.93		4.10	3.94
	標準偏差	0.38		0.10	0.37
II-5	平均値	4.11		4.35	4.13
	標準偏差	0.41		0.12	0.40
II-6	平均値	3.97		4.06	3.98
	標準偏差	0.36		0.35	0.36
II-7	平均値	3.92		3.95	3.92
	標準偏差	0.39		0.35	0.38
II-8	平均値	4.19		3.66	4.14
	標準偏差	0.37		0.52	0.40
II-9	平均値	3.82		3.82	3.82
	標準偏差	0.35		0.11	0.33
II-10	平均値	3.88		3.96	3.89
	標準偏差	0.30		0.21	0.29
II-11	平均値	3.87		4.07	3.89
	標準偏差	0.29		0.13	0.29
III	平均値	3.99		3.94	3.99
	標準偏差	0.42		0.12	0.40

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.37		3.37	3.37
	標準偏差	0.24		0.11	0.23
II-3	平均値	3.20		3.05	3.19
	標準偏差	0.19		0.13	0.19

※1-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回 答 / 課程・講座	教 職	社 教	日 語	全 体
1. 講義への興味	3.8		9.8	4.1
2. 教員にひかれて	0.9		0.0	0.8
3. 単位が必要	70.7		23.0	68.3
4. 単位取得が楽	11.5		9.8	11.4
5. 時間帯が空いている	13.0		57.4	15.3
合 計	100.0	0.0	100.0	100.0

V 評価及び課題

1. 商学部

(1) アンケート実施状況

平成 23 年度に「授業改善のための学生アンケート」を実施した商学部の教員数は、専任教員 51 名、講師（非常勤）123 名であり、実施率はどちらも 100%である。専任教員に関しては平成 12 年度から今年度まで実施率は 100%であり、講師に関しては、ここ 5 年間は 100%である。これらの数字から判断する限り、専任教員、講師（非常勤）とも「授業改善のための学生アンケート」の実施の必要性に関して、理解が得られているようである。

平成 23 年度の実施科目数は専任教員 110 科目、講師（非常勤）220 科目であり、1 年生から 4 年生まで延べ 11,585 名（昨年 10,755 名）が回答している。1 年生は 4,026 名（昨年 3,476 名）、2 年生は 3,035 名（昨年 3,783 名）、3 年生は 3,189 名（昨年 2,671 名）、4 年生は 1,313 名（昨年 808 名）と、昨年に比べて全体的に回答者数は増加している。

アンケートはその実施が目的ではない。アンケートの結果が教員に適性にフィードバックされて、授業改善が行われることが目的である。この観点から、集計結果を分析し、今後取り組むべき課題とその解決策を指摘する。

(2) 集計結果

(A) アンケート設問項目別の点検・評価

「学生の出席状況」（設問項目 I-1）について、平成 23 年度の平均値は 4.50（5 点満点）（昨年 4.49）であった。専任教員の科目が 4.52（昨年 4.50）、講師（非常勤）の科目は 4.53（昨年 4.51）であった。平均値と標準偏差に関して専任教員と講師の差はみられない。平均値はここ数年微増傾向にあり、「まじめに授業に出席する学生が増えている」という教員の感想とも合致している。

「ノートやメモをきちんととっているか」（設問項目 I-2）の平均値は、全体で 4.00（昨年 3.99）、専任教員の科目は 4.04（昨年 4.01）、講師（非常勤）の科目 4.01（昨年 3.95）といずれも昨年に比べて微増傾向にある。1 年生向けの基礎ゼミ I においてノートの取り方などのスタディスキルを指導しているからであろうか。

「予習・復習を行っているか」（設問項目 I-3）の平均値は、全体で 2.86（昨年 2.72）、専任教員の科目は 2.94（昨年 2.85）、講師の科目 3.12（昨年 3.00）といずれも昨年に比べて微増傾向にはあるが、平均値自体は低い。学生は授業に出席するようになってはいるが、まだまだノート等をとらず（あるいはノートをうまくとれず）、予習等を通して教室以外で学習する機会は少ない（あるいは学習する気はない）といった傾向があるかもしれない。単位制の本来の目的を遂行するためにも、教員は予習・復習を必要とするような授業、例えば、次回講義の予告、小テストの実施やレポートの提出を求めるなどの工夫をする必要があるだろう。

「授業の狙いやポイントが明確か」（設問項目 II-1）の平均値は、全体で 3.95（昨年 4.01）、専任教員の科目は 3.97（昨年 3.98）、講師の科目 4.09（昨年 4.15）と、いずれも昨年に比べて低くなっている。また、やや専任教員の科目の数値が低い。平均値自体は低くないが、微減傾向にあることは注目すべきである。今後、シラバスにある授業の目的や達成目標を

「〇〇できる」「〇〇が身につく」などの表現で統一するなどすることで、授業の狙いが明確になるであろう。

「授業の難易度」（設問項目Ⅱ-2）の平均値は、全体で 3.56（昨年 3.55）、専任教員の科目は 3.56（昨年 3.55）、講師の科目 3.44（昨年 3.43）となっている。この質問は平均値が選択肢 3 に近づくほど「ちょうど良い」と判断されるため、学生はやや難易度が高いと感じる傾向にある。

「授業の進度」（設問項目Ⅱ-3）の平均値は、全体で 3.28（昨年 3.28）、専任教員の科目は 3.27（昨年 3.29）、講師の科目 3.23（昨年 3.24）となっている。この質問は平均値が選択肢 3 に近づくほど「ちょうど良い」と判断されるため、学生には比較的「ちょうど良い」と考えられているようである。

「説明はわかりやすいか」（設問項目Ⅱ-4）の平均値は、全体で 3.71（昨年 3.77）、専任教員の科目は 3.75（昨年 3.76）、講師の科目 3.89（昨年 3.97）となっており、いずれも昨年に比べて低下しているため、注意が必要である。

「授業の内容は理解できたか」（設問項目Ⅱ-9）の平均値は、全体で 3.63（昨年 3.64）、専任教員の科目は 3.70（昨年 3.70）、講師の科目 3.85（昨年 3.88）となっており、決して高い値とも言えないため、設問項目Ⅱ-4（「説明はわかりやすいか」）と同様、わかりやすい授業を行うための工夫が必要である。

「知識や技術が身についたか」（設問項目Ⅱ-10）の平均値は、全体で 3.68（昨年 3.66）、専任教員の科目は 3.73（昨年 3.74）、講師（非常勤）の科目 3.88（昨年 3.86）となっている。講師（非常勤）の科目が昨年に比べて微増している一方で、専任教員の科目が微減傾向にある。また、平均値自体も決して高い値とも言えないため、知識や技術が実際に身についたかどうかを実感できるような工夫があっても良いかもしれない。

「満足度」（設問項目Ⅲ）の平均値は、全体で 3.80（昨年 3.88）、専任教員の科目は 3.85（昨年 3.89）、講師の科目 3.98（昨年 4.03）となっている。昨年に比べて低下傾向である。全国的な F D の研究学会等では、Ⅱ-10、Ⅱ-11、Ⅲの数値が 5 段階評価で 3.5 以上であることが望ましいと言われているようであるが、この基準に従えば、商学部専門科目は合格ラインを満たしているという結果にはなっている。同様に全国的な F D の研究学会で指摘されていることとして、学生の理解度や満足度、関心度は以下の 4 つの要因に依存するようである。

第 1 に、「話し方や声は聞きやすいか」（設問項目Ⅱ-5）である。平均値は全体で 3.98（昨年 4.05）、専任教員の科目は 4.01（昨年 4.05）、講師の科目 4.12（昨年 4.19）となっており、昨年に比べて低下傾向にある。第 2 に、「教材等は授業内容を理解するのに有効か」（設問項目Ⅱ-6）である。平均値は全体で 3.89（昨年 3.90）、専任教員の科目は 3.89（昨年 3.94）、講師の科目 3.99（昨年 4.03）となっており、昨年に比べて低下傾向にある。第 3 に、「板書等の文字等は見やすいか」（設問項目Ⅱ-7）である。平均値は全体で 3.82（昨年 3.83）、専任教員の科目は 3.83（昨年 3.80）、講師の科目 3.98（昨年 4.02）となっており、昨年に比べて低下傾向にある。第 4 に、（アンケート項目にはないが）『双方向型、学生参加型授業』を実践することである。

3 つ目の項目までが昨年に比べて低下傾向にあることは、満足度が昨年に比べて低下傾向にあることを説明できるだろう。逆に、これらの項目の平均値を上げるような取り組み

ができれば、満足度も上がるであろう。ただし、これらの項目は既に選択肢4に近いので、むしろ、まだ平均値の低い「説明はわかりやすいか」（設問項目Ⅱ-4）、「授業の内容は理解できたか」（設問項目Ⅱ-9）、「知識や技術が身についたか」（設問項目Ⅱ-10）の平均値を向上させることを優先すべきであろう。

（B）学科別の結果の点検

「満足度」は、経営 3.75（昨年 3.82）、国際ビジネス 3.80（昨年 3.85）、会計 3.83（昨年 3.86）と、昨年に比べていずれの学科も低下している。学生の理解度や満足度、関心度に影響を与えるとされている項目について見ると、「話し方や声は聞きやすいか」は、平成 20 年度には経営 3.99、国際ビジネス 3.96、会計 3.75 であったものが、平成 22 年度には、3.99、4.02、4.00 となり、平成 23 年度には 3.91、3.94、3.97 と、昨年度一度向上したにもかかわらず、今年度はいずれの学科においても低下している。

「教材等は授業内容を理解するのに有効化か」は、平成 20 年度には経営 3.85、国際ビジネス 3.83、会計 3.73 であったものが、平成 22 年度には、3.87、3.91、3.96 となり、平成 23 年度には 3.81、3.87、3.92 と、「話し方や声は聞きやすいか」の項目と同様に、昨年度に一度向上したにもかかわらず、今年度はいずれの学科においても低下している。これらの項目の低下が、全体の満足度に少なからず影響を与えているものと思われる。

「学生の出席状況」については、経営 4.53（昨年 4.50）、国際ビジネス 4.51（昨年 4.49）、会計 4.67（昨年 4.63）と、昨年に比べていずれの学科においても平均値が向上している。

「ノートやメモをとっているか」については、経営 4.05（昨年 3.97）、国際ビジネス 4.05（昨年 4.07）、会計 4.10（昨年 4.09）と、昨年に比べて国際ビジネスの平均値が低下している一方で、経営の平均値が向上している。「予習・復習」については、経営 2.81（昨年 2.74）、国際ビジネス 2.90（昨年 2.80）、会計 2.72（昨年 2.71）と、全体的に平均値は低いものの、昨年に比べていずれの学科においても平均値が向上している。特に経営と国際ビジネスと上昇が顕著である。「学生の出席状況」「ノートやメモをとっているか」「予習・復習」の項目の平均値が上昇傾向にあることは、基礎ゼミⅠの取り組みに寄るところが少なくないであろう。

「授業の狙いやポイントが明確か」については、経営 3.90（昨年 3.96）、国際ビジネス 3.95（昨年 3.95）、会計 3.99（昨年 4.05）と、国際ビジネスが昨年度と同じ水準を維持しているものの、経営と会計についてはいずれも 0.06 ポイント低下している。

「授業の難易度」については、経営 3.50（昨年 3.50）、国際ビジネス 3.51（昨年 3.53）、会計 3.49（昨年 3.49）と、いずれの学科においても昨年度と同水準であり、学科間の違いもほとんど見られない。平成 20 年度には、会計の値が選択肢 4 の「やや難しい」に近い値となっていたが、この状況を教員に伝えて自主的に授業改善した結果、3 つの学科の値の差がなくなっている。「授業の進度」については、経営 3.30（昨年 3.30）、国際ビジネス 3.27（昨年 3.32）、会計 3.26（昨年 3.26）と、経営と会計が昨年と同水準であるのに対して、国際ビジネス学科の値がやや上昇（進度が速い）している。

「説明はわかりやすいか」については、経営 3.65（昨年 3.72）、国際ビジネス 3.73（昨年 3.74）、会計 3.74（昨年 3.75）と、国際ビジネスと会計が昨年度と同水準であるのに対して、経営の値がやや低下している。「授業の内容は理解できたか」については、経営 3.59

(昨年 3.63)、国際ビジネス 3.67 (昨年 3.66)、会計 3.62 (昨年 3.67) と、国際ビジネスが昨年度と同水準であるのに対して、経営と会計の値がいずれも 0.04 ポイント低下している。「知識や技術が身についたか」については、経営 3.62 (昨年 3.64)、国際ビジネス 3.71 (昨年 3.68)、会計 3.67 (昨年 3.69) と、国際ビジネスが昨年度と比べて上昇しているにもかかわらず、経営と会計の値がいずれも 0.02 ポイント低下している。「ものの見方や考え方が深まったか」については、経営 3.56 (昨年 3.59)、国際ビジネス 3.68 (昨年 3.65)、会計 3.57 (昨年 3.56) と、国際ビジネスと会計が昨年度と比べて上昇、または同水準を維持しているのに対して、経営の値が低下している。

以上の、「説明はわかりやすいか」「授業の内容は理解できたか」「知識や技術が身についたか」「ものの見方や考え方が深まったか」といった講義内容の本質に関わる項目について共通して言えることは、経営学科の値が昨年と比べていずれの項目についても低下しているということである。経営学科は今年度、専門科目の一部前倒しという形で新カリキュラムがスタートしたこともあり、一概に前年度と比較をすることはできないが、この原因について詳細に探っていく必要があるだろう。また、会計学科についても、平成 20 年度に比べれば全体として改善が見られるものの、昨年度と比べて「授業の内容は理解できたか」「知識や技術が身についたか」の項目は低下しているため注意が必要である。

(3) 今後の課題

第 1 に、教員個人レベルでの F D 活動に関して、学生による評価結果に対する教員のコメントをさらに学生にフィードバックするためにも、学生による評価結果をわかりやすい形で全面公開することが望ましいと考えられる。また、今年度は前期中にアンケートを実施しているため、通年科目や、セメスター科目であっても前期と後期で履修学生がほぼ同じという科目の場合には、後期の講義中にアンケートの結果を学生達にフィードバックすることが可能である。さらに、教員が結果に対してはどのように考え、ひいては後期授業期間中に改善策を実行に移すことができるであろう。

第 2 に、組織レベルでの F D 活動に関して、学科・コース等の構成メンバーである教員が学生による評価結果を持ち寄り、お互いに情報を共有した上で、授業カリキュラムの再編成や履修モデルの作成等を進めていくべきである。平成 20 年度には、国際ビジネスで授業カリキュラムの改訂が行われ、会計においては履修モデルの改善・作成が行われた。平成 21 年度には国際ビジネスにおいて履修モデルが作成された。平成 22 年度には経営においても授業カリキュラムの改訂と履修モデルの作成が行われ、平成 23 年度より専門科目の一部前倒しという形で新カリキュラムでの授業がスタートした。

今年度は、大学の理念・目標を受けて商学部と各学科のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）を明確にし、各授業の到達目標との整合性を合理的・体系的に説明するカリキュラム・ポリシーを具体的にすべきである。具体的には、商学部と各学科のディプロマ・ポリシーと各授業の到達目標との関係性を合理的に表現したカリキュラム・マップを作成することになる。カリキュラム・マップはディプロマ・ポリシーと各授業の到達目標の整合性を明示するマトリックスである。これにより、どの授業でどのディプロマ・ポリシーを実現するかが一目瞭然となる。教員がカリキュラム・マップを作成することで、ディプロマ・ポリシーの達成度を具体的にどの授業で保証しているかを明確に説明できる。学生

の立場から見れば、何のためにその授業を履修するか、カテゴリ（学科・科目群・学年）ごとの目標を達成するとどのような能力を修得できるかを知ることができる。具体的には、各授業の目的や到達目標をシラバスに明記し、講義の中でも学生達にきちんと説明することが必要であろう。

学科やコースごとの意見集約も必要であるが、学部共通の問題に取り組むためには、学部横断的な意見共有の場、とりわけ、各教員が授業改善に向けて現場で行っている工夫点などをお互いに自由闊達に紹介し合える雰囲気をもった場をもつことも必要であろう。商学部では今年度既に基礎ゼミ I の担当者を中心としてこのような会議を行った。出席者 24 名全員に各ゼミでどのような取り組みを行っているのか報告してもらうことによって、実に多くの事例を教員間で共有できたものと思われる。共有された事例のいくつかは来年度の基礎ゼミ I の取り組みに反映されるであろうし、その結果として基礎ゼミ I の成果だけでなく、他の講義への良い効果も期待できるであろう。今後、このような様々な角度からの学部横断的な意見供給の場をもつことは意義深いことであり、とりわけ 3，4 年ゼミについては急務であると考えられる。

2. 政経学部

(1) 実施状況について

平成 23 年度の「授業改善のための学生アンケート」調査は、後期に行われた昨年度にかわり、平成 23 年 6 月 27 日（月）～7 月 12 日（火）の前期に実施された。専任教員では対象教員 54 人全員によって実施され(100%)、講師（非常勤）も対象教員 123 人全員によって実施された(100%)。

アンケート調査の実施科目数は専任教員全体で 119 科目と昨年度（129 科目）よりも 10 科目減少した。また講師（非常勤）全体では 190 科目と昨年度（189 科目）よりも 1 科目増加し、アンケート対象となった総数は 309 科目である。

専任教員は 1 人あたり平均して 2.20 科目(昨年度は 2.26 科目)、講師（非常勤）は 1 人あたり平均して 1.54 科目(昨年度は 1.59 科目)のアンケート調査を実施したことになる。

アンケート調査の実施科目を科目別に多い順で言えば、専門科目が 135 科目(昨年度は 130 科目)、外国語科目が 98 科目(昨年度は 107 科目)、教養科目・総合教育科目が 29 科目(昨年度は 26 科目)、スポーツ・トレーニング科目が 16 科目(昨年度は 18 科目)、教職・社教・国語科目が 16 科目(昨年度は 18 科目)、ゼミ・外書購読が 14 科目(昨年度も 16 科目)などとなっている。学生のアンケート回答数(延べ人数)は、1 年生が 4,194 人(昨年度は 4,028 人)、2 年生が 4,114 人(昨年度は 3,658 人)、3 年生が 3,656 人(昨年度は 2,952 人)、4 年生が 1,745 人(昨年度は 1,160 人)であり、無回答の 62 人を含めて合計 13,771 人(昨年度は 11,830 人)がアンケートを手に行っている。

(2) 集計結果について

①. 設問項目別評価

政経学部専門科目のアンケート結果に関して、近年は全般に平均値の上昇が見られる。しかし、平成 23 年度は、昨年度に比べて若干ではあるが、平均値を下げた項目が見られた。その特徴を上げると、以下の 3 点に集約できる。

- (i) アンケート項目 I にみられる学生側の修学意識に関してはかなりはっきりとした改善の傾向が見られる。
- (ii) その一方で、教員サイドの要因であるアンケート項目 II に関しては、すべてのアンケートで対前年比の評価（平均値）を下げている。
- (iii) その結果、学生の修学意識と、期待される講義水準に乖離が生じたことから、アンケート項目 III の満足度に関しては、対前年比で評価を下げる事となった。

とはいえ、5 年間の長期的トレンドを見る限り、評価は全体として上昇傾向である。特に改善著しいのは、I-3 の予習・復習で、5 年間で 1.5 倍程度改善している。これは学生の高い修学意識を表す一つの証左と言えるだろう。

学生の修学意識の高まりについては、政経学部が過去 3 年間にわたって行ってきた入試戦略における基礎学力の重視や、初年次教育（アカデミック・スキル）における各教員の努力が数値として表れていると考えられる。こうした成果が、学生の知的好奇心を喚起させ、ひいては講義に対する（知的な）要求を増加させているとすれば、対前年比でわずか

に評価を下げたことは、教員にとってはむしろ歓迎すべき反省材料といえるかもしれない。
以下、項目ごとに見ていく。

- I-1 学生の出席状況は授業に80%以上出席していると回答している学生が60.82%（昨年度は60.13%）と増加した。今年度は、3月11日の東日本大震災を受けて、4年生の就職活動開始が遅れ、就職活動も長期化した。こうした状況の中で、出席状況が改善した点は評価に値するであろう。また、学部の方針として、可能な限りすべての科目で出席をとる方向で現在教員は努力している。こうした取り組みが一つの形になって表れたといえるだろう。
- I-2 ノートやメモを取っているかどうかについて、「そう思う」と「強くそう思う」を合計すれば67.30%（昨年度は66.65%）になり、次第に改善されていることが分かる。初年次教育でも、様々なタイプの講義様式（例えば、板書を書く先生ばかりではなく、スライドを用いて説明される先生、口頭で説明されることの多い先生）が大学では普通に行われており、それに合わせたノートやメモの取り方をしなければならないことについて、再三にわたって指導されている。こうした成果が出ているといえるだろう。「どちらとも言えない」、「そう思わない」、「まったくそう思わない」の合計も、32.70%（昨年度は33.35%）と減少していることも成果の一つといえるだろう。
- I-3 予習・復習をしているかどうかについて、「そう思う」と「強くそう思う」の合計は22.85%（昨年度は22.77%）と改善している。大学講義の復習は、これまで（定期試験などの直前を除けば）あまり行われてこなかったというのが実際のところであろう。予習に関しては、教科書を指定しても一読もしないで講義に臨んでいる学生がほとんどといってよかったと思われる。数値の増加は小さいものの、学生の主体的ない意識改革と教員の積極的な働きかけがなければ、改善が見える形で現れることはなかったであろう。FD活動の一環として、学生の知識の定着を促す意味で、予習・復習の奨励を行いたい。しかしながら、学生一人ひとりが、講義の内容を踏まえ、そのオリジナルな主張が展開された専門書を紐解くに至るまでには、まだ何段階かステップが必要に思われる。Blackboard（Bb）システムを利用したり、講義中に平常試験などを行ったりしながら、知識の定着を促すような工夫も必要で、この点に関しては、まだ改善の余地が大きい。
- II-1 授業の狙いは明確かどうかについて、「そう思う」と「強くそう思う」の合計は68.30%であり（昨年度は70.74%）、昨年度よりもポイントを下げた。逆に「そう思わない」とまったくそう思わない」は7.34%（昨年度は6.67%）と増加しており、教員にさらなる工夫を要求する結果となった。
- II-2 授業の難易度について、内容が「難しすぎる」と「やや難しい」の合計は49.53%（昨年度は48.13%）とやや増加している。これについては、II-1の設問で指摘された授業の狙いが不鮮明だったためなのか、そうではなく、講義内容そのものが難しかったのか不明である。
注意しなければならないのは、講義内容そのものの難易度と、教え方の巧拙さからくる感覚的な難易度との混同である。難しい（といっても、一般的な大学生が習得すべ

き標準的な)内容を、わかりやすく説明することが、教員一人ひとりが目指すべき指導の理想形であり、それを目指して教員は日々努力しているが、内容そのものが難しい(予習・復習をしていないと、講義内容の前後関係が分からない)場合もあるだろう。教員の指導には個性や特徴があるため、誰もが「これをやればよい」という指導はない。同じ内容でも、違う先生から聞いたら話がわかったという経験は誰でもあるが、それは最初に教えた教員の教え方が悪かったと即断はできまい。

大切なことは、学生が「難しい」と感じた時、それを自分自身でどのように解決したらよいか学生自身が知ることである。そのための手段として、教育助手(ティーチング・アシスタント)などの設置も検討に入れて、卒業時の学士力を高める工夫をすべきであろう。

- II-3 授業の進度について、「ちょうど良い」と回答しているのは 66.81% (昨年度は 66.96%) で、多くの学生は「ちょうど良い」と思っているようである。
- II-4 説明方法(の的確さ)について、「そう思う」と「強くそう思う」の合計は 56.33%(昨年度は 59.23%)であり、昨年やや評価を下げたものの、教員の減少なども考慮すれば、昨年とほぼ同じような結果とみてよいであろう。
- II-5 声の大きさ(の適当さ)について、「そう思う」と「強くそう思う」の合計は 65.27%(昨年度は 69.01%、一昨年 67.17%)となり、昨年、一昨年よりも悪化している。教室でのマイク使用に関して、個別学生から「マイクは持っているものの、マイクを離して講義をする教員がいる」といった話を聞いたことがあるが、教室内のマイク設備に問題がない以上、マイクを使った講義を推奨する、マイク効果がないマイクの使用に対して改善を要求する、といった対策が効果的であろう。
- II-6 教材等の効果について、「そう思う」と「強くそう思う」の合計は 68.03%(昨年度は 72.27%)と減少した。しかし、約 7 割の学生が教材は授業内容を理解するのに有効だと考えている。教員による教材の改善が進んでいると思われる。
- II-7 文字・画面の見やすさについて、「そう思う」と「強くそう思う」と回答した学生は 63.11%であり、昨年度(66.32%)からポイントを下げた。文字や画面の見やすさに関しては、教員によって評価が大きく分かれていることも考えられる。
- II-8 学習しやすいように教室の雰囲気が保たれているかどうかについて、「そう思う」と「強くそう思う」と回答している学生は、68.85%(昨年度は 71.36%)とやや数値を下げた。また、「そう思わない」と「まったくそう思わない」の合計は 7.67%(昨年度は 7.60%)と増加している。アカデミックな雰囲気で学習できるよう、教員一層の工夫が必要である。
- II-9 授業内容が理解できたかどうかについて、「そう思う」と「強くそう思う」と回答している学生は 51.82%(昨年度は 56.72%)と減少している。ここ数年間は学生の理解度が進んできていたが、今年度は減少することとなった。授業が理解できるかどうかは教育の要であるから、理解できる学生の割合をせめて 70%以上にはしなければならぬだろう。
- II-10 知識が身についたかどうかについて、「そう思う」と「強くそう思う」の合計は 54.21%(昨年度は 59.33%)になっており、今年度は評価を下げた。一方、「そう思わない」と

「まったくそう思わない」の合計は10.49%（昨年度は9.13%）と年々数値の上昇がみられる。

II-11 見方・考え方が深まったかどうかについて、「そう思う」と「強くそう思う」と回答した学生は52.44%と減少した（昨年度は57.28%）。また「そう思わない」と「まったくそう思わない」の合計は10.88%（昨年度は10.11%）となり、見方や考え方が深まっていないと考える学生が微増していることがわかる。

III. 総合的に見て授業に満足したかどうかについて、「そう思う」と「強くそう思う」と回答した学生は60.88%にすぎなかった。昨年度の66.44%、一昨年度の63.98%と比較しても例年になく低い水準である。

以上のように、設問項目の全体から見て、昨年度より厳しいものとなったというのが今年度の評価結果である。しかしながら、昨年度と対比すると、I-2「ノート・メモ」の項目で20.66%（昨年度は18.89%）、I-3「予習・復習」の項目で39.03%（昨年度は34.72%）と改善されている点もあり、政経学部として取り組んでいるFD活動の成果が表れてきたことは評価できよう。教員は一層の授業改善に向け、努力を継続する必要がある。

②. 教員別評価

I. 専任教員の評価

専任教員の評価では、I-1「学生の出席状況」、I-2「ノート・メモ」、I-3「予習・復習」、II-2「難易度（の適切さ）」、II-3「進度（の適切さ）」といった設問項目で昨年度よりも高い数値を得た。ここ数年間にわたる教員の積極的なFD活動の成果が現われている。

その一方で、II-1「狙いの的確さ」、II-4「説明方法」、II-5「声の大きさ」、II-6「教材等の効果」、II-7「文字・画面（の適切さ）」、II-8「教室内の雰囲気」、II-9「知識・技術が身につく」、II-10「見方・考え方が深まる」では軒並み数値を下げることとなった。専任教員の授業改善に期待したい。

II. 講師(非常勤)の評価

昨年度との比較では講師(非常勤)の評価でも、専任教員と同様の傾向(結果)がみられる。この点をとってみても、教員が専任か講師(非常勤)かといった違いは、学生の評価視点に影響を与えていないことが分かる。

III. 専任教員と講師(非常勤)との比較

学生に接する時間の長さが圧倒的に異なる(専任教員の方が長い)ため、単純比較はできないことに注意が必要である。しかし、数値(平均値)の上では、満足度に関して専任教員が3.87(昨年度4.01)、講師(非常勤)が3.89(昨年度3.91)と専任教員の評価と講師(非常勤)の評価が逆転した。ともに評価は下げたものの、講師(非常勤)の健闘が目立つ結果となった。個別項目についてみると以下のようになっている。

I-1「学生の出席状況」 専任教員4.49(昨年度4.45)、講師(非常勤)4.49(昨年度4.38)

I-2「ノート・メモ」 専任教員4.05(昨年度4.02)、講師(非常勤)3.88(昨年度3.87)

I-3 「予習・復習」	専任教員 2.95(昨年度 2.86)、講師(非常勤)2.89(昨年度 2.81)
II-1 「狙いの的確さ」	専任教員 3.97(昨年度 4.07)、講師(非常勤)3.98(昨年度 4.03)
II-4 「説明方法」	専任教員 3.75(昨年度 3.87)、講師(非常勤)3.79(昨年度 3.82)
II-5 「声の大きさ」	専任教員 3.97(昨年度 4.11)、講師(非常勤)3.99(昨年度 4.06)
II-6 「教材等の効果」	専任教員 3.92(昨年度 3.94)、講師(非常勤)3.91(昨年度 4.00)
II-7 「文字・画面 (の適当さ)」	専任教員 3.84(昨年度 3.91)、講師(非常勤)3.87(昨年度 3.93)
II-8 「教室内の雰囲気」	専任教員 4.14(昨年度 4.24)、講師(非常勤)4.10(昨年度 4.20)
II-9 「理解しやすさ」	専任教員 3.67(昨年度 3.78)、講師(非常勤)3.73(昨年度 3.74)
II-10 「知識・技術が身につく」	専任教員 3.70(昨年度 3.82)、講師(非常勤)3.76(昨年度 3.78)
II-11 「見方・考え方が深まる」	専任教員 3.66(昨年度 3.78)、講師(非常勤)3.66(昨年度 3.67)
II-2 「難易度 (の適切さ)」	専任教員 3.50(昨年度 3.48)、講師(非常勤)3.45(昨年度 3.44)
II-3 「進度 (の適切さ)」	専任教員 3.23(昨年度 3.22)、講師(非常勤)3.23(昨年度 3.21)

しかしながら、この結果から分かるように、「教材等の効果」「文字・画面 (の適当さ)」においては、専任教員の方が講師(非常勤)よりも評価が低い。専任教員はこの結果を真摯に受け止め、教材の開発や板書・スライド表記の工夫をする必要がある。

③. 学科別評価

法律政治学科と経済学科とを比較すると、昨年度は「教材等の効果」「難易度」「進度」の 3 つの項目について経済学科の平均値が法律政治学科のそれを上回る結果となっていた。しかし、今年度は II-2「難易度 (の適切さ)」や II-3「進度 (の適切さ)」を除いて、法律政治学科が経済学科を上回る結果となった。

具体的には、法律政治学科の平均値は、経済学科の平均値に比べて I-1「学生の出席状況」が+0.02、I-2「ノート・メモ」が+0.12、I-3「予習・復習」が+0.03、II-1「狙いの明確さ」が+0.08、II-4「説明方法」が+0.07、II-5「声の大きさ」が+0.08、II-6「教材等の効果」が+0.04、II-7「文字・画面」が+0.04、II-8「教室内の雰囲気」が+0.17、II-9「理解しやすさ」が+0.09、II-10「知識・技術が身につく」が+0.13、II-11「見方・考え方が深まる」が+0.15、III「満足度」が+0.11 という差がある。

数値の差が 0.1 以上あるのは I-2「ノート・メモ」、II-8「教室内の雰囲気」、II-10「知識・技術が身につく」、II-11「見方・考え方が深まる」、III「満足度」の 5 項目である。

④. 分野別評価

政経学部の専門科目である法律、政治、行政、経済の各分野について、それぞれの設問項目の値を合計して高い順に示せば、政治分野が 50.58 (昨年度 51.08)、法律分野が 49.09

(昨年度 51.47)、行政分野が 48.54 (昨年度 50.39)、経済分野が 47.94 (昨年度 49.39) である。値の合計を高い順にみると、法律と政治が入れかわっている。また、項目の平均値は、法律 3.78、政治 3.89、行政 3.73、経済 3.69 と、平均値でみると各分野近接していることがわかる。

I. 法律分野

I-1「学生の出席状況」は 4.37(昨年度 4.41)、I-2「ノート・メモ」は 4.00(昨年度 4.05)、I-3「予習・復習」は 2.71(昨年度 2.73)、II-1「狙いの的確さ」は 3.94 (昨年度 4.18)、II-4「説明方法」は 3.70(昨年度 3.90)、II-5「声の大きさ」は 3.97(昨年度 4.23)、II-6「教材等の効果」は 3.90(昨年度 4.07)、II-7「文字・画面 (の適当さ)」は 3.79(昨年度 4.01)、II-8「教室内の雰囲気」は 4.14 (昨年度 4.43)、II-9「理解しやすさ」は 3.55 (昨年度 3.77)、II-10「知識が身につく」は 3.61 (昨年度 3.85)、II-11「見方・考え方が深まる」は 3.64(昨年度 3.85)、III「総合的な満足度」は 3.77(昨年度 3.99)である。I-3「予習・復習」、II-7「文字・画面 (の適当さ)」などで改善が認められる。

II. 政治分野

I-1「学生の出席状況」は 4.49(昨年度 4.45)、I-2「ノート・メモ」は 4.21(昨年度 4.14)、I-3「予習・復習」は 2.85(昨年度 2.75)、II-1「狙いの的確さ」は 4.01(昨年度 4.08)、II-4「説明方法」は 3.78(昨年度 3.90)、II-5「声の大きさ」は 3.98(昨年度 4.12)、II-6「教材等の効果」は 3.91(昨年度 3.81)、II-7「文字・画面 (の適当さ)」は 3.79(昨年度 3.83)、II-8「教室内の雰囲気」は 4.37 (昨年度 4.45)、II-9「理解しやすさ」は 3.70 (昨年度 3.78)、II-10「知識が身につく」は 3.77 (昨年度 3.88)、II-11「見方・考え方が深まる」は 3.77(昨年度 3.88)、III「総合的な満足度」は 3.93(昨年度 4.01)である。I-1「学生の出席状況」、I-2「ノート・メモ」、I-3「予習・復習」、II-6「教材等の効果」などで改善が認められる。

III. 行政分野

I-1「学生の出席状況」は 4.42(昨年度 4.41)、I-2「ノート・メモ」は 3.65(昨年度 3.58)、I-3「予習・復習」は 2.96(昨年度 2.74)、II-1「狙いの的確さ」は 3.86(昨年度 4.13)、II-4「説明方法」は 3.69(昨年度 3.90)、II-5「声の大きさ」は 3.92(昨年度 4.12)、II-6「教材等の効果」は 3.78(昨年度 4.02)、II-7「文字・画面 (の適当さ)」は 3.67(昨年度 3.84)、II-8「教室内の雰囲気」は 3.97 (昨年度 4.30)、II-9「理解しやすさ」は 3.53 (昨年度 3.69)、II-10「知識が身につく」は 3.67 (昨年度 3.67)、II-11「見方・考え方が深まる」は 3.69(昨年度 3.80)、III「総合的な満足度」は 3.74 (昨年度 4.10)である。

IV. 経済分野

I-1「学生の出席状況」は 4.41(昨年度 4.40)、I-2「ノート・メモ」は 3.87(昨年度 3.92)、I-3「予習・復習」は 2.77(昨年度 2.70)、II-1「狙いの的確さ」は 3.80(昨年度 3.92)、II-4「説明方法」は 3.59(昨年度 3.73)、II-5「声の大きさ」は 3.77(昨年度 3.95)、II-6「教材等の効果」は 3.86(昨年度 3.96)、II-7「文字・画面 (の適当さ)」は 3.74(昨年度 3.84)、II-8「教室内の雰囲気」は 3.96(昨年度 4.12)、II-9「理解しやすさ」は 3.47 (昨年度 3.64)、II-10「知識が身につく」は 3.51 (昨年度 3.67)、II-11「見方・考え方が深まる」は 3.51(昨年度 3.66)、III

「総合的な満足度」は 3.68 (昨年度 3.88) である。

I-1「学生の出席状況」、I-3「予習・復習」を除くすべての項目で点数を下げるようになった。

(3) 今後の課題

各項目について、過去 5 年間(平成 18 年度以降)で最高の平均値を示した昨年のアンケート結果に対して、今年は多くの項目で点数を下げる結果となった。この結果に対して、以下の点が考えられる。

第一に、アンケート実施をこれまでの後期から前期に変更したことによって、アンケートを手にした学生(無回答を含む)が、昨年度に比べて延べ人数で 1941 人も増加したことである。これによって、アンケート結果は学生の修学意識は改善される方向へと動いたが(アンケート項目 I の評価増加)、後期に比べて講義に対する学生の要求が高まった(アンケート項目 II の評価減少)。

第二に、学生の修学意識の改善には、政経学部が行ってきた入試改革および初年次教育(アカデミック・スキル)などの成果が表れていると考えられ、これまで以上に厳しい採点が行われている可能性がある。これに対しては、教員はその評価を真摯に受け止め、さらなる教育の「質」の改善を行う必要がある。また、初年次教育に関しては、とりわけ、成績上位の学生から、より入門的にすぎるとの批判や、教授内容にばらつきがあると言った批判もある。内容の抜本的見直しも含めた改革が必要な時期にきているといえる。今後、学科目区別平均値の中に、初年次教育科目の集計結果を示す必要もあるように思われる。

加えて、各教員が授業成果を高めるには、それぞれの設問項目で「どちらとも言えない」、「そう思わない」、「まったくそう思わない」の回答を可能な限り少なくすることは極めて重要である。「どちらとも言えない」との回答をどのように解釈するかで大きな差が生じるが、この回答を選んだ学生がその授業に十分満足していないことは確かであろう。「どちらとも言えない」と回答した学生は 20%台から 30%台もいる。もし教員が授業で少しでも手を抜くとすれば、この回答を選んだ学生はおそらく「そう思わない」の選択肢へと移るであろう。授業改善に終わりはない。今後もさらなる改善に向け、より一層の教員努力が求められよう。

現在、政経学部では、平成 25 年度のカリキュラム改正に向けて、教授会、教務委員会、関係各委員会及び会議はもとより、カリキュラム検討小委員会(座長：学部長)を設置し、必修外国語(英語)の選択英語改革、地域研究への修学意識を高める第二言語の改革、教養教育の統廃合是非に関する議論、専門課程における入門科目の設置検討などが行われている。こうした一連の改革によって、大学 4 年間で培う「学士力」の向上、大学の出口と社会の入り口 mismatch 解消といった効果が期待されている。

今年度は全体的に評価を下げることはなかったが、こうした評価に対し、FD 委員会を中心として、さらなる検討を重ねていく必要がある。

3. 外国語学部

(1) 実施状況について

今年度「授業改善のための学生アンケート」を実施した外国語学部教員は、専任教員（特別非常勤講師を含む）が 38 名、講師（非常勤）が 46 名であった。実施対象者がそれぞれ 39 名、47 名であるので、実施率は、専任教員については 97.4 %、講師（非常勤）については 97.9 %で、残念ながら 100 %に達しなかった。来年度はともに 100 %になるよう、アンケート調査の実施を呼びかけたい。

実施科目数を見ると、専任教員は 88、講師（非常勤）は 85 で、合計 173 であった。その内訳は、外国語学部専門科目が 112、工学部講義科目が 1、教養科目・総合教育科目が 20、外国語科目が 33、教職・社教・日語科目が 3、ゼミ・外書講読が 4 であった。

アンケート回答数（延べ人数）は、1 年が 1,289 名、2 年が 1,079 名、3 年が 746 名、4 年が 209 名、無回答が 35 名で、合計 3,358 名であった。昨年度は、1 年が 1,351 名、2 年が 835 名、3 年が 589 名、4 年が 184 名、無回答が 38 名で、合計 2,997 名であった。昨年度に比べ、1 年は減少、2 年は増加、3 年は減少、4 年は増加しているが、バランスという点では顕著な変化は見られない。

(2) 集計結果

① 学科目別（講義等科目）

外国語学部専門科目に対する評価設問項目別に具体的に見ていくと、次のような結果になる。

I-1「学生の出席状況」4.54 は、大学全体の平均値 4.52 を 0.02 だけ上回っている。昨年度と比べ、わずかに上回っていたので、今年度は少し改善しているということがわかる。

I-2「ノート・メモ」も 4.10 と、大学全体の平均値 3.98 を上回っている。この項目も、今年度は向上したことがわかる。I-3「予習・復習」3.39 も、わずかだが大学全体の平均値 3.09 を上回っている。残りの科目は、すべて大学全体の平均値よりわずかだが上回る数字が出ている。

I-1「学生の出席状況」、I-2「ノート・メモ」以外に 4.0 以上がついている項目は、次の 9 項目である。

- II-1「狙いの明確さ」4.21
- II-4「説明方法」4.00
- II-5「声の大きさ」4.26
- II-6「教材等の効果」4.09
- II-7「文字・画面」4.12
- II-8「教室内の雰囲気」4.23
- II-9「理解しやすさ」4.00
- II-10「知識・技術が身につく」4.05
- III「満足度」4.09

Ⅱ-11 「見方・考え方が深まる」は3.90で、昨年よりわずかながら低くなったが、大学全体の平均値3.73よりは上である。

Ⅱ-1 「狙いの明確さ」、Ⅱ-4「説明方法」、Ⅱ-5「声の大きさ」など、いずれも外国語教育にとって重要な項目であるが、昨年度同様、良好な評価であるといえる。

また、3.00の回答が適切であると考えられる設問項目Ⅱ-2「難易度」とⅡ-3「進捗」に関しても、それぞれ3.42、3.18という数字で、大学全体の平均値より良好な結果が出ている。

以上のことから、外国語学部担当教員の基本的な姿勢や資質、適正などと大いに関係ある項目は、今年度も学生から比較的高い評価を受けていることがわかる。特に「難易度」、「進捗」、「教室内の雰囲気」などは、少人数のクラスが多いため、学生へのきめ細かい対応ができていると推察することができる。

また、外国語学部専門科目は、すべての設問項目について、それぞれ昨年度のものに近い良好な評価がつけられている。たとえ少しずつであっても、上向き傾向が今後も続くよう期待したい。

一方、昨年度の報告書で改善の余地があると考えられていた、Ⅰ-3「予習・復習」は、今年度は大学全体の平均より高くなっていった。しかし、毎時間の予習と復習が何より大切な外国語学部の学生としては、もっと高くてもいい数字である。3.39という数字は、決して誇れる数字ではない。学生の学力を向上させるためには、最も重要な項目だと考えられるので、この数値は低すぎる。全体の平均値は、さらに低く3.09である。このあたりが、本学の大きな問題点の一つではないだろうか。学生に対しては、予習・復習に力を入れるよう、新入生オリエンテーションのときから指導しているが、さらにそのことを強調しなければいけないだろう。

最近5年間のデータから見た評価

昨年度の報告書には、「外国語学部専門科目に対する評価に関しての大きな特徴は、平成18年度から平成22年度の間にポイントが少しずつ上がっていることである」とあるが、今年度も概ね同じような傾向が見られた。ただし、あくまで学生の自己申告による数字であるから、客観的なものとは言いがたい。

「教材等の効果」、「文字・画面」、「見方・考え方が深まる」の項目は、アンケートを実施するたびに評価が高くなっている。

昨年度は全般に評価が高かった年だったが、多少の変動はあるものの今年度も概ね同じような評価となっている。

「狙いの明確さ」、「説明方法」、「声の大きさ」、「教室内の雰囲気」、「理解しやすさ」、「満足度」など、この数年安定した高い評価を受けている。

今後もこのような傾向を維持できるよう、いっそう努力したい。

②教員所属別評価 専任教員（特別非常勤講師を含む）に対する評価

I-1は、全体平均と同じで数値であったが、それ以外の項目は全て全体平均を上回っ

ているし、4.0 も上回っていたのでまずまずの結果と言えるかもしれない。ただし、I-3すなわち予習・復習に関する項目の数値が低すぎる。前述したことだが、学生の学力向上のためには、この数値を何としても上げる必要があるのではないだろうか。「教材等の効果」と「教室内の雰囲気」を除く項目は、すべて他学部より高い評価を受けている。特に評価が高いのは、昨年同様「狙いの明確さ」と「声の大きさ」である。

「見方・考え方が深まる」の評価は、昨年は 3.95 だが、今年度は 4.00 であった。毎年徐々に評価が高くなっているため、さらに高い評価につながるよう努力したい。あとの項目も全て 4.0 以上である。

「教材等の効果」と「教室内の雰囲気」についても、それぞれ 4.16、4.27 なので、決して低い数字ではないし、昨年度よりは向上している。

特にポイントが高い項目からは、外国語学部の専任教員たちが、毎年授業の工夫をしながら学生の指導にあたっていることが窺える。

学生の授業に対する「満足度」は、昨年度 4.11、今年度 4.20 で、安定した評価になっている。ただし、学生が満足する授業が必ずしも良い授業であるとは限らないということは認識しておく必要があるように思う。学生の学力を真剣に伸ばそうとすれば、宿題を多く出したり授業中の学習態度を厳しくチェックしたりする必要も出てくるように思われるが、そういったことを嫌う学生も多いからである。

講師（非常勤）に対する評価

一昨年度は、「狙いの明確さ」から「満足度」まですべて大学全体の平均を少しづつ上回る評価を受けたが、昨年度は、「声の大きさ」、「文字・画面」、「理解しやすさ」、「知識・技術が身につく」、「見方・考え方が深まる」の 5 項目にとどまった。しかし、今年度は、再び全ての項目で全体平均を上回っていた。

学生たちの「予習・復習」のポイントを上げることが、やはり大きな課題のようである。講師（非常勤）担当授業での学生たちの「予習・復習」は、大学の平均を上回っているものの、専任教員の授業における数値（3.43）より低く、外国語学部の学生として 3.13 という数字は決して高くはない。昨年度は 3.13 と今年度と同じであった。やはり、この項目の数値を大幅に上げることが今後の課題と言えよう。一昨年は 3.05 であったので、わずかに上回っているが、来年度はさらに学生たちが予習・復習にもっと時間を割くよう、いっそうの指導をお願いしたいと考えている。

学生の満足度は、昨年度 3.95 だったが、今年度は 3.97 と、わずかだが高い数値となった。

専任教員と講師（非常勤）との連携を密にしながら、より効果的な外国語教育ができるよう、努めていきたい。

③学生所属別評価（講義科目）

学年別の分析

講義科目に関する学年ごとの数値を見て、気づくことが何点かある。まず、4 年生の出席に関する数値が他学年と比べて非常に低いことだ。卒業要件単位をすでに取り終えてい

たり、就職活動で大学へ来れなかったりすることが理由なのかもしれない。もう一点は、講義科目での予習と復習に関する数値が全学年3以下と非常に低いことである。これまでも述べてきたが、この項目の数値を上げることが一番の課題であるが、宿題が出なかったり復習テストがなかったりということが原因なのかもしれない。講義科目で、特にこの項目の数値が低いというのは、何もせずにただ授業に行き座っていればいい、テストの時だけ勉強すれば単位が取れるということなのかもしれない。改善するためには、少なくとも予習で、教科書の一定のページ数を毎週読ませ、授業中に何が書かれていたかを学生に確認するなどが考えられるが、大規模の講義授業ではこういったことも難しい。クラスサイズということも問題なのかもしれない。

学科別の分析

講義課目に関する今回の学生アンケートの回答を学科別に見てみよう。

「学生の出席状況」

昨年度の学科ごとの平均値は、英米語 4.55、中国語 4.50、スペイン語 4.39 だったので、英米語以外は向上している。今年度の学科ごとの平均値は、英米語 4.55、中国語 4.63、スペイン語 4.47 で、いずれも全体平均よりは若干高くなっているが、これは語学教育の特徴を考えると当然のことであろう。

「ノート・メモ」

昨年度の学科ごとの平均値は、英米語 3.92、中国語 3.99、スペイン語 3.80 で、中国語が若干上回っていたが、今年度は、それぞれ 3.99、4.09、4.08 であった。全学科とも若干ながら数値が向上している。

「予習・復習」

昨年度の学科ごとの平均値は、英米語 2.93、中国語 3.08、スペイン語 3.06 で、他学部の平均値と大差はなかった。今年度は、それぞれ 2.98、3.01、3.28 ということで昨年度と比較して顕著な差はなかった。英米語学科とスペイン語学科の数値が少し高くなっていたが、やはり低すぎる数値と言わざるをえないだろう。

「狙いの明確さ」

昨年度の学科ごとの平均値は、英米語 4.02、中国語 3.99、スペイン語 4.15 で、スペイン語が高く、学内では開発協力量科に次いでいた。今年度は、それぞれ 4.07、3.96、4.11 と、昨年度と比較して顕著な変化はなかった。

「説明方法」

昨年度の学科ごとの平均値は、英米語 3.84、中国語 3.72、スペイン語 3.99 で、英米語とスペイン語は、開発協力量科とアジア太平洋学科に次いでいた。今年度は、それぞれ 3.85、3.65、3.92 と、昨年度と比較して顕著な差はなかった。

「声の大きさ」

昨年度の学科ごとの平均値は、英米語 4.06、中国語 3.99、スペイン語 4.16 で、これもスペイン語と英米語が、開発協力量科とアジア太平洋学科に次いでいた。今年度は、それぞれ 4.10、3.99、4.13 と、昨年度と比較して顕著な差はなかった。

「教材等の効果」

昨年度の学科ごとの平均値は、英米語 3.92、中国語 3.89、スペイン語 4.03 で、他学部の数字に近かった。今年度は、それぞれ 4.01、3.82、4.03 と、昨年度と比較して顕著な変化はなかった。

「文字・画面」

昨年度の学科ごとの平均値は、英米語 3.90、中国語 3.90、スペイン語 4.05 で、学内平均よりやや高かった。今年度は、それぞれ 3.98、3.83、4.05 と、昨年度と比較して顕著な変化はなかった。

「教室内の雰囲気」

昨年度の学科ごとの平均値は、英米語 4.04、中国語 3.90、スペイン語 4.08 で、学内平均をやや上回っていた。今年度は、それぞれ 4.02、3.85、4.05 と、昨年度と比較して顕著な変化はなかった。

「理解しやすさ」

昨年度の学科ごとの平均値は、英米語 3.80、中国語 3.77、スペイン語 3.97 で、学内平均をやや上回っていた。今年度は、それぞれ 3.85、3.63、3.95 と、昨年度と比較して顕著な変化はなかった。

「知識・技術が身につく」

昨年度の学科ごとの平均値は、英米語 3.83、中国語 3.80、スペイン語 3.97 で、学内平均をやや上回っていた。今年度は、それぞれ 3.91、3.71、3.97 と、昨年度と比較して顕著な差はなかった。

「見方・考え方が深まる」

昨年度の学科ごとの平均値は、英米語 3.76、中国語 3.64、スペイン語 3.86 で、学内平均に近かった。今年度は、それぞれ 3.78、3.62、3.86 と、昨年度と比較して顕著な差はなかった。

「満足度」

昨年度の学科ごとの平均値は、英米語 3.90、中国語 3.82、スペイン語 4.01 で、英米語とスペイン語が学内平均よりやや高かった。今年度は、それぞれ 3.96、3.79、4.04 と、昨年度と比較して顕著な差はなかった。

外国語学部の3学科中、中国語学科の評価が若干低いですが、大学全体の中では決して低くはなく、ほぼ平均値に近い評価を受けている。

昨年度までも、「狙いの明確さ」、「声の大きさ」、「教室内の雰囲気」、「満足度」などの項目は、学内で高い評価を受けていた。今後も、いい意味で外国語学部らしきが出せるような授業を続けていきたい。

学科別満足度に関して、過去数年間を振り返ってみると上昇傾向にあった英米語、スペイン語は昨年度は少し下がったが、今年度は再び上昇した。一方、中国語は昨年度上昇したものの、今年度は少し数値が下がっている。

④授業に対する学生の満足度

学科目別満足度

学科目別満足度の平均値を見てみると、「外国語学部専門科目」は、「ゼミ・外書講読」や「スポーツ・トレーニング科目」には及ばないものの、大学全体の中では高いポイントを得ている。

また、この5年間のデータを見ても、平均値 4.0 以上を維持している。特に年度によるばらつきがなく、安定した評価を得ている。

このデータを見る限り、外国語学部では、最近5年間、学生の視点からは概ね満足のかいく授業が行われていると考えていいだろう。

教員所属別満足度

外国語学部に所属する教員（講師（非常勤）を含む）の授業に対する学生の満足度はどうであろうか。

学内では比較的満足度が高いと言える。また、過去5年間は平均値 4.0 以上を維持し、安定した数値を示している。

学科目別回答の分析

設問項目別に見た「外国語学部専門科目」に対する満足度

それぞれの設問に対し、学生は5段階（最高値は⑤）で評価を下している。どの項目で満足のかいく数値⑤や④が多く付けられているだろうか。

I-1「学生の出席状況」は、⑤が 66.92%と最も多く、次いで④の 23.53%となっている。

I-2「ノート・メモ」は、⑤の 44.10%が最も多く、次いで④の 32.56%となっている。

I-3「予習・復習」は、③の 33.02%が最も多く、次いで④の 26.81%となっている。

I-4「受講した動機」は、③の「単位が必要だから」44.07%が最も多く、次いで⑤の「時間帯が空いている」が 31.42%となっている。逆に「講義への興味」は 8.67%と決して高い数値とは言えない。

II-1「狙いの明確さ」は、⑤の 41.74%が最も多く、次いで④の 36.46%となっている。

II-2「難易度」は、③のちょうど良いが 51.40%で最も多く、次いで④のやや難しいが 34.96%である。

II-3「進度」は、③のちょうど良いが 72.13%で、④のやや速いが 17.99%である。

II-4「説明方法」は、④の 34.51%と⑤の 33.76%が並んでいる。

II-5「声の大きさ」は、⑤の 48.40%が最も多く、次いで④の 30.08%となっている。

II-6「教材等の効果」は、⑤の 40.87%が最も多く、次いで④の 33.50%となっている。

II-7「文字・画面」は、⑤の 40.04%が最も多く、次いで④の 33.23%となっている。

II-8「教室内の雰囲気」は、⑤の 42.44%が最も多く、次いで④の 31.84%となっている。

II-9「理解しやすさ」は、④の 39.46%が最も多く、次いで⑤の 30.98%となっている。

II-10「知識・技術が身につく」は、④の 40.12%が最も多く、次いで⑤の 31.82 となっている。

II-11「見方・考え方が深まる」は、④の 34.70%が最も多く、次いで⑤の 29.01%、③の 25.09%である。

Ⅲ「満足度」は、⑤の 39.34%が最も多く、次いで④の 34.52%である。

⑤学部設問項目

今回のアンケートに外国語学部が独自に入れた設問項目は、次の2つであった。

「この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切ですか」

「このクラスの学生数は適切ですか」

「この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切ですか」に対する回答の平均値は、専任教員の授業では 4.35 で、講師（非常勤）の授業では 4.15 であった。

また、「このクラスの学生数は適切ですか」に対する回答の平均値は、専任教員の授業では 4.31、講師（非常勤）の授業では 4.18 であった。

この2項目は、特に少人数教育を中心とした外国語の授業で、集中して効果的に授業が行われる環境が整備されているかどうかを問うものであるが、学生の反応は、今年度も概ね良好であったと言える。

（3）授業改善に向けての今後の課題

以上、「平成 23 年度授業改善のための学生アンケート」の集計結果を分析してきたが、外国語学部は、今年度も、全般にわたって比較的安定した高い数値を得られている。説明方法や声の大きさ、理解のしやすさ、明確さなど、特に外国語教授法の中の要となる部分を、多くの教員たちがよく心得て実践している結果が、この数年間の概ね安定した高評価につながっていると考えられる。

授業時間内だけでなく、休み時間を利用して研究室に足を運び、教員の指導を受けている学生の姿は、今年度もよく見かけられた。また、留学相談、資格試験対策、外国語弁論大会などの指導も続けている。これも教員に対する学生の評価がこの数年安定している一因であろう。教室内外で懇切な指導を続けることが、学生たちをさらに伸ばすことにつながるはずである。そのための創意工夫は、これからも継続して行っていくようにしなければならないだろう。

今年度も学生たちの学習能力にかなりばらつきがあり、授業の進め方が以前より難しくなっている、という声は何人もの教員から届いている。外国語学部では、3学科とも能力別クラスを一部導入することによって、より学習効果が上がるよう配慮している。

しかし、そのためには、教員たちが絶えず学生の学習到達度を細かくチェックする必要があり、教員間の連携も重要である。

おそらく将来も、学生たちの学力差は広がる一方であろう。さまざまな学習到達度の学生が混在する授業では、それにどう対応するか、授業の進め方がさらにむずかしくなることが予想される。教員の力量がますます問われることになると考えられるが、学生の能力を正しく把握し、適切な指導をしていくことが重要だと思われる。

最後になるが、今回一番問題であった「予習・復習」を学生が行うような授業をすることが、学生の学力向上につながるのではないかということを指摘しておきたい。

4. 工学部

(1) 授業アンケートの実施状況

今年度は、前期科目および通年科目に関して授業改善のための学生アンケートを行った。1年生は入学後初めての大学における授業であり、その影響が若干現れたように思われる。実施状況は以下の通りである。

工学部での実施科目は、161科目で、昨年の160科目を上回った。アンケート回答数(のべ人数)は、6671人で、昨年より約500名程度多くなった。一昨年も、前年比700名増であり、ここ2年間で大幅な伸びとなった。今回は科目数が増えたことによる(講義科目が5科目増、実験科目は3科目増)。授業の履修制限制度や、昨年度から導入されたGPAも影響を与えている可能性もあるかと思われる。

学生アンケートを実施した161科目の内訳は、専門(講義)科目が88科目、専門(実験・実習・演習)科目が35科目、教養科目が8科目、外国語科目が24科目、スポーツ・トレーニング科目が2科目、教職・日本語科目が3科目、その他が1科目である。昨年と比べて、外国語科目が5科目減少し、ゼミ・外書講読科目は該当科目がなかった。専門科目では、講義科目が5科目増加し、実験・実習・演習科目が3科目増加した。

実施対象教員数は、専任教員59名と講師(非常勤)47名であるが、全員が実施し、昨年までと同様100%の実施率となった。

実施率が常に高率であることは、授業完全に役立つデータを得る有効な手段として「学生によるアンケート」が定着していることを示している。今後もアンケートの分析結果を具体的に如何に授業改善に結びつけるかが重要である。今年度を含めて5年間、後期開講科目・通年科目を対象に授業アンケートを実施したことから、授業改善結果を検証できるだけの、いわゆる定点観測を行う資料が揃ったと考えることができる。今年度は前期科目について学生アンケートを実施したので、昨年度後期からの年次進行に伴う科目間の連携といった切り口で調べることも可能と思われる。

以下、全体集計結果に基づき、工学部の専門科目に対する授業アンケート結果を分析し、所見を述べる。さらに分野別集計結果に基づいて工学部専門科目に対する授業アンケートを分析し、所見を述べ、実施目的が達成できたかという視点から今後の課題を指摘して総評としたい。

(2) 全体集計結果に基づく授業アンケート結果の分析

工学部の卒業生の多くが製造業や、他の様々な分野の企業でも技術系の職種に就職する。このため、工学部の専門科目(学科別専門科目と基礎科目)には、実験・実習・演習科目が多い。また、近年、座学による学習を苦手とする学生が多く、実験や演習を通じて、初めて実際に技術を自分のものとする場合が少なくない。かつては、講義科目を対象としたアンケート様式を実験・実習・演習科目にも適用していたが、授業内容の違いから講義用アンケートでは授業改善に活かせるデータ収集が難しいという欠点があった。そこで、現在はそれらの科目用のアンケート様式は新たに作成され、講義科目とは別にすることが

可能になった。

以下、昨年までと同様に専門（講義）科目、専門（実験・実習・演習）科目の順に授業アンケート結果を分析する。

1) 専門（講義）科目

①出席状況（設問Ⅰ－１）

今年度も含め、この数年、工学部の学生の70%以上が、90%以上授業に出席していると回答しており、おおむね授業への出席状況は良好である。本年度も出席率が上がり、さらに改善された。

②ノート・メモ（設問Ⅰ－２）

近年講義に出席に出席しても、ノートやメモを取らない学生がしばしば見受けられる。2年前をピークとして連続して減少していたが、本年度は昨年度に引き続き、若干ではあるが改善傾向が見られる。”筆”をとって学生自身が書くことによって知識の浸透がある。今後も一層の改善が必要である。

この①と②の結果から、学生の授業への取り組みの姿勢がわずかであるが良くなっていることがわかる。今後も学生のこの姿勢を高めることが期待される。

③予習・復習（設問Ⅰ－３）

予習や復習に取り組む学生は2.80とまだまだ少なく、全設問のうち最低値である。毎年少しずつではあるが、連続して改善され続けてはいるが、基本的には科目数の過多が原因として挙げられる。知識の定着や応用への適用力向上のために、予習・復習を前提としたカリキュラム構成を検討すべき時期と思われる。

④狙いの明確さ・説明方法・声の大きさ・教材の効果

（設問Ⅱ－１、Ⅱ－４、Ⅱ－５、Ⅱ－６）

これらのすべての項目において、昨年度まで5年連続して改善していたが、今年度は一部がやや低下した。新入生が大学の授業形態に慣れていなかったことも考えられる。

⑤文字・画面（設問Ⅱ－７）

昨年より、文字・画面は、改善されている。

予習・復習や狙いの明確さ・説明方法・声の大きさ・教材の効果はわずかずつであるが、学生アンケートの結果から教員の努力は学生にも認められているようであり、文字・画面については昨年度に引き続き改善効果が増加した。

⑥教室の雰囲気（設問Ⅱ－８）

教室の雰囲気については昨年度に比べてやや低下した。

⑦難易度・理解のし易さ（設問Ⅱ－２、Ⅱ－９）

従来の後期実施時では、難易度は前期より高く、年々、授業が難しいと思う学生がわずかではあるものの増加していた。今回は前期に実施したにも拘わらず、ほぼ横ばいであった。授業の難易度については、就職する卒業生に要求される専門性（到達目標）を考えるとやむをえない面もあり、入学生の基礎学力が低下している中、今後も学生に分かりやすい授業の実施が望まれる。また、多様な入試システムから工学の基礎である数学や物理などの科目を高校で履修していない学生が増えていることも一因では

ないかと思われる。学生支援センターの協力も得て更なる改善を目指すことが望まれる。

一方、理解のしやすさについては、昨年より改善しており、授業は難しいと感じながらも、教員の努力により、理解度も向上していると考えられる。

⑧進捗（設問Ⅱ－３）

授業の進行速度については、速すぎると感じる学生が増えていたが、昨年度からその傾向がわずかではあるが改善されている。平均的には改善傾向にあるが、「遅い」、「速すぎる」と感じる学生の両極端に別れる傾向があるのではないかと思われる。

⑨知識・技術が身につく（設問Ⅱ－１０）

昨年度と同じであったが、この４年間を通してみると、改善傾向にある。工学部の授業は実践力養成を目的としており、その目的が少しずつであるが理解されるようになっていくといえるが、未だ「身についた」という実感が伴っていないように思われる。

⑩見方・考え方が深まる（設問Ⅱ－１１）

この項目も⑨と同様４年間改善されてきているが、今回はやや低下した。

⑪満足度（設問Ⅲ）

満足度も、わずかではあるが悪化している。電子の応用科目や情報の科目では向上が見られたが、他の区分では若干低下した。⑨や⑩の知識・技術が身についたり、見方・考え方が深まるという実感が、そのまま満足度につながるよう引き続き取り組みたいと思う。

アンケートが現在の方法になってから、少しずつではあるが、教員の授業改善の努力により良い方向に向かっているといえる。本年度は全項目にわたってより良い方向に進んだ。今後、入学する学生の多様性がますます増し、入学時の学力の差が大きくなり、難しい、進行が速いと感じる学生と、易しい、遅いと感じる学生の両極端に分かれ、両者のやる気を引き出すことが重要な指導になるのではないかと思われる。

2) 専門（実験・実習・演習）科目

①出席状況（設問Ⅰ－１）

出席率はきわめて高い。こここのところ年々少しずつ減少していたが、本年度は昨年度に引き続き、若干改善している。

②事前準備・レポートの作成（設問Ⅰ－２、Ⅰ－３）

昨年度は改善されたが、ほぼ一昨年の状態まで減少した。実験などに事前の予習が必要であるという認識のない学生も多いが、実験の意義・目的を事前に勉強しておくことは実験実習の深い理解に繋がるので、さらに一層の指導が必要である。また、実験や演習の後のレポートは、実習した内容を自分のものにするために必要不可欠であるばかりでなく、エンジニアとしても必要な技術であるため、再提出を課すなどして、きめ細かく指導する必要があると考える。

③狙いの明確さ・説明方法・声の大きさ（設問Ⅱ－１、Ⅱ－４、Ⅱ－５）

これらの項目は、すべて昨年は改善されたが、一昨年のレベルに戻っている。しかし

概ね改善傾向にあり、特に説明方法・声の大きさの改善傾向が著しく、教員の改善の結果が反映されているようである。実験や演習などは、狙いの明確さが重要であるので、この改善はより良い効果に繋がるものと思われる。

④教材の効果・適切性（設問Ⅱ－６、Ⅱ－７）

一昨年度のレベルに後退した。昨年度は例年に比べて改善傾向が見られたが、これは授業の相互参照などを通して異なる観点からのアドバイスを受けての効果とも考えられるので、引き続き授業参観は重要視したい。

⑤理解のしやすさ（設問Ⅱ－９）

昨年よりやや低下したが、最近４年間では改善の方向にある。実験・演習科目であることを考えるともう少し高くする工夫が必要だと考える。

⑥知識・技術が身につく（設問Ⅱ－１０）

昨年に比べてやや低下したが、最近の傾向から、わずかであるが改善効果を維持していると言える。

⑦見方・考え方が深まる（設問Ⅱ－１１）

昨年より若干の低下がみられた。最近では改善効果が上昇していることから、引き続き改善努力を進めたい。

⑤～⑦の項目で、学生の基礎学力の低下に教員が対処し、授業が改善されてきたことがわかる。今回はやや低下していたが、前期に実施したため、進級後の授業内容の高度化に慣れていなかったことも原因として考えられる。授業参観では、実験・実習を対象とすることが多く、客観的な立場からの意見交換が反映され、徐々にではあるが、改善されている一因になっていると思われる。実験・演習科目であるので、より一層これらの項目が改善される必要がある。

⑧難易度・進度（設問Ⅱ－２、Ⅱ－３）

難しいと感じる学生が増加していたが、今回はやや改善された。ただし、従来のアンケートと科目が異なることに留意すべきである。いずれにせよ、一定の技術や知識、考え方を取得することと難易度や進度の兼ね合いは難しい問題である。安易に内容を易しくするのではなく、学生が興味を持って取り組み、困難さを感じないようなテーマなどを工夫したい。

⑨満足度（設問Ⅲ）

全体として、一昨年は低下したが、昨年は向上した。今回は昨年に引き続き、同程度の満足度を維持した。学科別では、機械の満足度が向上しており、他学科ではやや低下した。

（３）分野別集計に基づく授業アンケート結果の分析

工学部の組織は、機械システム工学科（以下、機械）、電子システム工学科（以下、電子）、情報工学科（以下、情報）、デザイン学科（以下、デザ）の４学科および基礎教育系列（以下、基礎）から構成されている。

以下、専門（講義）科目、専門（実験・実習・演習）科目の順に、分野別集計結果に基づき、授業アンケート結果を分析する。

1) 専門（講義）科目

①. 出席状況（設問Ⅰ-1）

工学部全体の平均は 4.63 と昨年と同じであり、一昨年度の 4.58 に比べて改善傾向を維持している。本年度も機械の選択科目や電子のコア・応用が工学部平均より高い。情報の講義、コア、選択科目の出席状況は例年と大きく変わっていない。デザインの講義科目の出席状況は引き続き改善されている。基礎の選択科目の出席率が昨年の 4.76 から 4.79 と昨年に続いて増えている。

必修となっていることが多い実験・実習科目になどに比べると若干ではあるが、選択科目の講義科目への出席率が低い。しかし、他学部などの結果と比較すれば、工学部の全科目区分について出席率は高い。

②. ノート・メモ（設問Ⅰ-2）

工学部全体の平均は 3.68 で、昨年度の 3.63 に対して増加した。一昨年度の平均値は 3.62 であり、増加傾向が続いている。基礎教育の選択科目は 4.11 であり、昨年の 4.00 に対してさらに増えている。全体平均も増加しており、1年次の基礎ゼミにおける効果もあると考えられる。

③. 予習・復習（設問Ⅰ-3）

工学部全体の平均値は 2.81 と昨年と同じ値であり、2年前の 2.60、一昨年度の 2.65 に対して改善を維持した。基礎の選択科目が2年前の 2.21、一昨年度の 2.50 から昨年は 3.23 と大幅に増加したが、本年度は 3.10 であった。全体的には、学科・基礎別あるいは科目区分に関わらず、予習・復習に取り組む学生がまだまだ少なく、今後も改善が必要である。

④. 狙いの明確さ（設問Ⅱ-1）

工学部全体の平均は 3.70 であり、昨年度と変化はなかった。基礎の選択科目の 4.17 がもっとも高く、昨年度の 4.14 に比べて高い値を維持している。情報の講義科目は 3.45 であり、昨年度の 3.19 と比べて増加している。

⑤. 説明方法（設問Ⅱ-4）

工学部全体の平均値は 3.39 であり、昨年度とほぼ同じである。情報の講義科目が3年前から 2.96、3.08、2.88 であり、今回は 3.04 と増減を繰り返している。工学部の講義科目全般に説明方法の工夫・改善の余地がある状況に大きな変わりはない。

⑥. 声の大きさ（設問Ⅱ-5）

工学部全体の平均は 3.62 であり、昨年度の 3.67 と大きな変化はなかった。例年はデザインと基礎教育が高い評価となっているが、今年度は電子の応用科目が高い伸びを示した。また、必修科目の平均値が昨年に比べると改善されている。声の大きさに関しては全ての区分について問題無いと言える。

⑦. 教材等の効果（設問Ⅱ-6）

工学部全体の平均値は 3.71 であり、昨年度と変化がなかった。機械の高学年科目では、

昨年の 3.80 から 3.55 とやや減少した。電子（応用）は、昨年に比べて 0.2 ポイント増加し、3.91 であった。デザインの講義科目が例年高い評価を受けている傾向は、今年も同様である。今後も全般的に教材開発に関しては改善の余地がある。

⑧. 文字・画面（設問Ⅱ-7）

工学部全体の平均は 3.65 であり、昨年度の 3.61 と比べると若干の改善が見られ、一昨年度の 3.51 から少しずつ改善傾向にある。科目区分ごとの差はあまり無い。基礎の専門科目が一昨年の 3.46 から昨年は 4.14 に大きく改善され、今回は 4.06 と維持している。専門科目においては、板書方法や液晶プロジェクタ等の活用方法にもう一工夫必要である。

⑨. 教室内の雰囲気（設問Ⅱ-8）

工学部全体の平均は 3.62 であり、昨年度の 3.68 と大きな変化はなかった。デザインの講義は 4.10 と高い平均値であったが、3.69 と急落した。基礎の選択科目は昨年の 4.11 から 4.06 とやや減少したが、一昨年度の 3.72 からの改善傾向は維持できている。全体での科目ごとの差は小さい。履修者数が増えたり、マナーを守らない学生が増えているようであり、更に一層の指導が望まれる。

⑩. 難易度（設問Ⅱ-2）

授業の難易度が適切かどうかとの問いに対して、工学部全体の平均は 3.71 であり、昨年度の 3.69 と大きな変化はなく、一昨年度から漸増傾向にある。他学部と比べて高い値となっているが、今後も授業内容を見直し、改善していく必要がある。

⑪. 理解のしやすさ（設問Ⅱ-9）

工学部全体の平均は 3.28 であり、昨年度の 3.29 と比べるとほぼ同じであるが、他学部と比べると低い値となっている。工学部の専門性を考えれば、やむを得ない面もあるが、高度な内容を分かりやすく説明する努力が必要とされ、如何に授業を理解させるかに改善・工夫の余地は多い。

⑫. 進度（設問Ⅱ-3）

工学部全体の平均は 3.39 であり、昨年度の 3.37 と比べると若干の減少である。科目ごとの差は小さく、学生はどの科目についても授業の進め方が速いと感じている。

⑬. 知識・技術が身につく（設問Ⅱ-10）

工学部全体の平均は 3.37 であり、昨年度と同じである。一昨年度は 3.28 であり、徐々に改善傾向が続いているが、全学部と比べると低い値となっている。工学部の授業は実践力養成を目的としており、知識・技術の習得を重要視しているが、理解のし難さゆえに知識・技術が身につくとは考えない学生が多いようである。

⑭. 見方・考え方が深まる（設問Ⅱ-11）

工学部全体の平均は 3.33 であり、昨年度の 3.35 と比べて若干の減少傾向が見られる。他学部と比べると低い状況が続いている。「知識・技術が身につく」と同様に習得すべき内容の理解のし難さ故に、見方・考え方を深められたと実感させるまでには至っていない。

⑮. 満足度（設問Ⅲ）

全学部の満足度の平均値、3.92 と比べると、工学部全体の平均値は 3.48 と低く、昨年度の 3.49 とあまり変わっていない。他の各学部との比較においても低い状況が続いている。「受講動機」の回答分布を見ると、単位の取得を一番の理由とする学生数が他学部と比べると多く、また、他学部では「時間帯が空いているから」とする学生が多いのに対して、工学部はその割合が低い。体系だった学問をひとつひとつ地道に学んでいく工学部には新奇さが少なく、講義に興味があり、積極的に履修したいという学生よりも、エンジニアとして必要な知識を修得したいという動機をもった学生が多く、授業への期待感が少ない分、満足度も低いのではないかと思われる。ただし、講義への興味が 10.4% と昨年度の 8.9% に比べると高くなり、一昨年度は 9.5% であったことから、やや持ち直してきたと思われる。前期実施のため、1 年次生の期待度が大きかったと思われる。学生の講義への興味を高めることは学生の学力向上とも深い関係があるので、一層の改善が望まれる。なお、昨年度の情報（講義）の満足度は 2.90 と本学の全学科で唯一の 2 点台であったが、今回は 3.08 と持ち直している。

2) 専門（実験・実習・演習）科目

①. 出席状況（設問Ⅰ－1）

工学部の平均値は 4.73 であり、他学部と比べてもやや高い平均値になっている。

②. 事前準備（設問Ⅰ－2）

工学部の平均値は 3.40 であり、昨年度の平均値 3.58 に比べると低下し、一昨年と同じレベルとなった。機械の平均値は昨年の 2.98 に比べると 3.20 とさらに改善されている。全体としては他学部と比べると低く、事前準備の指導を見直す必要がある。

③. レポート作成（設問Ⅰ－3）

工学部全体の平均は 4.03 であり、昨年度の平均値 4.10 と大きく変わらない。科目区分ごとの差は小さく、レポート作成の指導は適切に行なわれていると考えられる。

④. 理解のしやすさ（設問Ⅱ－9）

工学部全体の平均は 3.71 であり、昨年度の 3.72 と変化がなかった。実験・実習科目は講義科目（平均値 3.28）と比べて理解しやすいと考えているように思われる。

⑤. 授業の狙い・重要なポイント（設問Ⅱ－1）

工学部全体の平均は 4.00 であり、一昨年度の 3.94、昨年度の 4.02 と比べて高めの値を維持している。実験・実習科目で具体的に説明するテキストや実際のモノを見て理解する内容が受け入れやすいものと思われる。

⑥. 知識・技術が身につく（設問Ⅱ－10）

理解しやすさと関連して、工学部全体の平均は 3.82 と高く、昨年と同じ値である。眼前で行われる実験・実習の経験を通して、学生は知識・技術が身につくと感じているようである。

⑦. 満足度（設問Ⅲ）

工学部全体の平均は 3.88 であり、昨年度と同じである。一昨年の 3.76 に対して、改善傾向を維持している。昨年と同様にデザインの科目は 4.01 と高い水準となっている。

機械の平均値は一昨年度の 3.27、昨年度の 3.67 と比べると今回は 3.90 であり、改善が続いている。自然現象の客観的な理解と、自由な発想の下での創造作業に学生が覚える満足度の特徴が現れていると思われる。

(4) 今後の課題

工学部専門科目に関する授業アンケートの全体集計結果および分野別集計結果に基づいて分析を行なった。設問Ⅰ－3 予習・復習から、設問Ⅲ満足度まで、徐々にではあるが、平均値はほとんどの項目で高くなっており、昨年に比べて改善が進んだといえる。授業を受ける学生に関わる設問Ⅰ－1 の出席状況は増加傾向にあり、設問Ⅰ－2 のノート・メモでは低下傾向に歯止めがかかり、増加に転じた。ゆとり教育の下で学んできた学生気質や、入試の多様化の影響で、工学部に入学してくる学生の基礎学力にかなりの幅が見られる。設問Ⅱ－2 の難易度や設問Ⅱ－3 の進度は昨年度に比べればやや改善されたが、授業についていけず、授業が面白くなる学生と、分かり易い、平易な授業を目指した結果、知的好奇心が薄れて講義に物足りなさを感じる両極端の学生に分かれている印象がある。学生の様々な能力を拾い上げる柔軟な教育が必要とされると思われる。

授業アンケートの目的が、「教員の授業改善に役立てること。また、教育の質の向上を図ること」であることを踏まえ、以下の点を今後の課題としたい。

①学生の授業への取り組み姿勢を改善する方策の検討

高校までの学習が不十分な学生が増加している現状に対応するために、工学部学習支援センターを設立し、高大接続教育に一定の効果を上げている。この取り組みを今後も授業改善にも活かしていく必要がある。

教員の授業改善が徐々に進み、学生の授業への取り組みも若干ではあるが改善している。数学や物理を基礎とする工学部の授業にあっては、これらに対する基礎学力が不足している学生が増加しており、授業への取り組み方を再考する必要がある。昨今の基礎系列の専門科目の平均値は全ての項目で前年度のそれを上回っており、大きな改善効果が見られる。

漠然とした興味で工学部に進んだ学生も多いように思われる。初年次教育や、コース制の下で学ぶ学生が積極的に関わろうとする勉学環境を一層盛り上げることが重要である。

②満足度の改善

工学部の実験・実習科目は例年、「満足度」が比較的高く、「出席状況」、「理解しやすさ」、「知識・技術が身につく」などの項目の全てで講義科目よりも高い評価になっている。机上の知識だけを学んできた学生が新鮮さをもって実際のモノに触れる実験・実習科目を習得しているのではないかとと思われる。工学部の専門講義科目の満足度は改善されてきたとは言えるが、他学部と比べてまだ、その満足度は低く、今後も引き続いて改善を目指す必要がある。

実験・実習に興味を覚える学生に対して、その原理や理屈を分かりやすく説明することにより一段と高いレベルに上げることが期待される。各授業の目的をより周知させ、コー

ス制の下で展開される将来の進路と授業科目の関連などを説明することが重要である。このような努力が「満足度」の改善に繋がり、「理解しやすい授業」へとも繋がると思われる。

③ 予習・復習の改善

学部平均が2点台で常態化しており、憂慮すべきと考える。学生にとっては履修すべき科目数が多く、時間割の上でも余裕がないため、毎日の各時限をこなすのに精一杯の状態であることも一因かと思われる。同時に、学生へのインタビューによると、大学での授業をこなしたことで満足感が得られている様子が見られた。科目間の内容の連携を明確に設定することによって科目数を絞り込んだり、各科目だけでなく科目間で連携した課題を与えるなど、教室外での学習機会を増やす方策が必要と考えられる。

5. 国際学部

(1) 実施の状況

本年度もこれまで同様に、専任教員と講師（非常勤）を問わず、学部開設のすべての科目を対象に「授業改善のための学生アンケート」を実施した。できるだけ多くの回数の授業を行った後で学生の反応を把握するために、実施期間は予備日も利用し、平成 23 年 6 月 27 日（月）から 7 月 16 日（土）に設定した。

アンケートの実施科目総数は 242 科目であった。アンケート結果は、英語群（6 分類）、地域言語群（6 分類）、基礎科目群（4 分類）、専門共通科目（4 分類）、専門コース科目（14 分類）の 5 群 34 分類の分野別データとして集計された。

アンケート回答数（延べ人数）は、1 年生 3,741 人、2 年生 2,994 人、3 年生 1,665 人、4 年生 554 人、無回答 194 人の計 9,148 人であった。昨年度の「後期」に実施した昨年度と比較して 1,680 人が増加している。

(2) 学科目別の評価

① 全体の傾向

専門科目（79 科目）について過去 5 年間における各項目の平均値を並べた（左から平成 18 年度→19 年度→20 年度→21 年度→22 年度→23 年度）。前年度よりも上昇したものに△印を、低下したものに▼印を、変化がなかったものに□印を付けた。なお、「2-2. 授業難易度」と「2-3. 授業進度」の 2 項目は数値が 3 の回答が適切であると判断されるものであるため、3 に近づく方向を「上昇」とした。なお、参考のために、本年度における大学全体の平均値も付記してある。

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H23 全体
1-1. 授業への出席状況	4.26 →▼	4.18 →△	4.33 →▼	4.31 →▼	4.28 →△	4.37	4.52
1-2. ノート・メモをとる	3.64 →△	3.72 →△	3.74 →△	3.81 →▼	3.74 →△	3.92	3.98
1-3. 予習・復習	2.66 →△	2.75 →▼	2.66 →△	2.68 →△	2.89 →△	3.04	3.09
2-1. 狙いの明確さ	4.11 →▼	4.04 →▼	3.94 →▼	3.92 →△	3.99 →△	4.00	4.03
2-2. 授業難易度(3 が最善)	3.47 →△	3.45 →▼	3.46 →△	3.44 →▼	3.45 →▼	3.53	3.48
2-3. 授業進度(3 が最善)	3.18 →△	3.17 →▼	3.21 →△	3.19 →▼	3.21 →▼	3.28	3.25
2-4. 説明のわかりやすさ	3.80 →▼	3.78 →▼	3.67 →△	3.71 →△	3.76 →▼	3.72	3.81
2-5. 聞き取りやすさ	4.09 →▼	4.01 →▼	3.92 →△	3.93 →□	3.93 →△	3.95	4.03
2-6. 教材の効果	3.97 →△	3.98 →▼	3.81 →△	3.84 →△	3.99 →▼	3.98	3.96
2-7. 読み取りやすさ	3.89 →▼	3.82 →▼	3.70 →△	3.79 →△	3.96 →▼	3.93	3.93
2-8. 教室の雰囲気	4.14 →▼	4.10 →▼	4.04 →□	4.04 →△	4.08 →△	4.09	4.09
2-9. 理解度	3.76 →□	3.76 →▼	3.63 →△	3.66 →△	3.75 →▼	3.72	3.78
2-10. 知識・技術の習得	3.81 →□	3.81 →▼	3.67 →△	3.68 →△	3.79 →▼	3.77	3.81
2-11. 見方・考え方の深まり	3.78 →△	3.83 →▼	3.66 →△	3.68 →△	3.81 →▼	3.79	3.73
3. 満足度	3.92 →▼	3.89 →▼	3.77 →△	3.79 →△	3.87 →▼	3.86	3.92

専門科目の平均値は、全体として昨年度と同じ水準であった。15 項目のうち 6 項目について昨年度より平均値が上昇した。その一方で、9 項目については昨年度よりも低下しものの、その差は僅かであった。特に、「3. 満足度」については平成 18 年度から低下傾向が続き、昨年度になって大幅に改善した。本年度は昨年度より若干低下したが、平成 20 年度と平成 21 年度よりも高い水準にある。しかし、大学全体の平均値との比較では、15 項目のうち 11 項目で下回った。「3. 満足度」でも若干低く、さらに改善の余地があることを示している。

② 学生の受講姿勢

1-1、1-2、1-3 の 3 項目からは学生が授業に臨む様子がうかがえる。「1-1. 授業への出席状況」の平均値は 4.0 を超え、全体としては「80 %以上の授業に出席している」ことを示す。昨年度よりも大幅に改善した。また、「1-2. ノート・メモをとる」と「1-3. 予習・復習」についても上昇した。これらは、学生側で、その受講姿勢を顕著に改善させたことを表している。

③ 授業の設計と技術・運営

2-1、2-2、2-3 の 3 項目は授業の設計に関するものである。「2-1. 狙いの明確さ」の平均値は平成 18 年度をピークに低下傾向が続いていたが、昨年度から上昇し、本年度は 4.0 を超えた。その一方で、「2-2. 授業難易度」と「2-3. 授業進度」については平均値が低下している。

次に、授業の技術・運営についての 2-4 から 2-8 までの 5 項目のうち、「2-5. 聞き取りやすさ」と「2-8. 教室の雰囲気」の 2 項目についての平均値は昨年度よりも上昇したが、それ以外の 3 項目で平均値が低下している。それでも、大学全体との比較では、「2-6. 教材の効果」で平均値を上回っており、「2-7. 読み取りやすさ」と「2-8. 教室の雰囲気」でも同じ平均値であった。

④ 学習の成果

2-9、2-10、2-11 は学習の成果についての項目である。3 項目とも平均値で昨年度よりも低下した。しかし、その差は僅かであった。授業の総合的な評価となる「3. 満足度」では、平成 18 年度から低下傾向が続いたが、平成 21 年度から改善に転じている。本年度は昨年度とほぼ同じ水準であった。

(3) 学部設問項目の評価

学部設問項目として、本年度もこれまで同様に、「授業の開始時間・終了時間」、「出欠席管理」、「授業中の私語」の 3 項目を設けた。学部設問項目について、過去 4 年間における各項目の平均値を並べた(左から平成 19 年度→20 年度→21 年度→22 年度→23 年度)。

	H19	H20	H21	H22	H23
6-1. 授業の開始・終了時間					
専任教員	4.41	→△ 4.46	→▼ 4.45	→△ 4.47	→▼ 4.44
講師(非常勤)	4.38	→△ 4.43	→▼ 4.41	→▼ 4.40	→△ 4.42

6-2. 出欠席管理

専任教員	4.48 →△ 4.50 →▼ 4.43 →△ 4.49 →▼ 4.46
講師(非常勤)	4.48 →△ 4.52 →▼ 4.48 →□ 4.48 →▼ 4.47

6-3. 授業中の私語

専任教員	3.99 →△ 4.08 →▼ 4.06 →▼ 4.03 →□ 4.03
講師(非常勤)	3.78 →▼ 3.73 →△ 3.76 →□ 3.76 →▼ 3.72

授業の開始・終了時間と出欠席管理については、若干の変化はあるが、継続的に高い平均値を維持しており、これらが定着していることを表している。授業中の私語については、専任教員の場合は低下傾向が続いたが、本年度は昨年度から変化はなかった。さらに、講師(非常勤)の場合には平均値が低いうえ、昨年度よりも低下していることから、授業中の私語への対策が進んでいないことが分かる

(4) 教員所属別の評価

専任教員の科目(99科目)と講師(非常勤)の科目(143科目)について、各項目の昨年度と本年度の平均値を並べた。

	専任教員	講師(非常勤)
1-1. 学生の出席状況	(4.42 →△ 4.52 / 4.46 →□ 4.46)	
1-2. ノート・メモ	(3.98 →△ 4.08 / 4.04 →▼ 4.01)	
1-3. 予習・復習	(3.21 →△ 3.31 / 3.28 →△ 3.31)	
2-1. 狙いの明確さ	(4.14 →▼ 4.12 / 4.12 →▼ 4.05)	
2-2. 授業難易度(3が最善)	(3.42 →▼ 3.46 / 3.45 →▼ 3.46)	
2-3. 授業進度(3が最善)	(3.23 →▼ 3.28 / 3.25 →□ 3.25)	
2-4. 説明のわかりやすさ	(3.90 →▼ 3.87 / 3.93 →▼ 3.84)	
2-5. 聞き取りやすさ	(4.09 →▼ 4.06 / 4.12 →▼ 4.04)	
2-6. 教材の効果	(4.08 →▼ 4.06 / 4.05 →▼ 3.98)	
2-7. 読み取りやすさ	(4.08 →▼ 4.04 / 4.05 →▼ 3.96)	
2-8. 教室の雰囲気	(4.18 →△ 4.19 / 4.15 →▼ 4.08)	
2-9. 理解度	(3.91 →▼ 3.90 / 3.95 →▼ 3.88)	
2-10. 知識・技術の習得	(3.92 →□ 3.92 / 3.94 →▼ 3.88)	
2-11. 見方・考え方の深まり	(3.85 →△ 3.90 / 3.87 →▼ 3.79)	
3. 満足度	(3.98 →□ 3.98 / 4.05 →▼ 4.02)	

専任教員については、「3. 満足度」を含め、全体として昨年度と同じ水準であった。これに対して、講師(非常勤)については、15項目のうち12項目で昨年度より平均値が低下している。専任教員と講師(非常勤)との比較では、15項目のうち、「1-3. 予習・復習」「2-2. 授業難易度」「2-3. 授業進度」「3. 満足度」の4項目を除いて、平均値で講師(非常勤)より

も専任教員の方が高く、専任教員が優れていた。これは昨年度までの傾向とは全く正反対のものであった。

(5) 分野別の評価

① 相互の比較

英語群 (79 科目)、地域言語群 (59 科目)、基礎科目群 (30 科目)、専門共通科目 (24 科目)、専門コース科目 (47 科目) の 5 群について、相互間で比較した。最も平均値が高いものに◎印を付けた。これに続いて○印、□印、■印の順とし、最も平均値が低いものが●印である。平均値において、地域言語群の授業が突出して高く、これに基礎科目群が次ぐ。その後に英語群と専門コース科目が続き、専門共通科目が最も低い。昨年度と比較すると、基礎科目群の授業で平均値が上昇し、英語群が後退した。

	英語群	地域言語群	基礎科目群	専門共通科目	専門コース科目
1-1. 学生の出席状況	○ 4.55	□ 4.46	◎ 4.66	■ 4.44	● 4.28
1-2. ノート・メモ	○ 3.95	◎ 4.38	○ 3.92	■ 3.90	● 3.86
1-3. 予習・復習	○ 3.48	◎ 3.50	■ 3.10	● 2.90	□ 3.24
2-1. 狙いの明確さ	■ 4.01	◎ 4.26	○ 4.12	● 3.85	□ 4.02
2-2. 授業難易度	□ 3.46	◎ 3.41	■ 3.51	● 3.65	○ 3.44
2-3. 授業進度	□ 3.29	◎ 3.19	● 3.39	■ 3.36	○ 3.27
2-4. 説明のわかりやすさ	■ 3.78	◎ 4.06	□ 3.84	● 3.50	○ 3.85
2-5. 聞き取りやすさ	□ 4.03	◎ 4.19	○ 4.04	● 3.75	■ 4.02
2-6. 教材の効果	■ 3.96	◎ 4.13	○ 4.04	● 3.78	○ 4.04
2-7. 読み取りやすさ	■ 3.95	◎ 4.11	○ 4.05	● 3.72	□ 3.98
2-8. 教室の雰囲気	○ 4.11	◎ 4.20	■ 4.04	● 4.00	□ 4.07
2-9. 理解度	○ 3.88	◎ 4.06	■ 3.84	● 3.53	□ 3.85
2-10. 知識・技術の習得	□ 3.86	◎ 4.06	○ 3.92	● 3.57	■ 3.82
2-11. 考え方の深まり	■ 3.76	◎ 3.99	□ 3.79	■ 3.59	○ 3.90
3. 満足度	■ 3.94	◎ 4.24	○ 3.96	● 3.67	□ 3.95

② 英語群

「3. 満足度」で大学全体の平均値を上回った。しかし、大学全体の外国語科目の平均値との比較では、「1-3. 予習・復習」の 1 項目で上回っただけであり、全体として劣っている。昨年度は 5 項目で上回っていたことを勘案すると、英語群の授業での評価の低下が目立つ。

③ 地域言語群

大学全体の外国語科目の平均値との比較では、「1-1. 学生の出席状況」と「2-2. 授業難易度」の 2 項目を除いて、15 項目のうち 13 項目で上回っており、極めて評価が高い。特に、「3. 満足度」は 4.24 と優れた結果をだした。地域言語群は学部の特色の一つでもある

が、その授業についても評価が最も高いといえる。

④ 基礎科目群

大学全体の教養科目・総合教育科目の平均値との比較では、「2-2. 授業難易度」「2-3. 授業進度」「2-8. 教室の雰囲気」の3項目を除いて、15項目のうち12項目で上回っている。さらに、15項目のうち6項目で、平均値が4.0を超えた。「3. 満足度」でも大学全体の平均値よりも高い。これらは、基礎科目群の授業が充実していることを裏付けている。

⑤ 専門共通科目群

専門共通科目の平均値は、15項目のうち11項目で他の4群よりも劣っている。「3. 満足度」についても、大学全体の平均値を大幅に下回った。この傾向は継続的なものとなっており、大いに懸念される点である。

⑥ 専門コース科目

専門コース科目の授業については、15項目のうち5項目で4.0を超えた。「3. 満足度」でも大学全体の平均値を上回っている。特に、専門コース科目については、履修学年別ではなく、科目の配当されているコースと学生の所属の2点を考慮して集計を行ってきた。農業総合コースを除き、国際協力（6科目）、国際経済（9科目）、国際政治（10科目）、国際文化（15科目）、国際観光（5科目）の5コースの各平均値を比較して、最も高いものに◎印を付けた。これに続いて○印、□印、■印の順とし、最も平均値が低いものが●印である。なお、農業総合コースは本年度設置されたばかりのため、参考として付記した。

	国際協力	国際経済	国際政治	国際文化	国際観光	(参考) 農業総合
1-1.	□ 4.38	○ 4.39	■ 4.32	● 4.27	◎ 4.41	4.51
1-2.	□ 3.87	○ 3.95	■ 3.79	● 3.74	◎ 4.71	4.47
1-3.	○ 3.27	□ 3.10	■ 3.07	■ 3.07	◎ 3.30	3.25
2-1.	■ 3.97	■ 3.97	○ 4.08	□ 3.99	◎ 4.44	4.73
2-2.	● 3.72	■ 3.56	□ 3.38	○ 3.37	◎ 3.33	3.10
2-3.	● 3.27	○ 3.21	■ 3.23	○ 3.21	◎ 3.19	3.07
2-4.	● 3.64	■ 3.71	○ 3.94	□ 3.78	◎ 4.23	4.73
2-5.	■ 3.99	● 3.94	○ 4.04	□ 4.01	◎ 4.32	4.83
2-6.	● 4.03	■ 4.05	□ 4.07	◎ 4.10	◎ 4.10	4.72
2-7.	● 3.94	■ 3.95	□ 4.05	○ 4.07	◎ 4.22	4.57
2-8.	● 3.98	□ 4.13	■ 4.07	○ 4.08	◎ 4.54	4.75
2-9.	● 3.60	■ 3.67	□ 3.86	○ 3.88	◎ 4.22	4.61
2-10.	■ 3.79	● 3.73	□ 3.85	○ 3.87	◎ 4.16	4.72
2-11.	■ 3.82	● 3.75	○ 3.90	○ 3.90	◎ 4.10	4.80
3.	■ 3.81	■ 3.81	○ 4.03	□ 3.95	◎ 4.28	4.42

専門コース科目相互間の平均値の比較では、全体として国際観光コースの授業が最も優れている。15 項目のすべてにおいて国際観光コースで平均値が最も高い。これに続いたのが、国際文化コースと国際政治コースであった。これらと比較して、国際協力コースと国際経済コースは平均値が低い。昨年度は国際文化コースの授業が最も平均値が低かったが、本年度になって大幅に上昇している。これとは対照的に、国際協力コースは 15 項目のうち 7 項目で平均値が最も低い結果となった。

この傾向は、「3. 満足度」の平均値にも表れている。国際観光コースは 4.28 と極めて高い。これに国際政治コースと国際文化コースが続く。国際協力コースと国際経済コースについては、大学全体の平均値よりも低い。

(6) 評価と課題

本年度の授業アンケートの結果は、総じて昨年度と同じ水準であった。平成 18 年度から低下傾向が続いていたが、昨年度から改善に転じて、本年度はその水準を維持できたといえる。しかし、大学全体の平均値との比較では、若干劣る部分があり、まだ改善の余地が大きい。

専門科目では、学生側で受講姿勢が顕著に改善された。また、教材は効果的なものとなっており、聞き取りやすく、教室内の雰囲気も改善されてきた。それでも、教員側で、授業の設計と技術・運営の改善にむけた取り組みで十分な効果が現れたとはいえない。さらなる創意工夫が要求される。

学部設問項目の結果から、授業の開始・終了時間と出欠席管理が定着していることは明らかである。授業中の私語については改善が進んでいない。また、専任教員と講師(非常勤)との比較では、専任教員の方が優れていた。これは昨年度までの傾向とは全く正反対のもので、注目される。

分野相互間における平均値の比較では、地域言語群の授業が突出して高く、これに基礎科目群が続いている。その後、英語群と専門コース科目が続く。専門共通科目が最も低い。特に、地域言語群は学部の特色の一つでもあるが、その授業の満足度は高い。これに対して、本年度は英語群の授業で評価の低下が目立っており、今後注視する必要がある。さらに重大な問題として、専門共通科目では満足度を含めて全体として平均値が低い状況が定着してしまっており、その原因の究明が欠かせない。

専門コース科目相互間の比較では、全体として国際観光コースの授業で評価が最も高い。これは昨年度と同じ傾向である。その後、国際文化コース、国際政治コース、国際経済コース、国際協力コースの順で続く。昨年度との大きな違いとして、国際文化コースの授業で大幅に改善されたことは特筆される。授業アンケートの結果から明らかになった問題を真摯に受け止め、その解決のために学部全体で取り組みたい。昨年度の授業アンケートで問題となった授業中の私語について、本年度は、学部独自の「教員相互間の授業見学」で中心的なテーマとして取り上げて、その結果をもとに専任教員全員参加による「FD 研究会」を開催するなど、実践的な取り組みに挑んだ。これらの取り組みの効果が早期に現れることを期待したい。さらに今後も、授業アンケートの結果を踏まえて、多様な FD 活動を一体的に推進して、授業の改善に結び付けたい。

6. 教養教育科目

(1) 講義等科目

本節で対象とする教養教育科目は、1～10群および12群の講義科目である。本節では、これらを便宜的に教養科目と略記する。教養科目で今年度アンケートを実施したのは104科目であった（昨年度は102科目実施）。ここでは、与えられたデータに基づいて教養科目の結果の概要を述べ、幾つかコメントをしておきたい。

① 教養科目全体の特徴——5学部の専門科目との比較より

まず、教養科目全体(P. 11)の特徴から見ていこう。その際、同じ講義形式の科目でデータ数が比較的大きい商・政経・外国語・工・国際5学部の専門科目の結果(P. 11)と比べながら見ることにする。

学生の受講姿勢

〈出席状況〉は、工学部、外国語学部について3位である。ただ、工学部とは0.1ポイントの差があるが、外国語学部との差は0.01であり、高い出席率であったと言える。

一方、〈ノート・メモ〉は、下から2番目、工学部より上の5位であった。また〈予習・復習〉も、下から2番目、政経学部より上の5位であった。これは、教養科目が、大人数の講義科目が多く、予習を課してもその確認が難しいということも考慮に入れねばならないと考えられる。

授業の内容や進め方

この11項目に関しては、2位のものが7項目、3位のもの3項目、4位が1項目であった。一位の項目はないものの、11項目中7項目が2位であり、相対的に授業の内容や進め方については学生の支持を得ていたと考えられる。

2位であったのは、〈狙いの的確さ〉、〈難易度〉、〈進度〉、〈説明方法〉、〈声の大きさ〉、〈理解しやすさ〉、〈知識・技術が身につく〉の項目であった。〈教材等の効果〉、〈文字・画面〉、〈見方・考え方が深まる〉は、3位であるが、それぞれ2位の学部との差が、0.02、0.01、0.06であった。〈見方・考え方が深まる〉は、やや2位との差が大きいが、〈教材等の効果〉、〈知識・技術が身につく〉では2位と僅差であり、この項目についても比較的学生の支持を得ているといえるのではないか。

他方〈教室内の雰囲気〉は、全体の4位であるが、2位の国際学部との差が0.05、3位の政経学部との差は0.01であり、飛び抜けて劣っているというわけではない。この順位の低さは、教養科目には、比較的受講者数の多い科目が多く、大教室での講義が中心であることが関係していると思われる。しかし、そうした環境の悪さの割には、2、3位の学部との差がさほど小さくなく、相対的に健闘していると言えるのではないか。

この講義規模の問題については最後までもう一度触れる。

満足度

全体の平均値と同じ3.92であり、「順位」は外国語学部に次いで2位であった。3位の国際学部との差は0.06であり、1位の外国語学部の4.09には大きく水をあけら

れているが、ここでも相対的に教養科目は学生からの支持を得ていると言える。

② 教養科目の各群の傾向①(P.5 1)

I.今年度の結果

第1～9群について

10群(日本語の表現)と12群(情報技術)の科目は、授業の規模や形態・必修か否かなどの点で1～9群の科目と異なっているので後に回し、まず1～9群から述べたい。これら各群の名称は次のようになっている。

A系列：1群(人間の探求)・2群(文学・芸術)・3群(身体と運動)

B系列：4群(歴史・民族)・5群(社会のしくみ)・6群(現代社会の変容)

C系列：7群(自然の認識)・8群(技術の発展)・9群(環境と人間)

9つの群は、カリキュラム上、上記のように、A系列(人間)・B系列(社会)・C系列(自然と環境)の3系列にまとめられている。各項目の平均値は、全体として、A系列が高く、B系列がこれに次ぎ、C系列が最も低い傾向が見られた。ただ各系列とも群によってかなりの差が認められるので、ここでは群単位で見ることにする。

学生の受講姿勢や受講動機

〈出席状況〉

この項目はどの群も高く、4点を超えている。ただし、大学全体の平均である4.52を6、8、9群以外の群で下回っている。これは、受講生の数が多い講座が比較的多く、そのため出欠調査をすることが困難なことも一因と考えられる。

〈ノート・メモ〉

この項目は、群によってばらつきが大きい。4群が4.18ときわめて最も高く、次が7群で4.02、その次が1群で3.96である。対して、下位では8群が3.20、9群が3.15となっている。ただし、9群は調査対象となった講座が1講座しかなく、この1講座だけで9群の傾向と言い難いということを付記しておく。近年はパワーポイントを使い、その内容をプリントして配布したり、またブラック・ボードをつかってあらかじめ講義資料を配付する講座も出てきており、この数値の低さがすぐに学生がノート・メモを取ることを怠っているということにはならない。そうした講義形式の変化も考慮する必要がある。

〈予習・復習〉

この項目は全群とも低かった。最も高いポイント上げた5群でも2.68と大学の平均3.09を0.4ポイント以上下回っており、最も低い3群では2.21と0.9ポイント近く大学の平均を下回った。

教養科目は、まずその学問に親しんでもらうことを主眼においた講座も多く、そうした点から特に予習の必要のない講義形式で行っている講座もある。また予習・復習について、教養教育は大教室での講義が多く、仮に予習・復習を課したとしてもその確認が難しく、

その結果予習、復習を課していないとも考えられる。ブラック・ボードを利用して予習・復習を受講生に勧める講座もあり、そうした試みを推進させて、学生に十全な予習・復習を行わせるという方法もある。

授業の内容や進め方

全項目を概観すると、1・2・4・8群の平均点が比較的高い。他方、5・7・9群の平均点は比較的低かった。特に1・2・4・8群は全般的に平均点が高く、1群は5つの項目で教養教育の中で1位、3・4群は1つの項目で1位であった。対して、5・7・9群の数字は全般的に低く、多くの項目で教養教育全体の平均値を下回っていた。ただし先にも述べたが、9群は、調査対象となった講座が1講座しかない。そこで9群については、かならずしも全体的傾向を示しているとは言い難いので、以下の考察においては、参考程度の言及に止めることとする。

〈狙いの的確さ〉の項目では、1群が最も高く4.06であり、8位の7群とは、0.4あまりの差があった（9位は9群3.39）。〈説明方法〉でも1群が3.91で最も高く（1位は9軍4.02）、9位の7群とは0.6の差があった。〈声の大きさ〉でも1位は1群で4.13であり、8位の7群とは0.5ポイント以上の差があった（9位は9群の3.44）。〈教材等の効果〉の項目では、1位は3群と8群で4.02、8位の5群とは0.4の差があった（9位は9群）。〈文字・画面〉では、1位が1群で、8位の5群とは0.4以上の差があった（9位は9群）。〈教室内の雰囲気〉の項目では、1位は4群の4.23、9位は3群の3.55で0.7ポイント近い差があった。〈理解しやすさ〉の項目では、1位がここでも1群で3.76であったが、大学全体の平均が3.78であり、全群で大学の平均を下回ったことになる。〈知識・技術が身につく〉の項目でも1位の1群のポイントが3.78でここでも大学全体の平均値を下回った。〈見方・考え方が深まる〉の項目では、1位が1群で3.86で、8位の7群とは0.5ポイント以上の差があった（9位は9群）。1・2・4・8群のポイントの高いグループとポイントの低い5・7・9群との差は多くの項目で0.4～0.5ポイントあまりの差があり、群による差が目立った。

昨年の調査では、7・8・9群の自然科学系の講座の数値が比較的低かったが、今年度は、8群のがんばりが顕著であった。ただし、昨年度までのアンケートの実施時期が後期であったのに対して、今年度は前期にアンケートが実施されており、当然アンケートの対象になった講座が昨年度のものとは大きく異なると考えられ、単純な比較はできない。しかし、同じ系統の講座でも前年度と比較して数値が大幅に改善されているのであるから、今後授業運営をする上で今年好成績をあげた講座の講義運営方法は、参考になると考えられる。

満足度

上記の結果を反映して、満足度で1群は、4.01と最も高く、次に4群が3.94、2群が3.86と続いた。対して5・7・9群の満足度が低かった。

第10・12群について

以上は1～9群の特徴だったが、最後に、第10群（日本語の表現）と第12群（情報技術）に触れておく。

学生の受講姿勢

〈出席状況〉で10群が4.65、12群が4.64と両群とも高かった。しかし、〈ノート・メモ〉の項目では10群が3.51で他の群と比較しても中位程度の位置であったが、12群が3.14で教養全体の平均を0.5ポイントあまり下回った。これは、コンピューター等を使った実技指導が中心であり、そもそもノート・メモを取らないタイプの授業であることによるものと考えられる。

〈予習・復習〉では、10群が2.59、12群が2.63という数字で他の教養の群と比較では、決して低い数値ではないが、大学全体の平均を両群ともに0.5ポイントあまり下回っていた。ただ、これも、両群とも実技指導的側面が濃い授業であり、予習・復習という作業にそぐわない面を持つ授業であることを考慮する必要があると思われる。

授業の内容や進め方

この項目では、10群、12群とにの平均点が高かった。特に10群では、上で分析した教養科目の1～9群中の1位の群よりも、すべての項目で上回っており、ほとんどの項目で4点台であった。第12群も、10群ほどではないが、高い点数を出しており、11項目中7つの項目で4点台であった。また他の項目もいずれも4点に近い高い値を記録していたが、〈見方・考え方が深まる〉は、他の項目のポイントの高さに較べるとやや低かった。

満足度

10群の満足度は4.36で、5学部中最高の点を上げた外国語学部の4.09を0.3ポイントあまり上回っており、〈ゼミ・外書購読〉に次いで高い数値を出していた。12群も4.01という高いポイントを出しており、両群の学生からの評価の高さを印象づけた。

II.昨年度の結果との比較

昨年、平成22年度の結果と比べた、今年平成23年度の特徴は、これまで比較的下位の数字を出すことの多かった第8群の健闘が目立ったということである。このことについてはすでに言及したが、これまでのアンケートの実施時期が後期であり、今期のみ前期のアンケートの実施であったという実施時期の違いによる開講講座の差を考慮に入れる必要がある。しかし、昨年同様に1～9群の中では1群が最も学生からの評価が高く、また10群の評価の高さも例年通りであることから、学生の評価の高低は、単に人文・社会系か自然科学系かということに因らないということが今回の調査から示されたとも言える。

③ 若干のコメント

I. 教養科目全体の特徴に関して

教養科目の満足度について、5学部と比較すると昨年と同様に外国語学部につき第2位であった（P. 11の数値）。外国語学部との差は平均値にして0.17の開きで、昨年の差が0.22であったので、その差は縮まったと言える。この差は、授業規模の大きさが大きく作用しているものと考えられる。このことは、人数制限をして最大でも一クラス受講者数80名以下に抑えられている10群の講義の平均値が高いことから類推可能である。したがって学生の講義に対する満足度を上げる効果的な手段は、授業規模の縮小が考えられる。

これは毎年要望として書いていることであるが、新入生が大学に入って最初に学ぶ教養教育を質的に充実させることは、大学の今後の死命を決する最重要の課題といえる。それだけに、大学執行部には、講義棟の拡充およびスタッフ面での教養教育担当者の充実に関する計画を速やかに策定するよう、強く望んでおきたい。

II. 教養科目の各群の特徴及びアンケートに関して

他の群と比べ、第10群の受講姿勢を含め各項目の平均点が極めて高いのは、この群の授業が他の講義科目と比べて小規模であること、また学生の提出物に対して添削等を加えて返却するなど、教員と受講生の間での双方向的やりとりがほぼ毎行われていることを反映したものであろう。大学での教育は往々にして教師から学生への一方通行の教育になりがちである。ブラック・ボードが導入され、これを積極的に活用することで教師と学生との間の双方向的やりとりが活発化すれば、教育効果だけでなく、学生の拓殖大学への帰属意識の向上にもつながるものと考えられる。ただ、こうしたシステムの充実もさることながら、1講座あたりの受講生数を減らすことは、きめ細かな教育を行うためには不可欠なことだということを申し添えておく。

学生の満足度に関して、最初に述べたように五学部との比較においては外国語学部に次いで満足度は高い。これは、教養教育に携わる教員が学生の興味・関心を引く講義を高いレベルで実践している結果だと思われる。

今年度は、初めてアンケートが前期に実施された。これはこれまで度々指摘してきたアンケート実施時期の偏りを是正する上で大変意義のあることだと思われる。特に先に指摘したことだが、これまでアンケートの数値の低かった8群が、今回は教養教育の他の群の中でも上位にランクされ、満足度では、8群は、1～9群の中で第3位にあることがわかった。これは、これまで前期開講科目ゆえにアンケートの実施されていなかった科目の中に学生の支持を多く集めている科目があるということである。それは、教員がよりよい授業を学生に提供するための大きなヒントを与えてくれるはずだ。ただ、ここでの分析は群ごとの平均値を見るもので、全般的傾向は把握できるが、学生がどのような講義に関心を持ち満足するかをより詳細に知ることは出来ない。今回大きな変動の見られた8群の講座については、大雑把な傾向だけでなく、個々の講座のより詳細な分析が望まれる。そうすることで比較的學生に敬遠されがちであった講座でも、学生の興味・関心を引き起こし、その満足度を向上させることが可能になるものと思われる。

アンケートの実施時期については大きな改善が見られたが、アンケートが実施されるのは、全ての講義が終わる以前であり、また途中で受講を何らかの理由で断念した学生からはアンケートをとることが出来ない。教員にとっては、講義全体が終わったところでの学生の評価が聞けないということ、さらにどのような学生が講義への出席を断念するのかが判らないというような問題点もあるという指摘が教員から提出されていることをここに記しておく。

学生の講義への満足度を上げるには、講義の〈理解しやすさ〉あるいは〈説明方法〉〈知識・技術が身につく〉〈見方・考え方が深まる〉という項目の評価を上げる必要がある。こうした項目は、講義を行う教員の講義方法やその内容に左右されるだけでなく、学生の基礎学力も大きく影響を与えているものとも思われる。

これは、昨年も指摘したことだが、昨今マスコミ等でも話題にされていることでもあるが、基礎学力の充実を図る、いわゆるリメディアル科目の設置の必要性はこうした結果からも推測可能であり、本学においても早急に対策を講じる必要がある。

ここ年来の報告において度々指摘してきたことだが、今年度も受講者数の問題について触れておく。

今年度は、多くのアンケート項目において受講者数の増加に反比例して、数値が下がっている（P.14）。満足度においては、受講者数100以下の科目の満足度が3.97であるのに対して、301人以上で3.40となっている。実に0.57ポイントもの差がある。これは教育の機会均等という観点から考えても大きな問題と考えられる。受講者数の多い講義を取らねばならない学生は、受講者数の少ない講義を取る学生と比べて様々な点で不利な状況で勉学を強いられているということである。

また、昨年に較べると100人以下の講義で3.99→3.97、101～200人の講義が昨年度3.75→3.73、201人～300人の講義で3.66→3.57、301人以上で3.69→3.40といずれの規模の講義でも満足度が下がっている。今年度はアンケートの実施時期が昨年と異なるため、単純な比較はできないが、人数の多い講義ほど満足度の低下率が大きくなっている。昨今学生の学習能力の低下等が指摘されているが、比較的少人数の講義では、満足度の低下が微少なものに止まっている。これは、仮に学生の学習能力の低下が原因であったとしても、少ない受講者の講義では、学生の様子を見ながら、その理解度に合わせた講義が可能であり、それが満足度の低下を微細なものに止めることができた理由として推測可能である。この推測が妥当かは即断できないが、いずれにしろ、受講者数が少なければ少ないほど、きめ細かな講義運営が可能になるはずである。その点でも、少人数教育の実現は緊詰の課題と考えられる。

(2) 外国語科目

1. アンケートの実施状況

本年度の「授業改善のためのアンケート」は6月27日から7月12日に行われた。ここで「外国語科目」とは、商、政経学部、外国語学部の12カ国語の授業を意味する。言語の内訳は、英語、アラビア語、ブラジル・ポルトガル語、中国語、フランス語、ドイツ語、韓国語、インドネシア・マレーシア語、インド・パキスタン語（実施科目なし）、ロシア語、スペイン語、日本語である。

2. 項目別における集計結果（設問項目別に昨年度と比較）

I-1 「学生の出席状況」

昨年の平均値が4.51であったのに対し、今年は4.56と0.05の上昇となっている。ここ五年間で最高の値である。必修科目であること、またほぼ全ての言語で毎回出席を取っていることが要因として考えられる。

I-2 「ノート・メモ」

外国語科目は4.14となり、昨年の平均値4.10から0.04の上昇となった。昨年と同様、今年も全体の平均値（3.98）を上回っている。

I-3 「予習・復習」

今年度の外国語科目の値は3.29となっており、昨年の3.19から0.10の上昇となっている。全体の平均値3.09と比較しても0.2高い。5年間毎年値が上昇しており、良い傾向にあると言える。

II-1 「狙いの明確さ」

全体の平均値4.03に対し、外国語科目の平均値は4.09となっている。昨年は全体が4.06、外国語科目は4.09である。全体の値が0.03下がったのに対し、外国語科目は現状を維持した状態となっている。

II-4 「説明方法」

外国語科目の平均値は3.91で、全体の平均値3.81に対し0.1高い評価を受けている。ただし昨年の外国語科目の平均値3.94から0.03下がっており、改善の必要がある。全体の平均値についても3.85から0.04下がる結果となった。

II-5 「声の大きさ」

全体の平均値4.03に対し、外国語科目の平均値4.14となっており、0.11上回っている。ただし昨年の外国語科目平均値は4.18であり、0.04下がっている。全体の平均値も昨年の4.10から0.07低下する結果となった。外国語学習にとって、「声の大きさ」は発音練習等で重要な要素となるので、改善が必要である。

II-6 「教材などの効果」

外国語科目の平均値は3.97で、全体の平均値3.96に対し0.01上回る結果となった。昨年の外国語科目の平均値は4.02、全体の平均値は3.99であったため、両者とも昨年より評価が低下した。

II-7 「文字・画面」

外国語科目の平均値は 3.98、全体の平均値は 3.93 となり、外国語科目が 0.05 上回った。昨年の外国語科目の平均値は 4.03、全体の平均値が 3.96 であったため、両者とも昨年を下回ることになった。

II-8 「教室内の雰囲気」

外国語科目の平均値は 4.17 で、全体の平均値 4.09 を 0.08 上回った。ただし昨年の値（外国語科目 4.18、全体 4.13）を下回っている。

II-9 「理解しやすさ」

外国語科目の平均値 が 3.91、全体の平均値 3.78 で、0.13 と外国語科目が大きく上回っている。初めて学習する外国語において、理解しやすさが全体値を上回るのは大変良い傾向と言える。昨年の外国語科目の平均値が 3.90 で全体の平均値は 3.82 であった。全体の平均値が昨年を下回る中、外国語科目は評価を上げたことになる。

II-10 「知識・技術が身につく」

外国語科目の平均値は 3.88、全体の平均値 3.81 となった。昨年の外国語科目の平均値が 3.86、昨年の全体の平均値 3.83 であった。昨年と比較して全体の平均値が下がったのに対し、外国語科目の値は上昇した。

II-11 「見方・考え方が深まる」

外国語科目の平均値が 3.73、全体の平均値も 3.73 となり、同じ値となった。昨年は全体の平均値が 3.75、外国語科目が 3.70 で外国語科目の値が下回っていたが、今年は全体の平均値に並ぶことになった。

III 「満足度」

全体の平均値 3.92 に対し、外国語科目の平均値は 4.00 となり、0.08 上回った。ただし昨年の値（外国語科目 4.02、全体 3.95）を下回る結果となった。

3. 本年度の集計結果の評価について

- ①.出席状況は 4.56 と高い水準を維持しており、今後もこの傾向が維持されることが望まれる。
- ②.「ノート・メモ」、「予習・復習」、「理解しやすさ」、「知識・技術が身につく」、「見方・考え方が深まる」の項目が昨年の値を上回った。「狙いの明確さ」は昨年と同値であった。
- ③.「声の大きさ」、「教材などの効果」、「教室内の雰囲気」、「文字・画面」が、昨年度の値を下回った。
- ④.「満足度」については、2年連続低下していた値が昨年上昇に転じたものの、今年度は再び前年度を下回る結果となった。
- ⑤.昨年度はほぼすべての項目で、一昨年度の値を上回った。今年度は前年度を上回った項目と下回った項目がほぼ同数となり、昨年度のような全体的な上昇は見られなかった。ただしここ5年の傾向を見れば、全般的に値は上昇しており、必ずしも悲観的な状況ではないと言える。

4. 課題

- ①.「声の大きさ」、「教材などの効果」、「教室内の雰囲気」、「文字・画面」の値が下がった原因の一つに、第二外国語のクラスあたりの受講者数の問題が想定される。一クラス数名の科目もあれば、ドイツ語のように一クラス 50 名近い語学も存在する。ドイツ語のクラスでは、人数設定に関し改善の要望が多数寄せられた。受講者数の動向を踏まえ、言語間でクラス数を柔軟に調整するシステムが必要である。
- ②.外国語科目については、必然的に同科目のクラスが複数設定される。しかしながら採点・評価について、特定の教員の採点が厳しく、クラス間で不公平が生じているという声が毎年聞かれる。評価システムの均一化について、より具体的な取り組みが必要と思われる。
- ③.サンプル数の違いがあるため一概には言えないが、英語と第二外国語の評価に差が認められる。英語に対する評価の向上が、外国語科目全体に対する評価の向上につながる。それ故、英語科目の授業改善への一層の取り組みが期待される。あるいは、英語と第二外国語はそれぞれ異なるシステムで授業運営がなされているので、二つを分けて評価する必要もあるかと考える。
- ④.昨年度の課題でも「個人研修奨学金」、「長期・短期留学」等のプログラムに関して、授業での周知徹底の必要性が説かれた。しかしながら、応募者が規定数に満たず中止となった海外実習が、今年も複数存在した。これは少数の専任教員と、多数講師(非常勤)からなる外国語科目の構造的問題とも言える。「個人研修奨学金」や「長期・短期留学」に関する相談を講師(非常勤)が受けるのは、担当外の業務となるので難しい。それ故、本学独自のプログラムに関する学生からの相談を、講師(非常勤)から専任教員へとスムーズに伝達するシステムを構築する必要がある。

(3) スポーツ・トレーニング科目

(A) 評価

I. 受講する姿勢や動機について

I-1 「学生の出席状況」

平均値 4.58 (平成 22 年度調査は 4.51・平成 21 年度調査は 4.47・平成 20 年度 4.53・平成 19 年度 4.47)。出席率 80 %以上と答えた学生は 90 %であった。平成 22 年度は 88 %、平成 21 年度調査では 88 %、平成 20 年度調査では 90 %、平成 19 年度 88%、平成 18 年度 89%と出席状況は、平成 21 年度・22 年度より向上し、90 %に達した。

I-2 「健康・運動への関心」

平均値 4.15 (平成 22 年度調査 4.20・平成 21 年度 4.08・平成 20 年度 4.11・平成 19 年度 4.12)。平成 23 年度は「強く関心を持つが 45.21 %、そう思うが 33.28 %」で約 78%。平成 22 年度は約 80 %である。過去 4 年間は 75 %以上の学生が「健康・運動」に関心を持っていると回答したが、昨年に引き続き今回も増加した。

I-3 「積極的参加」

平均値 4.30 (平成 22 年度調査は 4.35・平成 21 年度 4.28・平成 20 年度 4.21・平成 19 年度 4.21)。平成 23 年度は「強くそう思う 53.83 %、そう思うが 33.22 %」の約 87%。平成 22 年度はで積極的態度計の学生は 87 %。比率は昨年と同様の数値になった。

I-4 「受講動機の回答比率」

必修科目であるのでこの項目調査は適当でない。

II. 授業の内容や進め方について

II-1 「狙いの明確さ」

平均値 4.25 (平成 22 年度調査は 4.33・平成 21 年度 4.23・平成 20 年度調査 4.21・平成 19 年度 4.30)。平成 23 年度は「強くそう思う 44.56 %、そう思う 39.53 %」の約 84 %。平成 22 年度の 84 %と同様の数値であった。平成 21 年度も同様に 84%であった。前年に引き続き達成目標値を大きく超えた。

II-2 「難易度」

平均値 3.17 (平成 22 年度調査は 3.26・平成 21 年 3.20・平成 20 年度調査は 3.20・平成 19 年度 3.22)。平成 23 年度は「ちょうど良い 71.76 %」平成 22 年度より大幅に向上した。

II-3 「進度」

平均値 3.06 (平成 22 年度調査は 3.19・平成 21 年度 3.14・平成 20 年度調査は 3.12・平成 19 年度 3.17)。平成 23 年度は「ちょうど良い 87 %」で、平成 20 年度まではよい傾向で改善されており、平成 21 年度は過去最低を記録が、平成 22 年度より改善され、平成 23 年度は大幅に数値が向上した。

II-4 「説明方法・分かりやすさ」

平均値 4.11 (平成 22 年度調査は 4.23・平成 21 年度 4.02・平成 20 年度 4.08・平成 19

年度 4.17)。平成 23 年度は「強くそう思う 40.60 %、そう思う 30.37 %」の約 71 %。平成 22 年度は約 77 %、平成 21 は約 69 %、20 年度 71 %と比較するとほぼ横ばい状態である。28 %の学生は、どちらとも言えないと回答しており、この結果を大局的に見ると、まだまだ教員自身の改善努力が必要な項目になっている。良い変化の兆しは見えてきている。

II-5 「話し方や声の聞き取りやすさ」

平均値 4.38 (平成 22 年度調査は 4.45・平成 21 年度 4.36・平成 20 年度調査 4.41・平成 19 年度 4.42)。平成 23 年度は「強くそう思う 58.77 %、そう思う 27.43 %」の約 86 %である。平成 22 年度は約 89 %である。昨年度は前年度より上昇傾向が見えたが、平成 23 年度はやや下降した。

II-6 「学生とのコミュニケーション」

平均値 4.32 (平成 22 年度調査は 4.44・平成 21 年度 4.29・平成 20 年度 4.30・平成 19 年度 4.30)。平成 23 年度は「強くそう思う 48.33%、そう思う 33.61 %」の約 82 %である。平成 22 年度は約 86 %の学生が評価している。前々年度は下降傾向を示し、前年度は大きく向上したが、残念ながら今年度は後退した。目標値もクリアできなかった。

II-7 「リーダーシップ」

平均値 4.36 (平成 22 年度調査は 4.46・平成 21 年度 4.32・平成 20 年度 4.32・平成 19 年度 4.38)。平成 23 年度は「強くそう思う 52.18 %、そう思う 32.38 %」の約 85 %である。平成 17 年度、18 年度、20 年度の約 83 %は超えていたが、19 年度の 86 %、前年度の 87 %には及ばなかった。「民主的・協調的リーダーシップ」は指導スキルに欠かせないものであるため今後も向上を目指す必要がある。目標値は 88%と設定している。

II-8 「授業の雰囲気」

平均値 4.37 (平成 22 年度調査は 4.46・平成 21 年度調査は 4.34・平成 20 年度 4.36・平成 19 年度 4.42)。平成 23 年度は「強くそう思う 51.76 %、そう思う 33.84 %」の約 86 %。平成 22 年度も約 86 %。過去と比較しても同じ比率傾向を示している。この項目に影響を与える要素は、学生間の集団力学、施設設備、備品などがあると考えられるが、教員の指導スキルが最も影響する項目でもある。目標値は 90%。まだ達成できない。

II-9 「理解しやすさ」

平均値 4.37 (平成 22 年度調査は 4.41・平成 21 年度 4.29・平成 20 年度 4.30・平成 19 年度 4.35)。平成 23 年度は「強くそう思う 51.00 %、そう思う 33.44 %」の約 84 %。平成 22 年度は約 86 %であったが、やや下降した。達成目標値の 85%にわずかに及ばなかった。

II-10 「知識・技術が身につく」

平均値 4.26 (平成 22 年度調査は 4.28・平成 21 年度 4.13・平成 20 年度 4.16・平成 19 年度 4.20)。平成 23 年度は「強くそう思う 42.14 %、そう思う 40.13 %」の約 82 %。平成 22 年度も約 82 %であった。前回同様、非常に良い数値である。重要な項目であるのでさらに何が有用な知識技術であるのか研究する必要がある。目標値に達成している。継続していきたい。

II-11 「健康・体力維持に役立つ」

平均値 4.36（平成 22 年度調査は 4.38・平成 21 年度 4.22・平成 20 年度調査 4.19・平成 19 年度 4.27）。平成 23 年度は「強くそう思う 51.00 %、そう思う 33.61 %」の約 85 %。平成 22 年度が約 86 %であった。この 5 年間を見ると約 80 %前後の評価であったが、昨年度・今年度と数値が向上し達成目標値 85 %を 2 年連続クリアした。

III. 総合的に見て、この授業に満足していますか

平均値 4.39（平成 22 年度調査は 4.46・平成 21 年度 4.34・平成 20 年度 4.35・平成 19 年度 4.36）。平成 23 年度は「強くそう思う 55.48 %、そう思う 30.19 %」の約 86 %である。過去 5 年間は約 85 %位の同じ傾向である。達成目標値 90 %に近い数値が今回の調査でも得られているが、今だに達成目標値はクリアしていない。

IV. スポーツ・トレーニング用の独自の設問項目

IV-1 「希望種目」

平均値 4.15（平成 22 年度調査は 4.19・平成 21 年度 4.09・平成 20 年度 4.22・平成 19 年度 4.08）。この調査項目に関しては、1 年生の授業は必修科目、2 年時以上は自由科目であるので、データが混在し正しい評価は出来ないと思われる。恐らく、1 年生は、受講時間、種目選択に学生個人の意思があまり反映されないから「単位取得のため」となり、2 年次以上の学生は必修ではないため、動機の特定は困難となる。しかし「スポーツ種目」はなるべく希望種目になるように出来得る限りの配慮を考えたい。

IV-2 「時間帯」

平均値 3.93（平成 22 年度調査は 3.97・平成 21 年度 3.80・平成 20 年度 3.92・平成 19 年度 3.89）。時間帯は学生の満足を得ていないと考えられる。特に 1 時限目の授業は運動するのに相応しいとは思われない。しかし悪いという訳でもないようである。現在の授業時間設定はやむをえないものであるが今後の改善課題でもある。

IV-3 「次年度の履修希望」

平均値 3.56（平成 22 年度調査は 3.60・平成 21 年度 3.51・平成 20 年度 3.54・平成 19 年度 3.56）。1 年次終了して 2 年時以降に履修したい学生の比率が、平成 17 年度から徐々に低下していたが、昨年度、今年度と若干持ち直した。「希望種目」「時間帯」の設問と同様に 1 年生のみに限定して調査する必要を感じる。

(B) 課題

- ①. 平成 17 年度達成値から、平成 18 年度以降の「達成する目標値」を設定した（表 1 参照）。この数値は努力目標であり義務目標ではない。また数字の根拠となる理論も無い。しかし、「努力目標数値」と考え、時間をかけていくと根拠のある数字を見つけることが出来るであろうという前提のもとで以下を記す。表 1 の「希望種目」「時間帯」「次年度履修希望」には「達成目標値」を設定していない。
- ②. 表 1 の達成値はアンケートの調査項目で、「⑤強くそう思う、④そう思う」、と回答した学生の割合である。但し、「難易度」「進度」については、「③ちょうど良い」

と解答した学生の割合である。また、表の項目の「達成・未達成・増減」は、達成目標値を達成した項目は◎印、未達成は×印で表し、そして、今回の調査が前年度に比べて増加した場合は↑、減少した場合は↓、横這いは→で表している。数値は小数点以下四捨五入である。

表 1 「年度別達成値」と「達成目標値」の推移

	調査項目	19年度 達成値	20年度 達成値	21年度 達成値	22年度 達成値	23年度 達成値	達成 目標値	◎達成
I-1	学生出席状況	88%	90%	88%	88%	90%	95%	×↑
I-2	健康・運動関心	75%	77%	77%	80%	78%	80%	×↓
I-3	積極的参加	84%	83%	85%	87%	87%	85%	◎→
II-1	狙いの明確さ	83%	79%	84%	84%	84%	80%	◎→
II-2	難易度	69%	72%	68%	72%	71%	80%	×↓
II-3	進度	82%	85%	81%	85%	87%	85%	◎↑
II-4	説明方法	74%	71%	69%	77%	71%	75%	×↓
II-5	話し方・声の大きさ	87%	89%	86%	89%	86%	87%	×↓
II-6	コミュニケーション	82%	84%	83%	86%	82%	85%	×↓
II-7	教員のリーダーシップ	86%	83%	85%	87%	85%	88%	×↓
II-8	授業の雰囲気	85%	85%	87%	86%	86%	90%	×→
II-9	理解しやすさ	83%	85%	85%	86%	84%	85%	×↓
II-10	知識・技術の習得	79%	77%	79%	82%	82%	80%	◎→
II-11	健康・体力維持	81%	79%	80%	86%	85%	85%	◎↓
III	総合的な満足度	86%	85%	86%	88%	86%	90%	×↓
IV-1	希望種目							
IV-2	時間帯							
IV-3	次年度履修希望							

総括

- ① 「達成目標値」をクリアした項目：5項目
- ② 「達成目標値」にあと1歩の項目：5項目
- ③ 「達成目標値」に一層の努力を要する項目：「学生出席状況」「難易度」「知識・技術の習得」「総合的満足度」の4項目

備考

・平成23年度の努力目標設定

平成23年度は平成22年度より達成目標値をクリアした項目が減少してしまった。教員

が共通意識を持ち、努力次第で未達成項目の達成は可能と考え来年度は頑張りたい。平成 23 年度も「体育教員室」に努力目標として「説明方法を改善しよう」のポスターを掲示した。学生の評価結果としては十分に効果あったと思える。24 年度も引き続き努力していくつもりである。

- ・ 討議のための参考資料として「表 2」を作成した。「表 1」の補完として利用できる。

表 2 「各年度の平均値の推移」

	調査項目	18年度 平均値	19年度 平均値	20年度 平均値	21年度 平均値	22年度 平均値	23年度 平均値
I-1	学生出席状況	4.53	4.47	4.53	4.47	4.51	4.58
I-2	健康・運動関心	4.06	4.12	4.11	4.08	4.20	4.15
I-3	積極的参加	4.26	4.21	4.17	4.28	4.35	4.30
II-1	狙いの明確さ	4.14	4.30	4.21	4.23	4.33	4.25
II-2	難易度	3.22	3.22	3.20	3.20	3.26	3.17
II-3	進度	3.12	3.17	3.12	3.14	3.19	3.06
II-4	説明方法	3.98	4.17	4.08	4.02	4.23	4.11
II-5	話し方・声の大きさ	4.37	4.42	4.41	4.36	4.45	4.38
II-6	コミュニケーション	4.24	4.30	4.30	4.29	4.44	4.32
II-7	教員のリーダーシップ	4.31	4.38	4.32	4.32	4.46	4.36
II-8	授業の雰囲気	4.27	4.42	4.36	4.34	4.46	4.37
II-9	理解しやすさ	4.23	4.35	4.30	4.29	4.41	4.37
II-10	知識・技術の習得	4.05	4.20	4.16	4.13	4.28	4.26
II-11	健康・体力維持	4.17	4.27	4.19	4.22	4.38	4.36
III	総合的な満足度	4.27	4.36	4.35	4.34	4.46	4.39
IV-1	希望種目	4.06	4.08	4.22	4.09	4.19	4.15
IV-2	時間帯	3.72	3.89	3.92	3.80	3.97	3.93
IV-3	次年度履修希望	3.61	3.56	3.54	3.51	3.60	3.56

7. 教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目

授業評価の教職課程の科目数は30科目、社会教育主事講座の科目数は0科目、日本語教員養成基礎講座の科目数は3科目が対象であり、全体では33科目であった。「Ⅲの満足度」について、トータルで見ると、昨年度が平均値4.11、本年度が平均値3.99であり、やや減少した。本年度分を5段階評価で見れば、「5」と「4」で73%、「1」と「2」で5.5%となっている。

(1) 教職課程について

I 受講する姿勢や動機について

I-1 教職科目全体での「学生の出席状況」を見ると、平均値は4.47（標準偏差0.27）であり、昨年の4.45（標準偏差0.29）より少し上がり、出席率が90%以上及び80%以上の受講者が圧倒的に多かった。教職科目の履修学生の出席状況は満足できるものと判断できる。

このことは教員免許取得という明確な目標があり、目的意識の高い学生が多いことによると考えられる。しかし、毎年のものであるが、出席が良くない学生も若干見られた。

I-2 「授業内容についてノートやメモをとるか」についての回答は、昨年度は平均値4.28（標準偏差0.48）、本年度は平均値4.20（標準偏差0.43）であり、昨年より少し下がっている。出席状況と同じく、ノートやメモをとる学生が「90%以上」及び「80%以上」の受講者の合計で見ると、昨年には若干及ばないものの79%と高かった。

I-3 「予習・復習」をするかについては、一昨年度は平均値3.08（標準偏差0.46）、昨年度は平均値2.99（標準偏差0.29）、今年度は平均値2.92（標準偏差0.39）と、年々減少傾向にある。学生の半数が予習・復習の必要性を感じていないことになるが、教職課程ということを見るとこの傾向は深刻である。授業の事前事後にも学習に取り組む姿勢を高める工夫は引き続き求められている。

I-4 「受講動機」について。「単位が必要」だからというのが一昨年度は69.4%、昨年度は68.0%、今年度は70.7%であるが、教職科目は免許取得のために単位修得が欠かせない科目が多いからであろう。その他の項目では、「単位取得が楽」が昨年は14.6%であったが、今年度は11.5%と減少した。「時間が空いている」は、昨年度が13.7%で今年度は13.0%である。

一方、「講義への興味」は一昨年度は3.6%、昨年度3.3%、今年度は3.8%であり、また「教員にひかれて」は一昨年度0.5%、昨年度は0.4%、今年度は0.9%である。いずれも今年度微増しているとはいえ、相変わらず低い傾向であることに変わりはない。指導者の魅力と講義への関心を高める工夫が必要であると考えられる。

II 授業内容や進め方について

II-1 「授業のねらいの明確さ」については、一昨年度は平均値4.27（標準偏差0.38）、

昨年度は平均値 4.23 (標準偏差 0.45)、本年度は平均値 4.04 (標準偏差 0.34) と、数字は授業の狙いが明確であることを示してはいるが、やや減少傾向にあるのが気掛かりである。

- II - 2 「授業の難易度」については、一昨年度は平均値 3.44 (標準偏差 0.24)、昨年度は平均値 3.43 (標準偏差 0.23)、本年度は平均値 3.37 (標準偏差 0.24) であり、「③ちょうどよい」と判断できる。
- II - 3 「授業の進度」については、一昨年度は平均値 3.19 (標準偏差 0.16)、昨年度は平均値 3.16 (標準偏差 0.13)、本年度は平均値 3.20 (標準偏差 0.19) と、この数値もここ数年ほぼ同様であり、「③ちょうどよい」と判断できる。
- II - 4 「説明は分かりやすいか」は、一昨年度は平均値 4.07 (標準偏差 0.45)、昨年度は平均値 3.97 (標準偏差 0.46)、本年度の平均値は 3.93 (標準偏差 0.38) と、幾分減少傾向にある。しかしその詳細は「強くそう思う」「そう思う」が 68%、「そう思わない」「全くそう思わない」が 6%であり、おおむね妥当かと考える。
- II - 5 「話し方や声は聞き取りやすいか」では、昨年度の平均値 4.18 (標準偏差 0.39) が、本年度は平均値 4.11 (標準偏差 0.41) であり、少し減少した。
- II - 6 「教材等の有効性」では、昨年度は平均値 4.05 (標準偏差 0.40)、本年度は平均値 3.97 (標準偏差 0.36) であり、少し下がったが、詳細を示せば、有効と思う学生が 72%、思わない学生が 5.3%であった。
- II - 7 「板書等の文字の読み取りやすさ」では、昨年度は平均値 3.97 (標準偏差 0.40)、本年度の平均値 3.92 (標準偏差 0.39) であり、詳細は「強くそう思う」「そう思う」学生が 68%、「そう思わない」「全くそう思わない」学生が 8.4%であった。
- II - 8 「学習環境の雰囲気」では、昨年度は平均値 4.36 (標準偏差 0.38)、本年度の平均値 4.19 (標準偏差 0.37) であり幾分下がってはいるが、良いと思う学生が 74.6%、良いと思わない学生が 4.5%であった。
- II - 9 「学習内容の理解」では、昨年度の平均値 4.00 (標準偏差 0.44)、本年度の平均値 3.82 (標準偏差 0.35) であり、やや昨年度より値は低い、理解できると答えた学生が 65.7%、理解できないが 6.8%であった。
- II - 10 「授業内容が身に付いたか」では、昨年度の平均値 4.09 (標準偏差 0.42)、本年度の平均値 3.88 (標準偏差 0.30) であり、若干下がった。詳細は、そう思うと答えた学生が 67.8%、そう思わない学生が 5.3%であった。
- II - 11 「ものの見方や考え方が深まる」では、昨年度は平均値 4.10 (標準偏差 0.44)、本年度は平均値 3.87 (標準偏差 0.29) であり、少し下がった。これも詳細を示せば、深まったと思うと答えた学生が 67.6%、そう思わないが 5.3%であった。
- III 「総合的な満足度」は、一昨年度の平均値 4.23 (標準偏差 0.41) が、昨年度は平均値 4.13 (標準偏差 0.43)、本年度は平均値 3.99 (標準偏差 0.42) と漸減してきている。しかしこれも詳細を見れば、満足と答えた学生が 73.3%、そう思わないと答えた学生が 5.5%であった。

教職課程科目においては、今年度は平均値「4」以上の評価を得た設問項目が昨年度より若干減少した。しかし各設問項目とも 5 段階評価でいうところの「1」は 1～2%であ

り、「2」は3～4%であることから、全体的に見れば授業は適切に行われていると判断できる。

ただI-3「予習・復習」をするかについて、32.4%の学生が「しない」と答えており、この点の解決如何が授業の改善に大きく結びつくものと考えられる。

このことをつよく意識しながら一層の改善充実に努めたい。

(2) 社会教育主事講座について

今年度は、履修者が少なく、対象科目とならなかった。

(3) 日本語教員養成基礎講座について

本年度の「授業改善のための学生アンケート」の集計結果をみると、昨年度とほぼ同様の結果となっている。教職関係の3科目のうち社会教育主事講座に関するアンケート結果は今回もなかったため、教職課程と日本語教員養成基礎講座の2講座を比較してみると、I-4「受講動機」の項目では、教職課程は「単位が必要」が70.7%、日本語教員養成基礎講座は23.0%となっている。ところが、「時間帯が空いている」を見ると、前者が13.0%で、後者が57.4%となっている。また「講義への興味」を見ると、日本語教員養成基礎講座は昨年度の4.6%より上がって、9.8%、教職課程は昨年とほぼ同等の3.3%となっている。このことから日本語教員養成基礎講座の受講者は例年同様、特に強い動機を持って受講しているわけではなく、時間的余裕があるので、「講義への興味」が昨年度の4.6%より、9.8%になっていることから、外国人に対する日本語教育とはどのようなものであるのかという未知のものへの好奇心から受けてみようという者が多いのであろう。それゆえ、「予習・復習」をする者も2.29と低い結果になっている。また、「教員にひかれて」という項目を見てみると、0.0%となっており、おそらく未知の講座を受講して、教室で初めて講師を知ることになるためであろう。今後はさらに学生に広報などで本講座の内容を知ってもらふ必要があるだろう。

ただ、その他の授業に関する設問はほとんどが4.0以上を占めており、他の教科全体が3.5～4.0であることから、全体的に好評価を受けていることがわかる。この評価が今後も維持していくようさらに努力を続けていく必要があるだろう。

参考資料一実施要領

実施要領

1. 目的

教員の授業の改善に役立てること、並びに本学の教育の質の向上を図ること。

2. 対象科目

担当科目のうち、履修登録者数の多い科目（原則として履修登録者20名以上のもの）の中から2科目程度を選択し実施する。講師（非常勤）の場合は、1科目以上とする。

専門教育及び教養教育等（教職・社教・日語を含む）の両分野の科目を担当している場合は、それぞれ1科目以上を実施する。

なお、国際学部では、従来どおり原則として全科目を対象に実施する。

3. 実施期間：平成23年6月27日（月）～7月12日（火）

（予備日：7月13日（水）～7月16日（土））

4. 実施科目の届出

教員は、実施届出用紙に必要事項（実施科目、実施日等）を記入し、学務課、八王子学務課、学長事務室のいずれかに提出する。（国際学部開設科目は、原則として全科目を実施対象とするため、届出は不要。）

5. アンケート用紙

アンケート用紙は、「講義等科目用」、「スポーツ・トレーニング科目用」、「工学部実験・実習科目用」の3種類とする。（※添付資料：昨年度アンケート様式）

6. 実施当日の手順

（1）アンケート用紙及び回収用封筒を学務課・教員控室等から受け取る。

（2）授業時間の一部（30分程度）を利用し、アンケートを実施・回収する。

アンケートの回収は、受講生個人を特定できないようにするため、受講生の協力を得て行う。外国語学部及び国際学部では、アンケートの実施・回収は原則として受講生によって行う。

（3）回収用封筒に必要事項（アンケート枚数等）を記入し、直ちに学務課・八王子学務課へ提出する。

7. 科目別集計表の作成

- (1) 集計作業は、外部の業者に委託する。
- (2) 実施科目については、科目別集計表を作成する。
- (3) 科目別集計表は、担当教員に学生が記入したアンケート用紙（自由意見欄を含む）とともに送付する。

8. 実施結果のとりまとめ

- (1) 担当教員は、科目別集計表の「科目別集計結果に対する所見」欄を作成し、学務課、八王子学務課、学長事務室のいずれかに提出する。
- (2) 各学部FD委員会は、実施結果を分析し、報告書にまとめるにあたって、学部、学科、コース、分野等別において授業改善のための意見交換を行い、「今後の課題」の中でいくつかの「具体的な次年度の授業改善取組方針及び実施計画」を掲げる。
記載項目は、①実施状況（グループ分けの方法を含む）、②実施結果の分析、③今後の課題の3構成で記述し、概ねA判2枚程度（2,000字）とする。
- (3) FD委員会は、実施結果報告書 第I部 全体集計、第II部 科目別集計を作成する。

9. 活用方法

- (1) 実施報告書を教員に配布し、教員は自己の授業の改善に役立てる。
- (2) 各学部自己点検・評価委員会（または「FD委員会」）においてアンケートの結果をもとに、組織的に授業改善の方策を検討する。
- (3) 学長は、アンケートの結果をもとに、必要な改善策を検討する。

以 上

アンケート様式

平成23年度 「授業改善のための学生アンケート」 講義等科目用

このアンケートは、あなたの授業担当教員が学生諸君と共に授業をより良いものにする目的で実施するものです。建設的な気持ちで、以下の問いにお答えください。

授業 科目名	担 当 教員名
-----------	------------

整理番号	授業科目分類コード	教員コード	曜日	時限	期別

※アンケートの回答はすべて5段階で評価して○に黒色の鉛筆で丁寧にぬりつぶしてください。

学年	1年	2年	3年	4年	その他																
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																
学科	経営	国ビ	会計	法政	経済	英米	中国	スペイン	機械	電子	情工	デザイン	国際	その他							
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>							

● 悪い例 ○ 良い例

【選択肢の凡例】 5：強くそう思う 4：そう思う 3：どちらとも言えない 2：そう思わない 1：全くそう思わない

I	質問事項	5	4	3	2	1	II	説明	5	4	3	2	1
	I-6 受講する姿勢や動機について						II-6	教材等(教科書・配付資料・板書・OHP・パワーポイント・ビデオ)は授業内容を理解するのに有効ですか。					
I-1	あなたはこの授業にどれくらい出席していますか。	⑤ 90%以上	④ 80%以上	③ 60%以上	② 40%以上	① 40%未満	II-7	板書・OHP・パワーポイント・ビデオなどの文字や画面は読みとりやすいですか。					
I-2	あなたは授業での口頭説明や板書内容などについて、ノートあるいはメモをとっていますか。	⑤	④	③	②	①	II-8	教室内は学習にふさわしい雰囲気に保たれていますか。					
I-3	あなたはこの科目について、よく予習あるいは復習をしていますか。	⑤	④	③	②	①	II-9	授業の内容はよく理解できましたか。					
I-4	この授業を受講した動機はなんですか。最大3つまで挙げてください。(ただし、この科目が必修科目である場合は、回答の必要はありません。) ⑤講義要項を読んで興味を持ったから ④教員にひかれて ③単位が必要だから ②単位取得が楽だから ①この時間帯が空いていたから	⑤	④	③	②	①	II-10	この授業のテーマに関する知識あるいは技術が身につきましたか。					
							II-11	この授業を通じてものの見方や考え方が深まりましたか。					
							II	総合的に見て、この授業に満足していますか。					
II	授業の内容や進め方について	5	4	3	2	1	IV	学際等設問項目	5	4	3	2	1
II-1	授業の狙いや重要なポイントは明確に示されていますか。	⑤	④	③	②	①	IV-1						
II-2	授業の難易度はどうですか。 ⑤難しすぎる ④やや難しい ③ちょうど良い ②やややさしい ①やさしすぎる	⑤	④	③	②	①	IV-2						
II-3	授業の進度はどうですか。 ⑤速すぎる ④やや速い ③ちょうど良い ②やや遅い ①遅すぎる	⑤	④	③	②	①	IV-3						
II-4	説明は分かりやすいですか。	⑤	④	③	②	①	IV-4						
II-5	話し方や声は聞き取りやすいですか。	⑤	④	③	②	①							①

自由意見欄 (自由意見欄が不足する場合は、裏面に記入してください)

○この授業で良かった点は、なんですか。

○この授業で改善してほしい点があれば書いてください。

○この教室の環境(教室の大きさ・エアコン・照明・防音・備品など)について意見や要望があれば具体的に書いてください。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

平成 23 年度 学部 設問 項目

1. 政経学部

IV-1 この授業で使う教室の大きさ、施設・備品などは適切ですか

IV-2 授業に支障をきたすような私語は無い

2. 外国語学部

IV-1 この授業で使う教室の大きさ、施設・備品などは適切ですか

IV-2 このクラスの学生数は適切ですか

3. 国際学部

IV-1 授業の開始時間、終了時間は守られている

IV-2 出欠はきちんととられている

IV-3 授業中、学生同士の私語はない

IV-4 1年生は今後進むコースを、2年生以降は所属するコースを選んでください。①国際協力、①国際経済、②国際政治、
③国際文化、④国際観光、⑤農業総合

平成23年度 「授業改善のための学生アンケート」 スポーツ・トレーニング科目用

このアンケートは、あなたの授業担当教員が学生諸君と共に授業をより良いものにする目的で実施するものです。建設的な気持ちで、以下の問いにお答えください。

授業科目名		担当教員名	
-------	--	-------	--

整理番号	授業科目分類コード	教員コード	曜日	時限	期別

※アンケートの回答はすべて5段階で評価して○に黒色の鉛筆で丁寧にぬりつぶしてください。

学年	1年	2年	3年	4年	その他									
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>									
学科	経営	国語	会計	法政	経済	英米	中国	スペイン	機械	電子	情工	デザイン	国際	その他
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

● 悪い例
○ 良い例

【選択肢の凡例】 5：強くそう思う 4：そう思う 3：どちらとも言えない 2：そう思わない 1：全くそう思わない

I	受講する姿勢や動機について	5	4	3	2	1	II-5	話し方や声は聞き取りやすいですか。	⑤	④	③	②	①
I-1	あなたはこの授業にどれくらい出席していますか。	⑤ 90%以上	④ 80%以上	③ 60%以上	② 40%以上	① 40%未満	II-6	教員と学生との友好的なコミュニケーションがありますか。	⑤	④	③	②	①
							II-7	教員は授業運営に必要なリーダーシップを発揮していますか。	⑤	④	③	②	①
I-2	あなたは自分の健康と運動・栄養・休息に関心を持っていますか。	⑤	④	③	②	①	II-8	この授業は身体活動にふさわしい雰囲気には保たれていますか。	⑤	④	③	②	①
I-3	あなたはこの授業でやる気を持って積極的に取り組んでいますか。	⑤	④	③	②	①	II-9	授業の内容はよく理解できましたか。	⑤	④	③	②	①
I-4	この授業を受講した動機はなんですか。最大3つまで挙げてください。(ただし、この科目が必修科目である場合は、回答の必要はありません。) ⑤講義要項を読んで興味を持ったから ④教員にひかれて ③単位が必要だから ②単位取得が楽だから ①この時間帯が空いていたから	⑤	④	③	②	①	II-10	この授業のテーマに関する知識あるいは技術が身につきましたか。	⑤	④	③	②	①
							II-11	この授業は学生生活及び健康・体力維持に役立ちましたか。	⑤	④	③	②	①
II	授業の内容や進め方について	5	4	3	2	1	III	総合的に見て、この授業に満足していますか。	⑤	④	③	②	①
II-1	授業の狙いや重要なポイントは明確に示されていますか。	⑤	④	③	②	①	IV	学部等設問項目	5	4	3	2	1
II-2	授業の難易度はどうですか。 ⑤難しすぎる ④やや難しい ③ちょうど良い ②やややさしい ①やさすぎる	⑤	④	③	②	①	IV-1	履修したスポーツ種目の選択と内容はあなたの希望にそっていましたか。	⑤	④	③	②	①
II-3	授業の進度はどうですか。 ⑤速すぎる ④やや速い ③ちょうど良い ②やや遅い ①遅すぎる	⑤	④	③	②	①	IV-2	受講した時間帯は適切でしたか。	⑤	④	③	②	①
II-4	説明は分かりやすいですか。	⑤	④	③	②	①	IV-3	次年度以降、あなたの好きな「生涯スポーツ応用演習」(自由科目)を履修したいですか。	⑤	④	③	②	①

自由意見欄 (自由意見欄が不足する場合は、裏面に記入してください)

○この授業で良かった点は、なんですか。

○この授業で改善してほしい点があれば書いてください。

○この教室の環境(アリーナ・グラウンド・トレーニングルーム・更衣室・シャワールームおよび用具<ボール・ラケット等>)について意見や要望があれば具体的に書いてください。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

科目別集計様式

平成23年度「授業改善のための学生アンケート」科目別集計表（講義等科目用）

整理番号		*-*-*		*****		*****		*****	
実施年月日	****/****	教室コード	***	キャンパス	****	曜日	*	時限	*
学年	1年	2年	3年	4年	その他	学号	経路	国	部
件数	*	*	*	*	*	件数	*	*	*
科目名	*****	科目コード	*****	科目分類	**	期別	*	機械	工
科目別集計	*****	国際	アジア	開発	デザ	工	*	その他	回答者
所属	****	身分	分	****	****	****	****	****	****
所属コード	****	身分コード	****	****	****	****	****	****	****

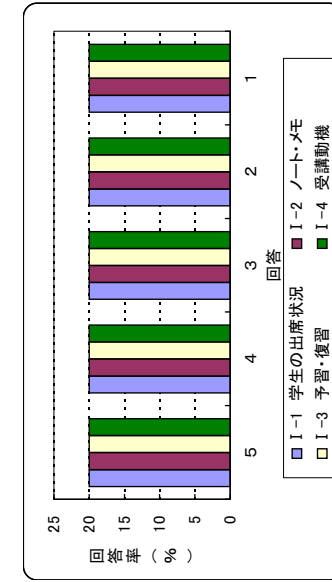
1. 各設問の回答の分布・標準偏差・平均値

設問項目	有効回答数	エラー件数	5	4	3	2	1	0	標準偏差	全体平均値	注
I-1 学生の出席状況	100	10	20	20	20	20	10	10	200	0.8	0.0
I-2 ノート・メモ	100	10	20	20	20	20	10	10	200	1.1	0.0
I-3 予習・復習	100	10	20	20	20	20	10	10	200	1.0	0.0
I-4 受講動機 (複数回答)	100	10	20	20	20	20	10	10	200	1.2	0.0
II-1 狙いの明確さ	100	10	20	20	20	20	10	10	200	1.1	0.0
II-2 難易度	100	10	20	20	20	20	10	10	200	0.7	0.0
II-3 進度	100	10	20	20	20	20	10	10	200	0.8	0.0
II-4 説明方法	100	10	20	20	20	20	10	10	200	0.9	0.0
II-5 声の大きさ	100	10	20	20	20	20	10	10	200	0.9	0.0
II-6 教材等の効果	100	10	20	20	20	20	10	10	200	0.9	0.0
II-7 文字・画面	100	10	20	20	20	20	10	10	200	0.8	0.0
II-8 教室内の雰囲気	100	10	20	20	20	20	10	10	200	0.8	0.0
II-9 理解しやすさ	100	10	20	20	20	20	10	10	200	0.8	0.0
II-10 知識・技術が身につく	100	10	20	20	20	20	10	10	200	0.9	0.0
II-11 見方・考え方が深まる	100	10	20	20	20	20	10	10	200	0.9	0.0
III 満足度	100	10	20	20	20	20	10	10	200	0.7	0.0
IV-1 開始・終了時間	100	10	20	20	20	20	10	10	200	0.9	0.0
IV-2 出席確認	100	10	20	20	20	20	10	10	200	0.9	0.0
IV-3 私語の有無	100	10	20	20	20	20	10	10	200	0.9	0.0
IV-4 コース選択	100	10	20	20	20	20	10	10	200	0.8	0.0

注1)平均値:授業の出席率が90%以上の学生による回答 2:そう思わない 3:どちらとも言えない 4:そう思う 5:強くそう思う

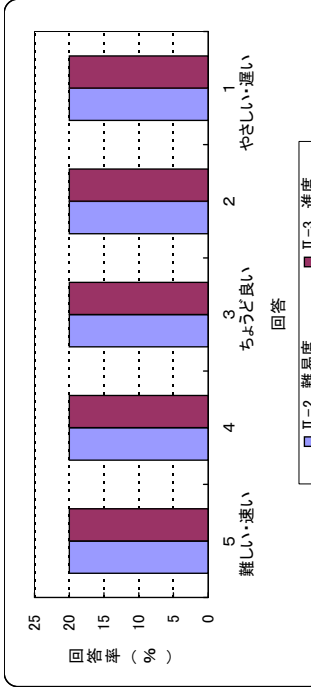
注2)選択肢の凡例) 5:強くそう思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

2. 受講する姿勢や動機について(回答の分布)

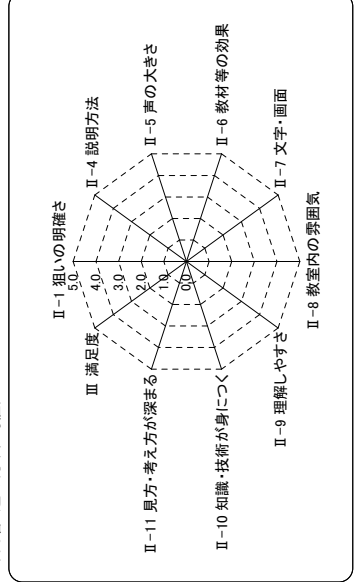


3. 授業の内容や進め方

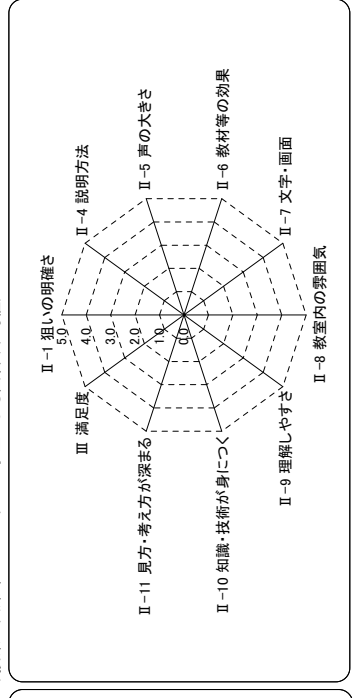
1) 難易度・進度(回答の分布)



2) 内容・進め方(平均値)



3. 授業の出席率が90%以上の学生による回答(平均値)



1. 自由意見欄での主な要望・指摘

所属	身分	フリガナ	自由意見欄での主な要望・指摘
****	****	****	****
****	****	****	****

2. 科目別集計及び自由意見欄に対する担当教員の所見

所属	身分	フリガナ	自由意見欄での主な要望・指摘	科目別集計及び自由意見欄に対する担当教員の所見
****	****	****	****	****
****	****	****	****	****

3. 改善に向けた今後の取組方針

所属	身分	フリガナ	自由意見欄での主な要望・指摘	科目別集計及び自由意見欄に対する担当教員の所見	改善に向けた今後の取組方針
****	****	****	****	****	****
****	****	****	****	****	****

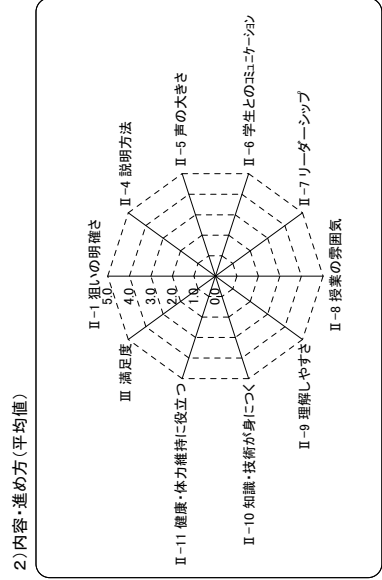
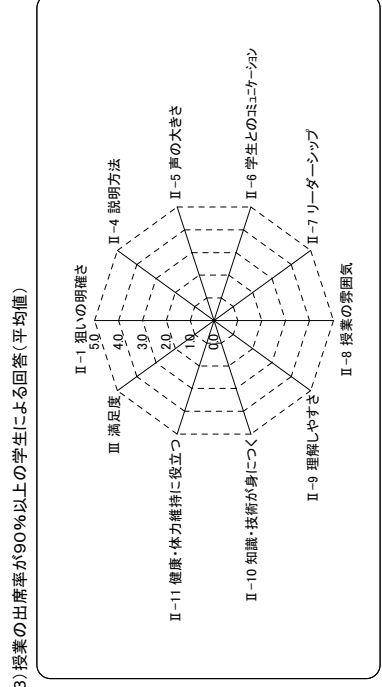
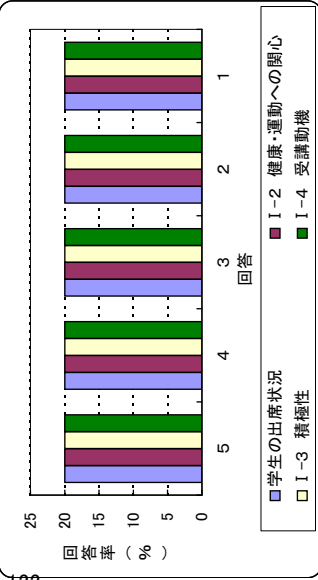
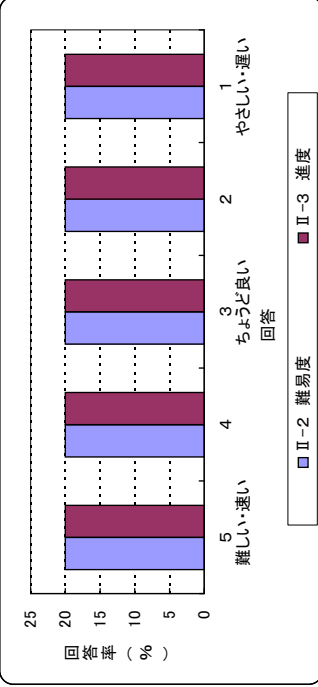
*: 字数は問いませんが、各項目の枠内に収まるように記入して下さい。

平成23年度「授業改善のための学生アンケート」科目別集計表（スポーツ・トレーニング科目用）

整理番号	科目名		科目分類		期別	時間	曜日	曜日		曜日		科目コード
	****	****	****	****				****	****	****	****	
実施年月日	****/*/**	教室コード	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****
学年	1年	2年	3年	4年	その他	学号	経営	国	会	計	法	政
件数	*	*	*	*	*	件数	*	*	*	*	*	*

設問項目	有列回答数		エラー件数		標準偏差		全体平均値		注参照
	5	4	3	2	1	1	2		
I-1 学生の出席状況	100	20	20	20	10	0.5	4.8	5.0	
I-2 健康・運動への関心	100	20	20	20	10	3.5	3.6	3.6	
I-3 積極性	100	20	20	20	10	0.9	3.9	4.0	
I-4 受講動機 (複数回答)	100	20	20	20	10	0.9	3.6	3.7	
II-1 狙いの明確さ	100	20	20	20	10	0.7	4.2	4.3	
II-2 難易度	100	20	20	20	10	0.6	3.3	3.3	
II-3 進度	100	20	20	20	10	0.4	3.1	3.1	
II-4 説明方法	100	20	20	20	10	0.7	4.1	4.2	
II-5 声の大きさ	100	20	20	20	10	0.7	4.1	4.1	
II-6 学生とのコミュニケーション	100	20	20	20	10	1.0	3.7	3.8	
II-7 リーダーシップ	100	20	20	20	10	0.8	3.8	3.9	
II-8 授業の雰囲気	100	20	20	20	10	1.0	3.6	3.6	
II-9 理解しやすさ	100	20	20	20	10	0.7	4.1	4.2	
II-10 知識・技術が身につく	100	20	20	20	10	0.8	4.1	4.2	
II-11 健康・体力維持に役立つ	100	20	20	20	10	0.8	3.9	4.0	
III 満足度	100	20	20	20	10	0.8	3.9	4.0	
IV-1 希望科目	100	20	20	20	10	0.8	3.9	4.0	
IV-2 時間差	100	20	20	20	10	0.8	3.9	4.0	
IV-3 次年度の履修希望	100	20	20	20	10	0.8	3.9	4.0	

注)平均値:授業の出席率が90%以上の学生による回答
 【選択肢の凡例】 5:強く思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全くそう思わない
 3. 授業の内容や進め方
 1) 難易度・進度 (回答の分布)



所属	****	身分	****	フリガナ	****
所属コード	****	身分コード	****	担当教員名	****
科目別集計に対する担当教員の所見					

1. 自由意見欄での主な要望・指摘

2. 科目別集計及び自由意見欄に対する担当教員の所見

3. 改善に向けた今後の取組方針

※字数は問いませんが、各項目の枠内に収まるように記入してください。

平成23年度「授業改善のための学生アンケート」科目別集計表（工学部・実験・実習科目用）

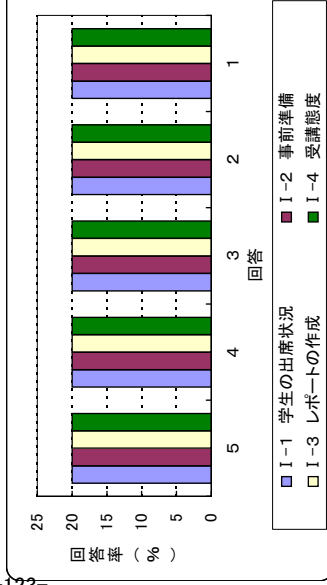
整理番号	科目名	*****	科目コード	*****
実施年月日	教室コード	***	****	*****
学年	1年 2年 3年 4年	その他	学科	経営 国語 会計 法政 経済 英米 中国
件数	* * * * *	* * * * *	件数	* * * * *
			開発	アジア 国際 その他
			テザ	工情
			***	***
			****	*****
			****	*****

1. 各設問の回答の分布・標準偏差・平均値

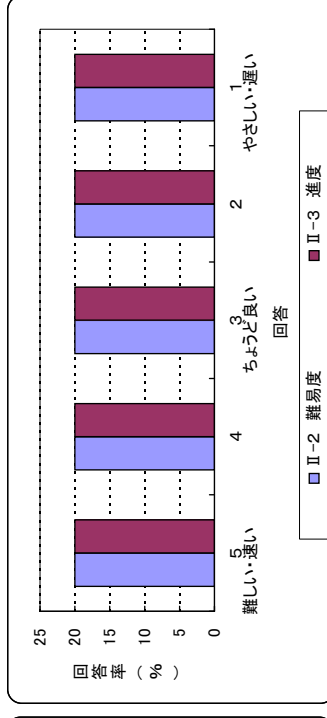
設問項目	有効回答数					標準偏差	全体平均値	注参照
	1	2	3	4	5			
I-1 学生の出席状況	100	10	20	20	20	0.5	4.8	5.0
I-2 事前準備	100	10	20	20	20	1.0	3.5	3.6
I-3 レポートの作成	100	10	20	20	20	0.9	3.9	4.0
I-4 受講態度	100	10	20	20	20	0.9	3.6	3.7
II-1 狙いの明確さ	100	10	20	20	20	0.7	4.2	4.3
II-2 難易度	100	10	20	20	20	0.6	3.3	3.3
II-3 進度	100	10	20	20	20	0.4	3.1	3.1
II-4 説明方法	100	10	20	20	20	0.7	4.1	4.2
II-5 声の大きさ	100	10	20	20	20	0.7	4.1	4.1
II-6 教材等の効果	100	10	20	20	20	1.0	3.7	3.8
II-7 教材内の雰囲気	100	10	20	20	20	0.8	3.8	3.9
II-8 教室内の雰囲気	100	10	20	20	20	1.0	3.6	3.6
II-9 理解しやすさ	100	10	20	20	20	0.7	4.1	4.2
II-10 知識・技術が身につく	100	10	20	20	20	0.8	4.1	4.2
II-11 見方・考え方が深まる	100	10	20	20	20	1.0	2.0	3.9
III 満足度	100	10	20	20	20	0.7	4.3	4.3

注)平均値:授業の出席率が90%以上の学生による回答
 【選択肢の凡例】 5:強く思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

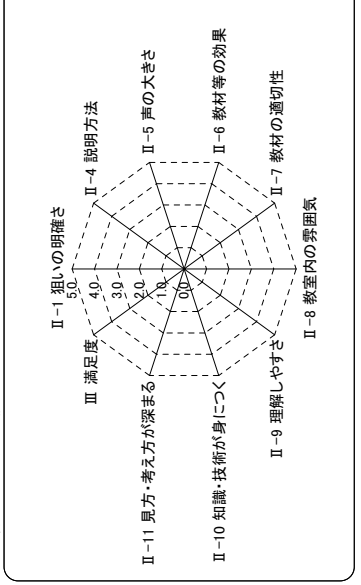
2. 受講する姿勢等について(回答の分布)



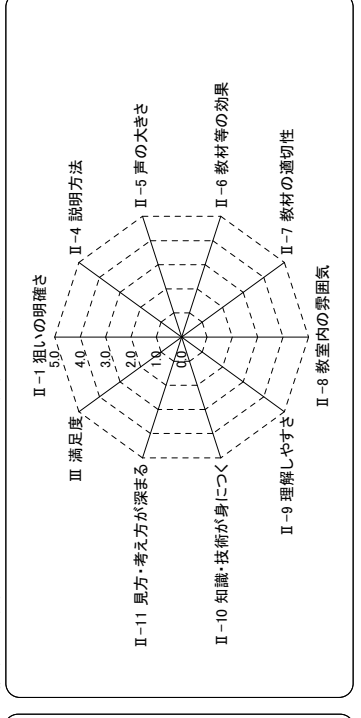
3. 授業の内容や進め方
 1) 難易度・進度 (回答の分布)



2) 内容・進め方 (平均値)



3) 授業の出席率が90%以上の学生による回答(平均値)



所属	****	身分	****	フリガナ	*****
所属コード	****	身分コード	****	担当教員名	*****
	****		**	教員コード	*****

科目別集計に対する担当教員の所見

1. 自由意見欄での主な要望・指摘

--

2. 科目別集計及び自由意見欄に対する担当教員の所見

--

3. 改善に向けた今後の取組方針

--

※字数は問いませんが、各項目の枠内に収まるように記入してください。

平成23年度
授業改善のための学生アンケート報告書
－全体集計－
第I部

平成24年3月発行

編集・発行 拓殖大学自己点検・評価委員会

〒112-8585 東京都文京区小日向3丁目4番14号

電話 03-3947-7299 (学務部 学長事務室)